

令和3（2021）年度決算
主要施策等に関する報告

【一般会計】 2 款 総務費

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	108
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,463	7,462	0	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	7,462	
目 的	多様化、高度化する行政課題に対して、的確に対応し政策の推進を図る。				
取組内容・実績	地域エネルギー会社、じょんのび村、公共交通、大学及びパブリック・サービスなど、本市の重要課題に関して、委託先の株式会社経営共創基盤と打合せを8回実施するとともに、随時に助言・アドバイスを受けた。				
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れて、政策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	目まぐるしく変わる情勢に対応するため、今後も専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	無料法律相談事業			決算書 掲載ページ	110
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,056	1,056	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,056	
目 的	弁護士に相談できる身近な窓口を設置することにより、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	毎月第1～第4水曜日の午後30分×4回の無料法律相談を実施し、189人が利用した。				
成 果	市内に事務所を持つ5人の弁護士に相談することができる身近な相談窓口として、家庭、地域社会、職場等における市民の様々な法律問題の解決に寄与した。				
課題・今後の方向性	予約状況によっては、他の相談機関を紹介するなど、希望者が早期に相談をできるように対応していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-1 平和に関する意識啓発を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	核兵器廃絶平和推進事業			決算書 掲載ページ	110
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	831		637	0	194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	637
目 的	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨にのっとり、平和を愛する世界の人々とともに、未来を担う子ども達と美しいふるさとのために、市民一人一人が平和の実現に向けて努力できるよう平和意識の醸成を推進する。				
取組内容・実績	満州柏崎村の塔の前に建立の趣意を記した看板を設置した。また、8月7日から16日までの10日間献花台を設置し、101人が献花した。柏崎市平和教育パンフレットを作成し、市内中学校2年生575人に配布した。第三中学校、松浜中学校、西山中学校及び第五中学校の4校を対象に被爆写真パネルを用いた巡回パネル展を開催した。				
成 果	若い世代を中心に、被爆地広島・長崎の悲惨な状況や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を継続して提供することができた。				
課題・今後の方向性	戦争の体験者の高齢化が進行し、一方で若い世代における戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識が希薄になりつつある。核兵器に特化した内容だけではなく、戦争全体の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を提供するなど、平和意識の醸成を継続して進める必要がある。				

事務事業名	職員採用・職員管理経費			決算書 掲載ページ	112
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,614		9,477	0	1,137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,043		0	0	8,434
目 的	業務量に見合った適正な組織を構築するため、公平公正な職員採用試験を行い、優秀な人材を確保する。				
取組内容・実績	対面2回、オンライン4回の合同企業説明会に参加し、114名の学生が参加した。また、職員採用試験を4回実施し、計199人が受験した。				
成 果	公平公正な職員採用試験を実施し、32名の新採用職員を確保することができた。				
課題・今後の方向性	より優秀な人材を確保するために、柏崎市職員として働くことの魅力を積極的にPRしていく必要がある。また、障がい者の法定雇用率を確保するため、障がい者を様々な任用形態により雇用していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	職員研修費			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,540		6,160	0	2,380
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	46	6,114
目 的	社会経済情勢の変化に敏感で、その変化に対応できるスキルを持った市職員の育成を図る。				
取組内容・実績	全ての職員に対し、eラーニングによる内部研修を実施した。また、外部研修では市町村総合事務組合等の開催する階層別研修のほか、より高度な知識を習得するための専門研修に参加した。そのほか、次期リーダーの育成を目的として柏崎リーダー塾、全国地域リーダー養成塾に参加した。				
成 果	研修の受講により、事務の基礎知識や職位別に求められるスキルを習得し、円滑な事務の執行に資することができた。				
課題・今後の方向性	人材育成指針に掲げる目指す職員像（「柏崎市民のため、将来にわたるまちの持続的発展のために、使命感、責任感及び先見性を持った行動力のある職員」）を実現するには、今後も研修の受講等による職員一人一人の資質の向上が求められるが、研修で得た知識を受講した職員だけが享受するのではなく、職場内で共有できる仕組みを整える必要がある。				

事務事業名	帰国家族支援事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	95		47	0	48
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	47
目 的	拉致被害者等が、日本社会に円滑に適応するための各種支援を行う。また、拉致被害者関係市連絡会（柏崎市、佐渡市、福井県小浜市）を開催し、拉致問題の風化防止を図る。あわせて、未帰国の拉致被害者の早期帰国実現など、拉致問題の解決に向けた取組を行う。				
取組内容・実績	22回目となる拉致被害関係市連絡会をリモート開催し、北朝鮮の金国家委員長宛てに2回目のメッセージを発信するとともに、米中両国政府に対する支援要請の取組を確認した。要望関係では、市長が在日米国大使館を訪問し、バイデン米国大統領宛てに問題解決に向けたメッセージを北朝鮮問題を担当する政治部一等書記官に手交した。また、日本国政府への要望書は、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送で行った。				
成 果	バイデン米国大統領宛てメッセージを受けた一等書記官が、柏崎市の拉致現場を視察した。在日米国大使館職員による柏崎市での視察は初めてであり、拉致問題が膠着する状況下において、拉致問題を周知することができた。				
課題・今後の方向性	拉致事件の発生から40年以上、蓮池さん御夫妻等の帰国から19年が経過したが、横田めぐみさんを始め未だ帰国のかなわない被害者や親世代の高齢化が進む中、日朝交渉は停滞している。連絡会では、政府要望のほか、在日米国大使等による拉致現場視察に向けた取組を関係市で連携して実施するとともに、帰国家族の支援に加え、早期全面解決を目指した取組を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,060		2,947	0	113
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50		0	0	2,897
目 的	男女が互いの人権を尊重して認め合い、性別に関わりなく、その個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。				
取組内容・実績	柏崎市男女共同参画基本計画を推進するための啓発事業として、デートDV（ドメスティック・バイオレンス）予防啓発講座を高校生を対象に開催し、528人が受講した。また、かしわざき男女共同参画推進市民会議に負担金を支出し、講演会開催や機関誌発行等の推進・啓発活動を支援した。				
成 果	デートDV予防啓発講座後のアンケートでは、「人権尊重の重要性や性別によらない対等な関係性を築くことが必要だと感じた。」等の意見が多く寄せられており、若年層への意識啓発に結び付いた。				
課題・今後の方向性	かしわざき男女共同参画推進市民会議における活動内容をマンネリ化させないよう、若い世代の意見も取り込み、新たな視点で事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	284		61	0	223
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	61
目 的	市民一人一人が、やりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任も果たしながら、同時に子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を持てる、健康で豊かな生活ができるようワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
取組内容・実績	ワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、コーディネーター派遣事業を活用し、事業所訪問を実施した。事業所訪問の際には、ハッピーパートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）制度の周知も併せて行った。				
成 果	ワーク・ライフ・バランスの推進が従業員と事業所の双方にとって有益であることを啓発することで、ハッピーパートナー企業の登録数が4件増加した。				
課題・今後の方向性	男性の育児休業や介護休業など法律で定められた権利を行使しやすくなるよう、企業訪問等による制度の周知を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,760		2,732	0	1,028
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	250		0	0	2,482
目 的	柏崎市人権教育・啓発推進計画に基づき、様々な分野における人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	若年層に対する拉致問題啓発事業（中学生向け蓮池薫さんの講演会）は4年目を迎え、市内中学校4校で実施し、生徒・職員の707人が参加した。また、拉致問題を風化させないため、市役所1階ロビーにて新潟県との共催による啓発パネル展を開催した。児童虐待防止講演会では、医療・福祉・教育分野の関係者を対象に「ヤングケアラー問題にどう向き合っていくか」を演題に開催し、知識を深めた（参加者109人）。また、人権擁護委員協議会、保護司会などへ負担金を支出して、その活動を支援した。				
成 果	蓮池薫さんの講演会は、拉致問題の風化防止にとどまらず、中学生の人権意識向上の学習としても有意義なものとなった。児童虐待防止講演会の受講後アンケートでは、「大人が決めつけずに子どもの声を聴くことが大切だと気付いた」などの意見が寄せられ、児童虐待防止に関する知識を深めることができた。人権に関する市民意識調査は、結果報告書として取りまとめ、今後の人権教育及び啓発の効果的な推進を図るための基礎資料となった。				
課題・今後の方向性	巡回パネル展など拉致問題の風化防止の取組を継続する。また、人権教育・啓発推進計画の改定に着手するとともに、各施策の進捗管理を適切に実施し、人権教育を推進する。アンケート要望に基づいた内容の選定に配慮した上で、児童虐待など人権講演会を継続して実施する。				

事務事業名	避難者見守り支援事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,855		9,682	0	173
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,549		0	0	133
目 的	本市へ避難している東日本大震災被災者の支援を行うことにより、生活の安定や自立を図る。				
取組内容・実績	被災元の県や市町村との連絡調整を行い、被災者台帳を適正に管理した。また、訪問を中心とした見守り支援や避難者向け情報チラシの定期発送を行った。				
成 果	柏崎市で避難生活を余儀なくされている東日本大震災被災者へ各種支援を行ったことにより、生活の安定や自立を図ることができた。				
課題・今後の方向性	本市独自の世帯訪問による見守り支援は、令和3（2021）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

事務事業名	PR戦略事業			決算書 掲載ページ	130
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,640		4,686	0	954
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6	4,680
目 的	タイムリーな情報発信による市民生活の安全・安心の確保、市政に対する関心や理解とシビックプライドの向上を目的に、ホームページやSNSを活用して行政からの情報入手環境の整備と充実を図り、積極的な情報発信を行う。				
取組内容・実績	市政情報、子育てや医療など暮らしに関わる情報、観光・イベント情報などをアクセシビリティに配慮してホームページで発信した。また、SNSでも、防災情報やイベント情報などを適時発信した。令和3（2021）年9月1日に柏崎市公式LINEアカウントを開設し、情報発信を始めた。なお、令和3（2021）年度末の友だち追加数は4,874人であった。				
成 果	ホームページやSNSなど、インターネットを活用して、タイムリーな情報発信ができた。また、発信した情報が拡散されたことにより、本市の認知度の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	年代によって情報を入力する手段が異なる傾向があることから、それぞれの特性を踏まえ、全ての年代が必要な情報が入手できるよう、効果的な情報発信の手段を検討するとともに、令和3（2021）年9月に開始したLINEの機能拡張と、多くの方々に知っていただけるようなPRを実施する必要がある。				

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	138
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,231		8,013	0	2,218
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,880	4,133
目 的	市内2大学の魅力づくりや認知度の向上により、入学者の減少を抑制し、若者の活力によるまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	学生募集支援事業補助金として、新潟産業大学に対して1,142千円、新潟工科大学に対して2,500千円を交付した。また産学交流会奨学金寄附金として、柏崎市卒の要件を満たす7名分4,200千円を寄附した。				
成 果	少子化の進行により、学生確保をめぐる大学間競争が激化する中、令和4（2022）年度入学者数は、新潟産業大学95名（定員140名）、新潟工科大学175名（定員200名）と両大学とも定員に満たなかったものの、一定数の入学者を維持することができた。				
課題・今後の方向性	今後ますます少子化が進展する中で、学生を確保するために、市内2大学のそれぞれが、さらに魅力ある選ばれる大学になっていく必要がある。今後も、両大学との情報交換などを通じて、学生募集支援事業補助金を効果的に活用し、選ばれる大学となるよう支援するとともに、新潟工科大学産学交流会奨学金の活用促進により、将来の柏崎を担う人材の確保に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	柏崎リーダー塾事業			決算書 掲載ページ	138
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,000		4,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,000
目 的	産業界、大学、行政が連携し、地域課題の解決に取り組む次世代リーダーを育成する。				
取組内容・実績	これまで1年半としていた1期の研修期間を1年間に短縮し、令和3（2021）年10月～令和4（2022）年9月の第5期を開塾した。市内の各企業や団体から13人の塾生が入塾した。				
成 果	座学やフィールドワークを通じて現状認識・課題把握を行い、個人で自主課題を見つけて研究し、その成果について令和4（2022）年2月に発表会を実施した。3月から、チーム活動を開始し、自主課題研究を行うための計画作成に着手した。				
課題・今後の方向性	これまでと同等のプログラムを期間短縮して実施していることから、学びを深めることができないなどの問題点が見えてきた。また、開塾当初と比較して塾生が減少していることから、これまでの取組の振り返りと事業の意義や方向性を再確認し、今後の運営を検討する必要がある。				

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	155,318		147,653	0	7,665
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,657		0	5,254	138,742
目 的	交通事業者などへのバス運行経費の補助やバスなどの利用を促進する取組により、公共交通を確保する。				
取組内容・実績	地域公共交通を取り巻く環境の変化に対応するため、柏崎市地域公共交通計画を策定した。また、令和3（2021）年8月に、高柳町地域内交通を予約型ドアツードア（自宅前送迎）方式に再編したほか、西山町地域内交通の再編に向けた準備を進めた。高齢者の外出支援策として試行実施する路線バス高齢者割引制度については、専用回数券を8,697綴り販売した（令和2（2020）年度は、8,905綴り）。				
成 果	柏崎市地域公共交通計画の策定により、本市の地域公共交通政策のこれからの具体的な方向性が定まった。高柳町地域内交通の再編については、ドアツードア（自宅前送迎）方式により利便性が向上するとともに、予約制により運行の効率化を図ることができた。高齢者割引制度は、交通弱者になり得る高齢者の生活の足の確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	本市が抱える地域公共交通の課題を解決するため、柏崎市地域公共交通計画で定める施策について、関係機関と連携し、スピード感をもって実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	538		329	0	209
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	329
目 的	鉄道事業者などへの要望や、信越本線の魅力発信を行うことにより、鉄道の利便性向上を推進する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者数が減少している鉄道の利便性の維持・向上に向けて、11月5日に東日本旅客鉄道株式会社新潟支社に対するの要望活動を行った。また、新潟県、沿線11市村及び商工団体で構成する上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会の事務局として、東日本旅客鉄道株式会社本社に対するの要望活動を、7月13日（郵送提出）と11月18日（面会提出）に行った。				
成 果	複数回に渡って要望活動を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用者数の減少などにより、令和4（2022）年3月12日のダイヤ改正において、上越新幹線4本が臨時列車に変更となり、特急しらゆき2本が減便となった。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う鉄道利用者の減少は、鉄道事業者の経営に大きな悪影響を及ぼしている。今後、更なる減便等による鉄道利便性の低下が懸念されることから、利用回復につながる取組や要望活動などを実施していく。				

事務事業名	総合計画策定事業			決算書 掲載ページ	142
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,492		11,501	0	2,991
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	11,501
目 的	時代潮流、社会変化に対応しながら、第五次総合計画基本構想や前期基本計画の進捗を踏まえて、令和4（2022）年度からの後期基本計画を策定する。				
取組内容・実績	第五次総合計画後期基本計画について、庁内において検討を進め、適宜柏崎市総合計画審議会及び柏崎市議会への説明と意見交換などを行った。柏崎市議会12月定例会議において議案を上程し、議決を経て第五次総合計画後期基本計画を策定した。				
成 果	計画期間を令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4年間とする後期基本計画を策定し、今後のまちづくりの方向性及び2つの重点戦略を明確にすることができた。				
課題・今後の方向性	策定した計画を周知し、市民と一緒に持続可能なまちづくりを進める。計画の進捗状況については、総合計画推進事業で引き続き進行管理を行う。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	142
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,140		2,801	0	1,339
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,706	95
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用した低炭素な地域社会づくりを推進する。				
取組内容・実績	国補助金の活用により、再エネ活用型の防災情報通信システムや地中熱設備の導入を実現したほか、今後の設備導入を国と協議・調整し、再生可能エネルギーの活用を推進した。また、新型コロナウイルスによる行動制限の影響を受けるなか、先進的再エネ動向の情報収集を行うとともに、地域への再エネ政策理解促進講座を2回、170名に実施した。さらに、地域エネルギー会社の設立を機に積極的かつ継続的に再エネ活用を進めるため、柏崎市脱炭素エネルギー利活用の促進に関する条例を制定した。				
成 果	公共施設への設備導入は進めることができたが、新型コロナウイルスの影響で市民対象の再エネ理解促進活動は予定どおりに進めることができなかった。しかしながら、条例を制定したことで、今後、より積極的に再エネ利活用や理解促進を図る姿勢を明確にした。				
課題・今後の方向性	地域エネルギービジョンに掲げる脱炭素のまちの実現に向けては、実効的な再エネ利活用に加えて市民の理解が不可欠であるため、再エネ導入効果や地域エネルギー会社の役割などの理解促進を推進するとともに、将来的な再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの研究を進める。				

事務事業名	地域エネルギー会社連携事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	62,376		61,328	0	1,048
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,003		0	25,300	26,025
目 的	地域エネルギー会社と連携した事業の展開により、再生可能エネルギーや次世代エネルギーを活用した地域社会づくりの実現を目指す。				
取組内容・実績	公募選定による支援事業者とともに地域エネルギー会社の設立検討を進め、設立・検討準備会による事業内容・体制の承認、設立準備会による出資者合意を経て柏崎あい・あーるエナジー株式会社を設立した。脱炭素エネルギー利活用の促進に関する条例にも位置付け、政策実現に向けた柏崎あい・あーるエナジー株式会社との連携体制を明確化した。また、会社事業に必要な再エネ発電の導入施策の調査により、国と施策協議を進めたほか、市未利用地への太陽光発電設置可能性調査により次年度の発電所建設の準備を整えた。				
成 果	市と連携して地域に再生可能エネルギー供給を行う柏崎あい・あーるエナジー株式会社の設立により、地域エネルギービジョンに掲げる環境・経済両面で持続可能な脱炭素のまちの実現に向けて、実効的な体制を整えることができた。				
課題・今後の方向性	世界的な燃料高騰に伴う電力卸取引市場の価格高騰は、これから事業を始める会社にとって事業内容の再検討を要する課題であるが、一方で、地域への脱炭素エネルギーの安定供給を目指す政策の重要性が増した状況でもあり、再生エネルギー導入などの事業環境の整備を柏崎あい・あーるエナジー株式会社と連携して推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-1-3 企業誘致を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	環境・エネルギー産業拠点化推進基金積立金			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,032,169		2,030,197	0	1,972
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,197	2,029,000
目 的	環境・エネルギー産業の集積や低炭素エネルギーネットワークの拠点化の推進に向けて、環境・エネルギー産業拠点化推進基金の適正な運用及び管理を行う。				
取組内容・実績	環境・エネルギー産業拠点化推進基金を造成するとともに、事業内容の精査による地域エネルギー会社出資金の減額分及び運用益である利子を積み立てた。				
成 果	環境・エネルギー産業の創出及び拠点化への施策展開に向け、複数年度にわたる安定的財源を確保し、適正に管理することができた。				
課題・今後の方向性	環境・エネルギー産業の創出や拠点化に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大を推進する必要があるため、事業者の参入を促進する効果的な基金の活用施策について、国などの補助金動向を見極めながら検討を進める。				

事務事業名	ふるさと応援事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	244,762		171,994	0	72,768
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	171,994
目 的	シティセールスの観点から、柏崎出身者や縁のある人だけに関わらず、ふるさと納税制度を通じた寄附者とのつながりをつくり「柏崎の応援者」を獲得する。また、ふるさと納税の仕組みをいかに、柏崎市の資源を活用した商品開発や新たな地場産品の掘り起こしを行い、地域産業の活性化を目指す。				
取組内容・実績	新たな寄附者層の獲得に向け、ふるさと納税のポータルサイトを拡充した。また、パンフレットのリニューアルを行い、返礼品の紹介だけでなく返礼品生産者の想いなども魅力として伝えた。その結果、多くの方から寄附をいただき、寄附件数は11,937件、寄附額は303,371,193円となった。				
成 果	多くの方から寄附をいただいたことで、柏崎の資源を活用した返礼品を多くの方に届けることができ、柏崎市と寄附者の「縁」を広げることができた。また、リピーター率は30.4%となり、繰り返し柏崎を応援していただける方を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	返礼品は農産物が中心であるが、生産量が天候などに左右されやすいため、その影響を受けにくい工業製品など、ものづくり分野の返礼品開拓とその認知度を更に高めていくようなPR活動が必要である。このため、産業振興部局などと連携し、情報を共有するとともに、柏崎の地域資源や地場産品を更にPRし、柏崎ブランドの確立につなげる。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	柏崎シティセールス推進事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,538		2,823	0	2,715
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,823
目 的	民間団体（柏崎シティセールス推進協議会）との連携を図り、市内外に柏崎の魅力を発信しながら認知度の向上を推進する。				
取組内容・実績	柏崎シティセールス推進協議会と連携し、柏崎を楽しみながら知ることができる「超ウルトラ柏崎横断クイズ選手権」を実施するなど、柏崎の魅力をSNSなどで広く発信した。また、柏崎ファン獲得に向けた様々なプロモーション活動を行った。				
成 果	柏崎ファンクラブには、新たに727人の方から入会いただき、会員数は47都道府県10,307人となり、全国の多くの会員に柏崎の「今」を伝えることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎シティセールス推進協議会は、その役割を果たしたとして、令和4（2022）年3月末をもって解散した。会員自らの活動を更に活性化していくために、これまでとは違ったシティセールス活動の展開及び今後のファンクラブ組織の在り方を検討する必要がある。 関係人口、交流人口の獲得につながるシティセールスを推進するために方向性を示すとともに、新たな体制の構築を目指す。				

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,516		24,402	0	10,114
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,123		0	9	19,270
目 的	移住を考えている方、学生、若者に対し、移住・定住のための支援を行うことにより、人口減少の抑制を図る。				
取組内容・実績	柏崎市U・Iターン情報ステーション、都内での出張相談会及びオンライン相談会などを行い、移住志向者に寄り添った相談対応を合計で37件実施した。また、U・Iターンして柏崎で働く若者と、主に首都圏在住で柏崎へのUターンを考えている学生をつなぐオンラインセミナーを開催した。U・Iターン関連補助金については、マイナンバーカードを使ったオンライン申請を開始した。				
成 果	移住ガイドやオリジナル動画を活用するとともに、他課と連携することにより、移住相談者のニーズに合わせた対応を行うことができた。 オンラインセミナーではUターン志向の若者に新たな気付きを与えると同時に、行政としても若者のリアルな声を聞き取ることができ、実情に即した施策を検討するための一助となった。 また、U・Iターン関連補助金のオンライン申請を開始することにより、市役所に来なくても行政手続が可能になり、利便性の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	移住・転職に関する相談窓口の認知度向上に向けた更なる取組が必要である。また、市内企業の求人情報、特に女性の就職先の情報、子育て支援などの情報発信を強化する必要がある。 相談窓口での移住支援策だけでなく、仕事、医療など暮らしに直結した情報を整理して、U・Iターン者が望む情報を的確に提供する方法を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	I T戦略事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,624		7,130	0	494
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,130
目 的	外部人材である情報政策官を登用し、庁内の業務改善及び市民サービスの向上、情報産業の振興を図る。				
取組内容・実績	文書管理・電子決裁システム、行政手続オンラインシステム等の構築に対する技術的助言・支援を受けた。また、市内情報産業事業者との意見交換を実施した。				
成 果	庁内の情報システムの整備等に当たり、技術的助言をいただくことで、適切に導入することができた。 また、市内情報産業事業者との意見交換を実施し、経営課題等についてアドバイスを行うことにより、事業推進に寄与した。				
課題・今後の方向性	引き続き、庁内の情報システム環境の整備及び市内情報化関連企業の振興について、情報政策官のアドバイスをいただきながら進めていく。				

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	405,086		405,024	0	62
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,000		0	5,758	391,266
目 的	包括アウトソーシングにより、市役所で使用する情報システムの調達から運用を一体化し、コストを削減する。また、I C Tの活用による市民サービスの向上、事務の効率化を図る。				
取組内容・実績	文書管理・電子決裁システムの調達支援、DX推進プロジェクト職員研修等の情報政策業務及び基幹系システム等の運用・保守・構築業務を実施した。				
成 果	システム調達・構築、導入、運用保守をアウトソーシングし、コスト削減・業務効率化を行いながら、情報政策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	既存システムの運用・保守業務等に加えて、令和7（2025）年度移行完了を目標としている地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向けた取組を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,615		21,615	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,754		0	0	8,861
目 的	社会保障・税番号制度の円滑な運用とマイナンバーカードを利用したコンビニ交付により、利活用の促進を図る。				
取組内容・実績	マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付は、住民票の写しの交付が2,153件、印鑑登録証明書が1,196件であった。また、国のマイナポータルびったりサービスが11月から申請可能となった。				
成 果	マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付の実施や国のびったりサービスの運用開始によりマイナンバーカードの普及促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	マイナンバーカードの普及とともに、マイナンバーカードが利用できるサービスを拡充していく必要がある。				

事務事業名	辺地共聴施設整備事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,330		8,977	0	353
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,977
目 的	市内のいずれの地域に暮らしていても、テレビから安定的に情報を入手できる環境を整備することにより、安心して暮らすことができるまちを実現する。				
取組内容・実績	老朽化した共聴施設の撤去や修繕に係る費用について、5件の補助を行った。				
成 果	地上デジタル放送が良好に受信できない地域において、安定的にテレビを受信できる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	今後はテレビ共聴組合員の減少に伴い、組合の維持が困難となることや、解散する組合が増加することが予想される。定期的に組合から状況をヒアリングしながら、今後の対応方法を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 世界に開かれたまちづくりを進める

事務事業名	新庁舎整備事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	08	新庁舎整備費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,238		17,235	0	3
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	17,235
目 的	市の総合行政機能を担う本庁舎の機能維持や、行政サービスを確実に提供するための整備を行う。				
取組内容・実績	落雪防止のための融雪ヒーター、空調設備及び避雷設備を設置し、本庁舎の充実を図った。				
成 果	本庁舎の設備整備により、機能維持や行政サービスの提供を確実に行うことができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で終了する。				

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,750		5,716	0	34
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,716
目 的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進めることにより、柏崎地域の国際化を進める。				
取組内容・実績	公益財団法人柏崎地域国際化協会の運営に係る負担金を支出し、柏崎地域の国際化や多文化共生のまちづくりに係る事業を展開することにより、市内在住外国人への支援及び市民との交流を推進した。				
成 果	多文化理解講座等の開催により、外国人への理解が高まった。また、外国人への相談支援等を通じ、外国人が住みやすい環境が整いつつある。				
課題・今後の方向性	相談体制の確保並びに多文化及び言語を理解する人材の育成を更に進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	151,230		142,845	0	8,385
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	57,000		0	0	85,845
目 的	コミュニティセンター運営に必要な人件費に対して補助金を交付し、各振興協議会の健全な財政運営を図る。また、コミュニティ計画に基づいた事業に対して補助金を交付し、地域活動の推進を図る。				
取組内容・実績	コミュニティ管理運営事業補助金を各振興協議会を通じて、センター長に月額58,200円、8時間主事に月額179,200円、5時間主事に月額97,000円を交付した。各振興協議会の活動費として、上限75万円の地域コミュニティ活動推進事業補助金を交付した。				
成 果	各振興協議会の健全な財政運営と住民主体の協働のまちづくりを推進することができた。				
課題・今後の方向性	協働によるまちづくりを推進するため、今後も継続して事業を実施する必要がある。				

事務事業名	地域で支え合う除雪支援事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,297		2,297	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,297
目 的	地域の除雪活動を支援し、助け合いと支え合いの仕組みづくりを推進する。また、冬期間における安心、安全な生活を確保するとともに、雪に強い地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	自力で除雪ができない世帯へ町内会等が行う除雪作業に対し、73町内会へ総額2,263千円の補助金を交付した。				
成 果	豪雪により、山間部以外でも除雪活動が実施され、多くの除雪困難世帯の安心、安全な生活を確保することにつながった。また、住民同士が助け合う体制づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	各部署と連携し、状況に応じた除雪支援を通じ、地域で支え合う体制づくりの促進及び雪に強い地域づくりのため、本事業を継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	冬期集落安全・安心確保対策事業（ソフト事業）			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,823		4,178	0	645
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,088		0	0	2,090
目 的	過疎化・高齢化等により雪処理が深刻となっている豪雪地域の除排雪支援を行うことにより、冬期間における安全・安心な暮らしづくりを推進する。				
取組内容・実績	過疎化・高齢化が深刻な11地区16集落の雪処理対策業務を委託した。				
成 果	山間部等で雪処理が深刻な地区において、安全・安心な冬期生活の確保につながった。				
課題・今後の方向性	過疎化・高齢化が進む集落においても、冬期生活の不安が解消でき、住みよい地域となるよう、本事業を継続して実施する必要がある。				

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,290		11,645	0	1,645
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,047		0	13	8,585
目 的	消費生活センターを設置し、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。また、消費者団体を支援することにより、消費生活やSDGsへの取組を活発にし、消費生活に関する教育や啓発事業への協力を得る。				
取組内容・実績	出前講座（20回、285人）や広報周知などを行うとともに、市民からの消費生活相談（相談件数526件）に対応した。また、必要な場合に構成員間で個人情報の共有が図れる柏崎市消費者安全確保地域協議会を設置し、迅速かつ適切に対応した。				
成 果	各種研修へ参加することにより、消費生活相談員としてのスキルアップに努めるとともに、出前講座への講師派遣により、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	関係機関との連携を強化し、市民への継続的な教育・啓発事業を行う必要がある。特に高齢者被害防止のための見守りや成年年齢引下げに伴う若者向けの消費者教育の充実を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,594		31,236	0	16,358
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	31,231
目 的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることにより、住民同士の連帯感のある犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	安全防犯情報メールや広報に併せ、9月から市公式LINEアカウントの運用を開始し、安全防犯情報を提供した。また、県と共催で、地域防犯リーダー育成講座(受講者21人)などを実施した。				
成 果	関係機関や各団体と連携し、防犯意識の啓発活動を行ったことにより、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚が図られ、刑法認知件数が対前年比18件減少して264件となった。				
課題・今後の方向性	「ながらの目」による地域全体での見守り活動や安全防犯情報メールの登録者拡大を図り、犯罪の抑止に資することが必要である。広報啓発活動の充実や地域防犯活動を支える人材の育成などを関係団体と連携しながら実施する。				

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	78,500		72,258	0	6,242
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	65,000		0	0	7,258
目 的	環境に配慮した発電設備として、太陽光発電設備の整備を推進する。				
取組内容・実績	荒浜コミュニティセンターにおいて、屋上防水改修工事及び太陽光基礎設置工事を行い、44kWh相当のリチウムイオン電池付太陽光発電設備システム一式を設置した。				
成 果	太陽光発電設備の設置により、環境に配慮したコミュニティセンター施設を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	今後も環境への負担の少ないコミュニティセンター施設の整備を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域おこし協力隊活用事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,209		1,603	0	606
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	292		0	0	1,311
目 的	地域ニーズを明確化させ、地域と行政が目的や目標の共有を図ることにより、地域おこし協力隊を受け入れるための環境を整備する。また、インターン事業を通じて地域等が外部人材の受入れ経験を積むとともに、現地体験により希望者と受入れ地域との適切なマッチングを図る。				
取組内容・実績	別俣地区でインターン事業を実施し、3名を受け入れた。また、おためし地域おこし協力隊（現地体験会）を3回実施し、6名が参加した。新たに2地区（別俣・石黒）で、地域おこし協力隊導入の検討を進めた。				
成 果	別俣地区でインターン事業を実施し、次年度での地域課題解決に向けた地域おこし協力隊の募集につながった。 おためし地域おこし協力隊を踏まえ、地域おこし協力隊への応募は1名あったが、採用には至らなかった。 令和4（2022）年度から、新たに2地区（別俣・石黒）で、地域おこし協力隊の募集を開始することとなった。				
課題・今後の方向性	既存のインターン事業に限らず、外部人材活用に係る効果的な支援策を検討する。また、地域おこし協力隊の受入れ地域を、新たに掘り起こしていく必要がある。				

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,159		17,087	0	6,072
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	30	17,057
目 的	地域などの主体的な取組を支援し、地域力の維持と向上を図る。また、若者などの地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材を育成する。				
取組内容・実績	地域おこし協力隊4名が地域で円滑に活動できるよう、関係者等と連携したサポート体制を構築し支援した。				
成 果	地域おこし協力隊4名が地域づくりの担い手として、地域の課題解決や活性化につながる活動に取り組み、地域活力の維持・強化につながった。				
課題・今後の方向性	地域おこし協力隊3名が令和4（2022）年度中に任期終了を迎えることから、定住・定着に向け関係者と連携し、任期後の活動を支援していく必要がある。また、地域おこし協力隊の活動や制度の周知を図り、新たな地域おこし協力隊の任用に向け、外部人材活用の機運醸成を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域防災力向上支援事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,592		4,589	0	1,003
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	633		0	2,148	1,808
目 的	防災士の養成とスキルアップのための支援、地域防災の専門家による知識の伝授や技術的な支援などを通じて、自主防災組織と地域内で活躍できる防災士を育成し、地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	防災の知識を有する「防災士」を育成する防災士養成講座を開催し、42人が新たに資格を取得した。また、資格取得者に対する防災士フォローアップ研修を2回行い、延べ85人が参加した。 自主防災組織への活動支援として、防災出前講座を全42回実施し、延べ818人が参加した。				
成 果	防災士養成講座の開催により、地域防災の中心的な役割を担うリーダーを育成することができた。また、防災出前講座、防災士フォローアップ研修の開催により、防災・減災に関する専門的な知識や技能の更なるスキルを高めることができた。				
課題・今後の方向性	資格取得者の地域での活躍を目指し、防災士フォローアップ研修を継続的に取り組むとともに、資格取得者の防災出前講座や防災教育への参画を促し、平時の防災普及の場面から地域内で担い手として活動できる体制づくりを進める。				

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	11	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,701		9,857	0	844
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,832	8,025
目 的	市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行うことにより、柏崎市交通安全計画の目標である「年間の交通事故発生件数を減少させることにより、交通事故による死者をゼロに近づける」ことを目指す。				
取組内容・実績	交通安全標語・川柳&ポスターコンテストや飲食店への飲酒運転追放の呼びかけなどを実施した。また、交通安全教室を園児対象に28園、卒園児対象に31園、自転車教室を小学校20校・中学校4校、歩行指導を小学校19校、高齢者対象を8回実施した。				
成 果	令和3（2021）年の交通事故発生状況は、発生件数64件、死者数1人、負傷者数72人であり、前年と比較すると、それぞれ4件減、4人減、1人減となった。				
課題・今後の方向性	高齢者人口が増加する中、安全サポート車の試乗や反射機能測定などを活用した体験会を通して、自ら気づく機会を提供する取組が必要である。 関係機関などが連携して、継続的な交通安全教育・指導及び啓発活動を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	12	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,864		9,845	0	1,019
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,805		0	0	40
目 的	原子力発電、放射線利用などに関する正しい知識の普及啓発を図ることにより、地域社会の安全と安心に寄与する。				
取組内容・実績	原子力講座研修を2回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを10校で18回実施した。原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かわざき（アトム情報）と連動したラジオ広報番組の放送を実施した。また、原子力発電に関するこれまでの経過と概要をまとめた冊子の発行などを行った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら研修会等を実施し、放射線や原子力防災に関する知識の普及啓発を図ることができた。原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。				
課題・今後の方向性	放射線や原子力防災に関する認識や理解が十分浸透するよう、企業などへ講座開催の働きかけを行うとともに、分かりやすい内容に見直したチラシを用いて、原子力防災基礎知識の普及を重点的に行う必要がある。				

事務事業名	戸籍住民基本台帳費			決算書 掲載ページ	172
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	03	戸籍住民基本台帳費	担 当	市民課	
目	01	戸籍住民基本台帳費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	181,431		137,950	2,984	40,497
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	51,022		0	31,504	55,424
目 的	戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。また、身分証明書としてマイナンバーカードの利用が図られるようにするとともに、電子証明書によるサービス利用の普及拡大を図る。				
取組内容・実績	住民基本台帳事件数（住民基本台帳による。）28,988件、戸籍事件数（当市受理及び他市町村からの送付分）3,698件、自動車臨時運行許可事務224件、手数料105,421件、印鑑登録・廃印数4,452件、住民基本台帳ネットワーク・マイナンバーカード14,271件の処理を行った。				
成 果	戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理により、住民サービスに貢献することができた。マイナンバーカードの申請サポート及び適切な交付により、身分証明書や電子証明書として利用できた。住民票及び印鑑登録証明書のコンビニ交付を実施することにより、市民の利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も引き続き、住民サービスに貢献できるよう、戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。マイナンバーカードについては、引き続き申請サポートや出張申請を行い、身分証明書としての利用のみならず、電子証明書によるサービス利用が図られるように普及拡大を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

3 款 民生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	180
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	05	統計調査費	担 当	財政管理課	
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,191	3,272	0	919	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	2,280	0	0	992	
目 的	土地の所有者、地番及び地図情報を現状に合った内容にすることにより、災害復旧や土地取引などの円滑化を図る。				
取組内容・実績	第一計画区（西山町浜忠）において、E1工程（一筆地調査）の業務委託契約を締結し、土地所有者調査を行い、地籍調査票及び調査素図を作成した。また、土地所有者に対して文書による地籍調査の事前説明を実施した。				
成 果	土地所有者や関係資料を確認し、地籍調査票及び調査素図を作成したことにより、令和4（2022）年度の境界立会及び現地測量の実施につなげることができた。				
課題・今後の方向性	長期間に及ぶ事業となるため、「柏崎市地籍調査事業全体計画書」に基づき、効率的な調査方法や実施体制、財政負担等を考慮しながら、計画的に事業を推進する必要がある。				

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	184
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	14,580	13,487	0	1,093	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	13,487	
目 的	民生委員、児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員、児童委員の推薦等を行う。				
取組内容・実績	活動費及び研修費補助金を交付し、民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動を支援した。				
成 果	民生委員、児童委員の活動を支援することにより、地域と行政のパイプ役としての役割の充実・強化を図り、地域福祉の向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	委員のなり手が不足している。要因として、無報酬であることや業務に対する責任の重さなどが挙げられる。活動費の増額や、地域における役割の整理など、委員の処遇や活動環境の改善に向けて取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域福祉計画推進事業			決算書 掲載ページ	184
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,597		4,082	0	515
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,082
目 的	社会福祉法第107条に規定する市町村地域福祉計画の策定、進行管理及び評価を行う。				
取組内容・実績	第三次柏崎市地域福祉計画の進行管理、評価を行ったほか、柏崎市地域福祉計画推進会議での検討や関係団体等へのヒアリング調査などを経て、第四次柏崎市地域福祉計画（計画期間：令和4（2022）年度～令和8（2026）年度）を策定した。				
成 果	第四次柏崎市地域福祉計画の策定に当たっては、市民アンケートや職員ワークショップ、関係団体へのヒアリング調査などを経て、地域の現状や課題を踏まえた内容とすることができた。また、専門家派遣事業を活用し、専門家の助言を計画に反映することができた。				
課題・今後の方向性	第四次柏崎市地域福祉計画は、地域福祉の理念や方向性を示す内容であり、具体的な取組につなげるためには、市民や関係者等に周知を図っていく必要がある。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	184
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,858		6,087	0	771
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,988		0	0	3,099
目 的	判断能力が不十分な方の財産や権利の保護及び身上保護の支援や、成年後見制度の普及啓発、相談業務及び申立支援を行う。また、法人後見受任を安定的に行うために、市民後見支援員の養成を図る。				
取組内容・実績	経済的理由により制度の利用が困難な方を支援するため、6人に成年後見制度の利用に伴う後見人等の報酬費用の助成を行った。 また、法人後見活動を安定的に実施するため、法人後見支援員フォローアップ研修を10回、制度の普及啓発のための支援者向け研修会（33人参加）と一般市民向け研修会（31人参加）を各1回実施した。				
成 果	後見人等の報酬費用の助成を行うことにより、必要な方が適切に成年後見制度を利用することができ、判断能力が不十分な方の財産や権利保護を行うことができた。法人後見支援員の育成や研修会を実施することで、安定的な法人後見受任や成年後見制度の周知啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	認知症高齢者、知的障がいや精神障がいの方が増加傾向にあることや、親族以外の第三者後見の割合が多く、後見人不足が懸念されているため、柏崎市社会福祉協議会に委託して柏崎市権利擁護センター（中核機関）を設置し、権利擁護支援の充実強化を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	186
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	28,613		28,521	0	92
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,410		0	0	8,111
目 的	生活に困窮した方が困窮状態から早期に脱却できるように、相談者の状態に応じた相談支援を行うことにより、自立の促進に取り組む。				
取組内容・実績	自立相談支援事業では、307人（新規180人）の相談に対応した。 就労準備支援事業では、居場所づくり支援としてのサロンを9回開催（参加者35人）したほか、相談者2人の就労準備の支援を行った。 家計改善支援事業では、48人を支援し、13人が目標達成により支援を終了した。 子どもの学習・生活支援事業では、訪問型学習支援は22人、集合型学習支援は38人（32回開催）が利用した。				
成 果	生活に困窮した方に対して、状態に応じて必要となる支援を行うことにより、相談者の自立を促進することができた。				
課題・今後の方向性	相談者が抱える課題は多岐にわたり、複雑なケースも多くなっているため、自立相談支援事業での相談支援を中心に関係機関と緊密に連携することで、より効果的な支援を実施する必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症生活支援事業			決算書 掲載ページ	186
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	204,950		204,950	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	114,000		0	0	90,950
目 的	新型コロナウイルス感染症の陽性者とその濃厚接触者である同居家族に対し、健康観察期間に経済的サポートを行い、不安の軽減を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の陽性者とその濃厚接触者である同居家族（726世帯2,137人）に対し、生活支援金を支給したほか、電話での相談に対応した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の陽性者とその濃厚接触者である同居家族の生活について、不安の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新潟県の新型コロナウイルス感染者及び同居の濃厚接触者に対する療養方針の変更により、自宅療養が原則となったため、療養期間中の食料品等の確保が重要となったことから、生活支援金の支給は令和3（2021）年度までとし、令和4（2022）年度からは自宅療養される陽性者及び同居の濃厚接触者に食料品を支給する事業を行うこととした。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業			決算書 掲載ページ	186
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,829		1,762	0	4,067
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,762		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する世帯に対して、支援金を支給し生活費を確保することにより、就労自立に向けた支援を行う。また、就労自立が難しい世帯については、円滑に生活保護の受給につなげる支援を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する8世帯に対し、支援金を支給した。また、就労による自立が困難な1世帯については、生活保護による支援を開始した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯が就労による自立を果たすため、経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、生活に困窮する世帯の就労自立のため、自立相談支援機関である柏崎市社会福祉協議会と連携して引き続き生活支援に取り組む。				

事務事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	188
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	930,000		722,500	110,000	97,500
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	722,500		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々に対し、生活・暮らしの支援を速やかに行う。				
取組内容・実績	世帯全員が住民税均等割非課税の世帯7, 225世帯に対し、1世帯当たり10万円を支給した。				
成 果	世帯全員が住民税均等割非課税の世帯が、速やかに生活・暮らしの支援を受けることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、国は、令和4(2022)年度も事業を行うこととしたため、対象の世帯に対し、給付金を支給する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	生活困窮者生活支援金給付費			決算書 掲載ページ	188
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,044		1,850	0	194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,850		0	0	0
目 的	厳しい生活環境にある生活困窮世帯の生活支援を行う。				
取組内容・実績	生活保護受給、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金及び住居確保給付金受給の362世帯に対し、生活支援金を支給した。				
成 果	厳しい生活環境にあり、生活に困窮する方の経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に加え、物価高騰等で家計の経済的負担が増加している。引き続き生活に困窮する方の負担軽減のための支援を行う必要がある。				

事務事業名	女性相談支援事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,040		3,657	0	383
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,210		0	9	2,438
目 的	パートナーからの暴力、離婚問題、家庭不和、ひとり親への支援などの相談窓口となり、主に女性の安全かつ自立した生活への相談支援を行う。				
取組内容・実績	DV被害を含む主に女性からの生活、福祉に関する相談への対応、必要な助言を行うとともに、自立に向けた支援を行った。延べ556件（うちDV330件）、実人数114人（うちDV37人）の相談支援を行った。				
成 果	DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題、ひとり親家庭自立支援など様々な相談に対応し、被害の未然防止や自立支援に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	相談内容は、DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題などが複合化している状況である。また、精神疾患などを抱える相談者も多くなる傾向があることから、関係機関との連携強化が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	999,289		983,786	0	15,503
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	729,050		0	0	254,736
目 的	障がいのある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、居宅介護87人、行動援護12人、同行援護14人、療養介護54人、短期入所16人、生活介護201人、施設入所支援112人が利用した。				
成 果	地域生活を支えるサービスを提供することにより、障がいのある方が地域で安心して暮らすことができた。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスを的確に把握し、引き続き、サービス提供体制を確保する。				

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	481,682		474,494	0	7,188
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	352,627		0	0	121,867
目 的	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援を行い、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、自立訓練（機能訓練）2人、自立訓練（生活訓練）6人、宿泊型自立訓練5人、就労移行支援9人、就労継続支援A型14人、就労継続支援B型207人、就労定着支援11人、共同生活援助89人が利用した。				
成 果	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援などのサービス提供と、経済的な負担軽減を図ることにより、住み慣れた地域で安心して自立した生活に資することができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方の介護者の高齢化などにより、利用の増加が見込まれるため、障がいのある方が必要としているサービスについて、障がい福祉サービス事業所や関係機関と情報共有を行い、適切なサービスの提供を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,272		20,510	0	5,762
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,000		0	0	5,510
目 的	身体障がい者が自立した日常生活を送ることができるように、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具の購入費用を給付する。				
取組内容・実績	購入費用の給付は、義足5件、装具35件、視覚障がい者用安全つえ5件、補聴器43件、車椅子14件、電動車椅子2件などで合計115件だった。修理費用の給付は78件だった。				
成 果	用具の購入費や修理費を給付することにより、身体の欠損又は損なわれた身体機能の補完・代替と経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	必要な用具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。				

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,011		20,676	0	1,335
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,010		0	0	11,666
目 的	在宅の障がい者等の日常生活の負担を軽減するため、障がい特性に応じて必要な日常生活用具を給付する。				
取組内容・実績	電気式たん吸引器、パルスオキシメーター、視覚障がい者用拡大読書器、時計、体温計、人工内耳用電池、特殊ベッド、特殊マット、聴覚障がい者用屋内信号装置、ストーマ装具等1,832件を給付した。				
成 果	障がいのある方の自立や生活の質の向上、介助者の身体的負担を軽減するとともに、経済面での負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	必要な用具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。また、日常生活用具の給付種目の見直し拡充に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,218		25,006	0	1,212
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,676		0	0	22,330
目 的	障がいのある方が事業所に通所することにより、創作的活動、生産的活動及び地域との交流の場を提供し、地域生活の支援を促進する。				
取組内容・実績	登録者数は、Ⅰ型（地域活動支援センター事業）51人、Ⅲ型（小規模作業所事業）8人であり、Ⅱ型（障害者デイサービス事業）の支給決定者数は32人だった。				
成 果	障がいのある方が仲間などと日中活動する場を提供することにより、充実した地域生活を支援することができた。				
課題・今後の方向性	今後も障がいのある方の地域活動の支援及び社会との交流の促進を図り、地域活動支援センターの支援体制の充実に向けた取組を行う。				

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,442		25,442	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	25,442
目 的	障がいのある方やその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等の援助を行い、障がいのある方が自立した日常生活を送るための支援を行う。				
取組内容・実績	延べ相談対応件数は、5つの相談支援事業所合計で2,384件だった。				
成 果	障がいのある方やその家族などが、適切なサービスを利用し、安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができた。				
課題・今後の方向性	安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができよう、引き続き、障がいのある方やその家族が地域で適切な助言を受けられる体制を確保していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	身体障害者等交通費助成事業			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,516		13,110	0	1,406
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6	13,104
目 的	心身に障がいのある方の社会参加や通院・通所に係る費用負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	心身に障がいのある方にタクシー利用料金の助成若しくは自動車燃料費の助成を行った。 ・タクシー利用料金助成679人 ・自動車燃料費助成110人				
成 果	移動に要する交通費の助成を行うことにより、適切な医療受診の継続、社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方とその家族の社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図る。				

事務事業名	福祉職員支援事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,015		215	0	800
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	215
目 的	市内の障がい児者の入所施設へ新たに勤務する人に補助金を交付することにより、福祉に関する資格を有する人材を確保する。				
取組内容・実績	障がい児者が入所施設へ新たに勤務する方に1件、200,000円の補助金を交付した。				
成 果	障がい福祉業務に従事する職員の人材確保により、安定したサービスの提供につなげることができた。				
課題・今後の方向性	安定したサービスを提供するため、法人や障がい福祉サービス事業所と連携し、福祉人材の確保に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害福祉従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	500		499	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	499
目 的	障がい福祉施設で働く人材の確保及び職場への定着を図る。				
取組内容・実績	人材確保に向けた取組を1法人が2事業実施し、486,000円の補助金を交付した。				
成 果	障がい福祉施設の人材確保及び職場定着により、安定した障がい福祉サービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	人材確保及び職場定着は安定したサービス提供につながることから、法人等と情報共有を行うとともに、制度の利用促進を図る。				

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	83,531		77,717	0	5,814
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	58,300		0	0	19,417
目 的	子どもの成長発達を図るための支援を提供し、利用に係る費用の一部又は全部を市が負担することにより、障がい児を育てる保護者の経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、児童発達支援96人、放課後等デイサービス47人、保育所等訪問支援1人が利用した。				
成 果	集団生活への適応訓練や生活能力向上のための訓練などを継続的に提供することにより、障がい児の成長促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	利用者個々のニーズに応じて利用場所を選択できるよう、引き続き、体制の整備に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,572		8,605	0	1,967
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,453		0	0	2,152
目 的	障害児支援利用計画を作成することにより、障がい児の成長に沿った療育サービスの提供につなげ、一定期ごとに支援等の利用状況の検証や計画の見直しを行うことにより、適切なサービス利用を支援する。また、サービス利用に係る費用の一部又は全額（生活保護世帯及び低所得者）を市町村が負担し、経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	委託により障害児支援利用計画を作成し、185人の支給決定を行った。				
成 果	障害児支援利用計画の作成により、障がいの程度や成長に沿ったサービスの提供、適切なサービス利用が行われた。				
課題・今後の方向性	障がい児が必要としているサービスを提供できるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心に、相談支援事業所、関係機関などとのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を推進する。				

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	72,231		66,884	0	5,347
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	51,374		0	0	15,510
目 的	更生医療及び育成医療については、一定の障がいのある方に対し、医療費の補助を行うことにより、本人の自立した日常生活、社会生活の支援を図る。療養介護医療については、重度の障がいのある方で常時介護と医療を必要とする方に対し、医療費の補助を行うことで経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	障がいのある方・障がい児が、その障がい除去・軽減する手術などの医療費に対して助成を行った。 ・更生医療（心臓・腎臓・肝臓等）：188人 ・育成医療（18歳未満の障がい除去手術等）：28人 ・療養介護（主に筋ジストロフィー）：延べ644人				
成 果	継続的治療や障がい除去、長期の療養介護等に必要な医療費の自己負担額の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法等に基づく福祉的措置として、継続的治療や障がい除去、長期の療養介護等のために必要となる医療費の自己負担軽減を継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	老人保護措置委託事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	137,992		130,042	0	7,950
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	85,000		0	28,432	16,610
目 的	環境上及び経済的理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を対象とし、養護老人ホームへ入所を委託し、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図る。また、虐待を受けた高齢者を保護し、養護者の負担軽減を図り、高齢者の権利利益を擁護する。				
取組内容・実績	養護老人ホーム御山荘に53人、養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家に2人、養護盲老人ホーム第二光が丘ハウスに1人の入所を委託した。高齢者虐待防止のための緊急入所者はいなかった。				
成 果	環境上や経済的理由により在宅生活が困難な高齢者を支援する事業であり、対象者を入所委託したことにより、日常生活の見守りが行われ、生活の安定・向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	介護サービスの充実により、在宅での生活を長く続けることができるため、90歳代での新規入所が増加している。そのため、入所期間が短期化しており、入退所が頻回になっている。また、退所者数が入所者数を上回っていることから、入所者数は減少傾向にある。				

事務事業名	単身老人等緊急通報装置設置事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,652		7,538	0	1,114
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,538
目 的	緊急通報装置を設置し、緊急事態に備えることにより、在宅で生活する一人暮らしの高齢者の不安解消を図る。				
取組内容・実績	34台の緊急通報装置を設置し、年度末の設置台数は277台だった。また、緊急通報が6件、安否通報が646件（うち救急出動3件）、火災通報が7件（うち消防出動1件）あった。				
成 果	定期的な伺い電話や緊急時の速やかな対応により、日常生活の不安解消や、万一の場合の危機回避に役立った。				
課題・今後の方向性	今後も一人暮らしの高齢者の増加が見込まれることから、民生委員や地域包括支援センター等への周知を強化し、必要な方に対して緊急通報装置の設置を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ購入費助成事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,090		37,922	0	2,168
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	120	37,802
目 的	在宅の寝たきり等で常に紙おむつを使用している高齢者に、紙おむつ購入費用の一部を助成し、在宅介護の経済的な負担軽減と在宅生活の継続を図る。				
取組内容・実績	1月当たり市民税所得割非課税世帯には3,000円、市民税所得割課税世帯には2,000円の助成券を6か月分まとめて、年2回1,513人に交付した。				
成 果	延べ37,887枚の紙おむつ券が使用され、在宅の寝たきり高齢者等を介護する方の経済的負担の軽減を図り、在宅介護を支援した。				
課題・今後の方向性	家庭における介護の負担軽減を図り、老後も住み慣れた地域で暮らしていけるよう、事業を継続して実施する。				

事務事業名	介護従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,283		42,365	0	4,918
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	42,365
目 的	安定的な介護サービスを提供するため、介護事業所等に勤務する職員の職場定着と新たな介護人材の確保を支援する。				
取組内容・実績	<p>介護事業所等が行う介護人材の確保に要する経費に対し、以下の補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護資格取得支援補助金：43事業所109人 ・介護夜勤対応者補助金：14法人40事業所（夜勤対応者564人） ・介護職員人材確保及び職場定着支援事業補助金：3法人 <p>新たな介護人材確保に向けて、外国人介護職員導入に関する研修会を開催した。また、中学校・高校で出前講座を行い、若い世代に対し介護職の魅力を発信した。</p>				
成 果	各種補助金の交付により、介護職員のスキルアップや職場定着を図ることができた。また、出前授業やラジオ放送で介護職の魅力発信を行うことにより、介護職のイメージアップを図った。				
課題・今後の方向性	介護ニーズの増大と生産年齢人口の急減が見込まれる中、若い世代に対して介護職の魅力を発信することにより、介護のイメージアップ・理解促進を図り、将来的な介護人材の確保につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,600		3,150	0	450
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,150
目 的	市内の介護事業所又は病院で介護業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	介護福祉士13人、社会福祉士1人、初任者研修2人の計16人に補助金を交付し、人材確保を図った。				
成 果	補助金の交付により、16名の有資格者の人材確保につながった。				
課題・今後の方向性	質の高い介護サービスを安定的に提供するため、介護人材の確保は最重要課題であり、市民や介護の専門学校等に補助金制度の周知を行い、市内の介護事業所への就職を促す人材確保策を強化する必要がある。				

事務事業名	いきいき館管理費			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	西山町事務所	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,241		13,409	0	832
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	13,409
目 的	施設の適正な維持管理を図ることにより、保健福祉事業の拠点施設として積極的に利用していただくことで、地域福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	各種健診のほか、高齢者・障がい者など多様な方々から利用いただいた（利用者数7,083人）。また、1階事務室カウンター修繕や街路灯修繕を行った。				
成 果	地域の保健福祉事業の拠点施設を適切に維持管理することにより、利用者が安心して施設を利用することができ、地域福祉の向上に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	令和4（2022）年度から西山コミュニティセンターが配置され、令和5（2023）年度から柏崎市商工会が入居予定であり、公共施設等マネジメントによる施設複合化により、施設の維持管理を見直し、経費の抑制を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護基盤整備事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	37,041		37,040	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,288		0	752	0
目 的	介護基盤の整備促進及び開設後の安定したサービス提供への支援のため、介護サービス事業所整備に係る補助金を交付する。				
取組内容・実績	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）整備事業者に対し、施設整備経費に係る補助金を交付した。				
成 果	補助金交付により、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を整備し、安定した介護サービスの提供に寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も、介護サービス事業所整備に必要な補助金を交付することにより、介護サービスの充実に努める。				

事務事業名	にしかりの里整備事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,800		40,800	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		40,800	0	0
目 的	にしかりの里の屋上全面改修事業に負担金を支出することにより、施設の維持を図り、入所者の安定した居住環境を確保する。				
取組内容・実績	施設管理者である社会福祉法人西山刈羽福祉会の設立時における旧西山町と刈羽村の負担割合（5：5）により、屋上の全面改修工事に要する費用の一部を負担した。				
成 果	劣化した屋根の改修により雨漏りが解消され、利用者への安定したサービス提供が可能となり、地域福祉の充実に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの医療費助成事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	182,832		166,284	0	16,548
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	69,228		0	0	97,056
目 的	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	子どもの医療費の一部を助成した。 ・助成件数97,392件、助成総額158,394,589円				
成 果	子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	通院の助成対象が高校卒業までに拡充される令和4(2022)年度以降も、引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減に努める。				

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(その他世帯)			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,200		23,000	0	7,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	23,000		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得のひとり親・ふたり親子育て世帯に対し、給付金を支給する。				
取組内容・実績	低所得のひとり親・ふたり親子育て世帯(252世帯)に対し、児童1人当たり50,000円を支給した。				
成 果	低所得のひとり親・ふたり親子育て世帯に対し、支援金を支給することにより、コロナ禍における生活の支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3(2021)年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	214
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,173		5,346	0	827
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,170		0	0	176
目 的	児童虐待の予防・早期発見・重度化防止のため、関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応する。また、子どもの人権擁護と自立を目指し、適切な養育支援を行うとともに、児童虐待防止に係る啓発を行うことで、地域の子どもの見守り意識の醸成に努める。				
取組内容・実績	支援体制強化のため、保育園・幼稚園や学校等と、毎月の情報共有を開始した。また、虐待による子どもの脳への影響を広報誌や周知啓発カードに記載し、虐待防止の周知啓発に取り組んだ。加えて、国の通知により、子どもの権利擁護の視点から、柏崎市要保護児童対策地域協議会がヤングケアラーの啓発等を担うこととなり、県内で最初にヤングケアラー支援についての市民・支援者向け講演会を開催した（参加者109人）。				
成 果	学校などから定期的な報告を受けることで、タイムリーに状況を把握して支援にいかすことができた。近年、家庭からの相談件数が増加傾向にあることから、相談窓口が認知されてきている。県内でも早期にヤングケアラーの講演会を開催し、ヤングケアラーを正しく理解する機会を設けることができた。				
課題・今後の方向性	虐待防止で支援している世帯の背景として、子育ての負担感、保護者の病気や虐待経験など、複数の問題が関係することで支援内容が複雑化している。関係機関との連携強化と周知啓発の継続などにより、児童虐待やヤングケアラーについて正しく理解し、家庭が孤立しないよう見守る体制を充実させていくことが必要である。				

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,703		2,684	0	19
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,770		0	7	907
目 的	子育て中の親が、仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう支援する。				
取組内容・実績	子どもの預かりや送迎などの援助活動は351件あり、依頼会員と提供会員の相互の活動の調整を行った。 ・会員数269人（提供会員47人、依頼会員216人、両方会員6人）				
成 果	依頼会員のおおむね8割が複数回利用しており、子育て支援のニーズに対応することができた。				
課題・今後の方向性	提供会員の新規加入がなかったため、会員を公募する。また、各会員のスキル向上を目的とした小児科医の講話やAED研修等を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子育て世代包括支援センター利用者支援事業			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,668		5,962	0	706
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,966		0	11	985
目 的	妊娠期から子育て期の母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師、助産師等が専門的な見地から相談等を行い、切れ目のない子育て支援を行うことにより、産後うつや児童虐待等を予防する。				
取組内容・実績	母子保健担当と要児童虐待防止担当の連携会議を毎月定例実施し、母子健康手帳交付時の生活状況を基に、妊娠期からの支援の必要性について、70件のケース検討を行い、そのうち62世帯に対し支援プランを作成した。				
成 果	妊娠期からの支援により、産後うつ等の予防や重症化防止につながった。また、相談対応したうちの26件は、児童虐待防止担当と連携し、継続的にきめ細かく対応したことにより、虐待抑止に効果があった。				
課題・今後の方向性	産後うつ予防の体制強化のため、産婦健診における心の健康チェックを実施するとともに、産後ケア事業（宿泊型）に取り組む必要がある。				

事務事業名	子育て応援券事業			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,775		21,722	0	4,053
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,276		0	0	1,446
目 的	経済的負担の軽減や子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から3歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり1万円の子育て応援券を交付した。1,755人を対象に交付し、登録事業者は64者となった（令和2（2020）年度発行分利用率97.33％）。				
成 果	乳幼児を抱える世帯への経済的負担の軽減や地域の子育て環境の充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	子育て応援券を使用できる登録事業者の拡充や応援券の電子化など、利便性の向上を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	192,424		192,043	0	381
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	86,664		0	49,139	56,240
目 的	放課後や学校休業日に留守家庭となる小学校の児童を預かり、適切で安全な遊びや生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成を図る。				
取組内容・実績	市内23か所の児童クラブを民間委託（柏崎市社会福祉協議会22か所、西山福祉会1か所）し、年間延べ6,708日開設、162,999人の利用があった。				
成 果	適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることに加えて、保護者の就労や介護等の支援にも寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童クラブ支援員の安定的な人材確保や支援が必要な児童の対応方法について、専門的助言が受けられる体制作りに取り組む必要がある。				

事務事業名	児童クラブ整備事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,762		14,762	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,000		0	0	4,762
目 的	児童クラブを適切で安全に運営するために必要な整備を行う。				
取組内容・実績	半田第一児童クラブの外壁、土台及び床の修繕を実施した。また、榎原小学校の敷地内に東部児童クラブを新築工事するため、設計業務委託を実施した。				
成 果	児童クラブを改修することにより、より良い環境が整備され、児童に適切で安全な生活の場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	建築してから10年以上経過する児童クラブの修繕などを継続的に実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 出会いの喜びを感じる環境を整備する

事務事業名	家庭児童相談室事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,351		10,179	0	172
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,811		0	26	5,342
目 的	相談者家庭の人間関係や養育環境の改善・適正化に向けた支援を行う。また、児童の健全育成と家庭支援を継続して行うことにより、児童虐待の抑止や重症化を防止する。				
取組内容・実績	教員免許などの専門性を持った家庭児童相談員を配置し、家庭の養育環境等に支援が必要な相談者241人(延べ3,974人)に対し、来所、電話、訪問による相談を実施した。				
成 果	令和2(2020)年度のコロナ禍における休校後、不登校傾向の相談事例が増加しており、学校・医療機関と連携しながら訪問や電話などによる家庭支援、登校支援を継続し、生活状況の改善や重症化を防止することができた。				
課題・今後の方向性	子どもの自立のために学校復帰は重要であり、関係機関(学校、医療機関、関係課等)との連携を強化しながら、支援を継続していく必要がある。				

事務事業名	結婚活動応援事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,500		1,500	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,500
目 的	出会いや結婚を望む独身男女を支援し、未婚化や晩婚化の解消につなげる。				
取組内容・実績	婚活イベントを2回実施し、延べ55人の参加者のうち6組がマッチングした。また、ハートマッチにいがたの臨時サポートセンターを2回開設した。				
成 果	婚活イベントの開催により、出会いの場を創出した。				
課題・今後の方向性	男性の申込数に対して女性の申込数が少ないため、女性が参加しやすい工夫や環境づくりに努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,136,000		1,032,800	6,000	97,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,032,800		0	0	0
目 的	国が令和3（2021）年11月19日に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、0歳～18歳（高校生相当）の子どもがいる世帯に対し、一人当たり10万円を給付する。				
取組内容・実績	給付金対象者10,328人に対し、一人当たり10万円の給付金を支給した。				
成 果	給付金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の経済的支援に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	令和4（2022）年度に一部繰越し、令和4（2022）年5月末をもって事業が完了した。				

事務事業名	県立こども自然王国整備費			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,099		4,833	0	266
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,833
目 的	県内外の児童・親子が豊かな自然の中で交流を深めるために必要な施設の整備などを行う。				
取組内容・実績	大型複合遊具の修繕及び塗装工事等を実施した。また、食堂卓上型券売機を新たに購入した。				
成 果	適正な施設整備や更新が行われたことにより、児童・親子が安心安全の下、施設を利用することができた。				
課題・今後の方向性	施設の長寿命化を図るため、引き続き施設整備などを適切に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,282		24,708	0	1,574
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,678		0	50	11,980
目 的	地域子育て支援拠点において、保護者の子育て不安軽減などに向けた支援体制を確保する。				
取組内容・実績	元気館ジャングルキッズ及び公立子育て支援室において、未就園児とその保護者に交流の場を提供するとともに、随時子育て相談等を実施した。公立子育て支援室（6施設）において、延べ4,530組が利用し、57件の相談があった。				
成 果	子育て支援の場を提供することにより、子育てに関する関心が高まり、未就園児を持つ保護者の子育て不安を軽減することができた。また、妊娠中の子育て支援室の利用についても徐々に認知され、妊娠期から切れ目のない子育て支援もできた。				
課題・今後の方向性	子育て不安の軽減を図るため、利用者にとって分かりやすい子育て支援拠点施設や子育て講座の情報発信方法を検討する必要がある。今後も継続的な子育て支援及びニーズに合った子育て情報の提供を行う。				

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,182		28,274	0	908
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	24,628	3,646
目 的	心身やことばの発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象に、個々の発達段階や特性に応じた発達支援を行い、保護者の子育て不安の軽減を図る。				
取組内容・実績	障がい児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援などの福祉サービスを行ったほか、キッズ・サポート園巡回相談を行った。障がい児相談支援では年間144人のサービス等利用計画を作成し、児童発達支援では年間136人の利用者に対して延べ2,036件の発達支援を行った。また、キッズ・サポート園巡回相談では66人の園児に関する専門的な助言を幼稚園・保育園等に行った。				
成 果	専門的な知識経験を有する児童指導員や臨床心理士等を配置することにより、子どもの集団生活への適応向上や保護者の子育てに対する自信向上につながった。さらに、キッズ・サポート園巡回相談により、保育士等への支援方法を向上させることができた。				
課題・今後の方向性	発達支援に関するニーズは年々高まっており、地域の中核的な療育支援機関としての体制充実が求められている。このため、職員の専門性の向上を図り、関係機関との連携を更に強化していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,335		6,934	0	401
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	6,920
目 的	適応指導教室（ふれあいルーム）に指導員を配置し、登校が困難な小・中学生及び高校生への学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び居場所の提供をすることにより、学校や社会への復帰を目指す。				
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童・生徒に対して、集団生活に適応するための体験活動を通じて、学校復帰するための支援を行った。年間242日開級し、最大で11人が在籍した。				
成 果	在籍11人の児童・生徒のうち10人が学校復帰（完全復帰5人、部分登校5人）に結び付いた。				
課題・今後の方向性	中学生から高校生、高校生から社会人へと途切れない支援を行うため、関係機関との情報共有や引継ぎが必要である。				

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,280		12,575	0	705
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	33	12,542
目 的	臨床心理士及び相談員を配置し、不登校や発達障がいなどの心身の不調やいじめ問題に悩む小・中学生、高校生及びその保護者への相談を行い、悩みの早期解決を図る。				
取組内容・実績	臨床心理士及び相談員が、児童・生徒及びその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細かな相談支援を行った。面談相談は、122人に対して延べ556回実施した。また、小・中学生の発達障がい等の児童・生徒を対象にしたソーシャルスキルトレーニングを計36回、延べ158人に実施した。				
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって、不登校の長期化予防、発達障がいの二次障がいの防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様化、複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にして、相談支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	かしわざきこども大学事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	学校教育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,882		5,402	0	1,480
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,402	0
目 的	地域団体や大学などと連携し、おおむね18歳未満の子どもを対象に学校や家庭だけでは体験できない様々な学びの場を提供することにより、子どもたちの生きる力を育む。				
取組内容・実績	自然体験コースやキャリア教育コース等全7コースを実施し、地域住民を含めて9,330人が参加した。				
成 果	感染症対策を講じながら、地域団体や大学などと連携し学校や家庭だけでは体験できない様々な活動の場を提供し、子どもたちの生きる力を育むことができた。				
課題・今後の方向性	財源であるかしわざき子ども育成基金の残高が減少していることから、こども大学の在り方や同様の事業との統合等を検討し、スリムな事業展開を図る必要がある。				

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,628		29,646	0	5,982
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,218		0	0	16,428
目 的	ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	受給者1,227人に対し、11,599件(医療費助成総額25,705,498円)の助成を行った。				
成 果	ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減が図られ、児童の健全な育成に寄与した。				
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、今後も継続して医療費助成を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯）			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,750		39,300	0	3,450
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	39,300		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得のひとり親子育て世帯に対し、給付金を支給する。				
取組内容・実績	低所得のひとり親子育て世帯（523世帯）に対し、児童1人当たり50,000円を支給した。				
成 果	低所得のひとり親の子育て世帯に対し、支援金を支給することにより、コロナ禍における生活の支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で終了する。				

事務事業名	保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,743		6,196	0	3,547
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,040		0	0	4,156
目 的	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、公立保育園における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を充実させる。				
取組内容・実績	消毒液や不織布マスク等の消耗品を購入し、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。				
成 果	公立保育園の感染防止環境が向上した。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、感染防止対策を継続的に講じる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,241,741		1,181,803	0	59,938
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	747,986		0	108,623	325,194
目 的	私立保育園の健全な保育園運営の確立を支援し、入園を希望する児童の受入体制を確保する。				
取組内容・実績	私立保育園 1 2 園に保育の実施に要する経費を委託費及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立保育園に委託費及び運営費補助金を交付することにより、健全な保育園運営を通じ入園希望児童の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	健全な保育園運営の確保に向けて、継続した支援が必要である。				

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	89,970		82,834	0	7,136
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,847		0	0	45,987
目 的	私立保育園における未満児保育及び障がい児保育の受入体制を確保する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、特別保育事業（未満児保育事業 1 2 園、障がい児保育事業 1 1 園）を実施した私立保育園を支援した。				
成 果	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを通じ、未満児保育及び障がい児保育の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	特別保育事業を実施する私立保育園を継続支援することで、多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園建設費補助金			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,233		29,490	0	2,743
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	19,660		0	0	9,830
目 的	私立保育園の施設整備に伴う経済的負担を軽減する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、改修工事等を行った私立保育園（2園）の工事費の一部を支援した。				
成 果	保育園運営法人の施設整備に伴う経済的負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	私立保育園における健全運営を確保するうえで、継続した施設整備支援が必要である。				

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,296		24,382	0	8,914
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,544		0	0	11,838
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、私立保育園における子育て支援体制を確保する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業4園、地域子育て支援拠点事業4園、地域子育て支援センター事業3園、一時預かり事業3園）を実施した私立保育園を支援した。				
成 果	安心して子育てができる環境を整備することで、地域子ども・子育て支援体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	地域子ども・子育て支援事業を継続することで多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,000		5,800	0	200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,900		0	0	2,900
目 的	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、私立保育園における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を充実させる。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、新型コロナウイルス感染症対策を実施する私立保育園（12園）に対し支援を行った。				
成 果	私立保育園の感染防止環境が向上した。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、感染防止対策支援を継続的に講じる必要がある。				

事務事業名	私立認定こども園等運営経費			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	470,839		426,657	0	44,182
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	296,399		0	6	130,252
目 的	私立認定こども園等の健全な園運営の確立を支援し、入園を希望する児童の受入体制を確保する。				
取組内容・実績	私立認定こども園4園と私立幼稚園1園に教育・保育に要する費用を施設型給付費及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立認定こども園と私立幼稚園に施設型給付費と運営費補助金を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保することができた。また、小学校就学前の児童に対して、必要な教育・保育を実施することができた。				
課題・今後の方向性	健全な園運営の確保に向けて、認定こども園等を継続支援していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等建設費補助金			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,302		32,302	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,535		0	0	10,767
目 的	私立認定こども園等の施設整備に伴う経済的負担を軽減する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、私立認定こども園（1園）の改修工事費の一部を支援した。				
成 果	私立認定こども園等の運営法人の施設整備に伴う経済的負担を軽減した。				
課題・今後の方向性	私立認定こども園等の健全運営を確保するうえで、継続した施設整備支援が必要である。				

事務事業名	私立認定こども園等発達障害児等介助事業補助金			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	180		120	0	60
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	120
目 的	私立認定こども園等における、個別の介助が必要な発達障がい児等の受入体制を確保する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、発達障がい児等介助事業を実施した私立幼稚園を支援した。				
成 果	発達障がい児等介助事業を実施する私立幼稚園を支援することにより、発達障がい児童等の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	発達障がい児等介助事業を実施する私立認定こども園等を継続支援することで、多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	施設等利用費給付事業			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,284		4,314	0	3,970
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,879		0	0	1,435
目 的	施設等利用給付認定を受けた子どもが利用する預かり保育事業や認可外保育施設等の利用費を給付することにより、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減する。				
取組内容・実績	施設等利用費給付の対象事業を利用した子どもの保護者に利用費を償還払いにより給付した。給付内訳（延べ件数）は、国立大学附属幼稚園12件、認可外保育13件、預かり保育事業1,024件、一時預かり事業4件であった。				
成 果	施設等利用費の給付を行うことにより、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、施設等利用給付認定を受けた子どもが対象施設を利用した際に係る費用を支給することにより、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減する必要がある。				

事務事業名	小規模保育事業運営経費			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,017		18,111	0	15,906
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,193		0	0	4,918
目 的	小規模保育事業を運営する施設の健全運営の確立を支援し、入園を希望する児童の受入体制を確保する。				
取組内容・実績	小規模保育事業所（1園）に保育の実施に要する経費の一部を地域型給付費により支援した。				
成 果	小規模保育事業所に地域型給付費を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保した。				
課題・今後の方向性	健全な施設運営の確保に向けて、小規模保育事業を継続支援していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	小規模保育事業新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	300		300	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	150		0	0	150
目 的	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、小規模保育事業所における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を充実させる。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、新型コロナウイルス感染症対策を実施する小規模保育事業所（1園）に対し支援を行った。				
成 果	小規模保育事業所の感染防止環境が向上した。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、感染防止対策を継続的に講じる必要がある。				

事務事業名	子どもの遊び場施設整備補助金			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,430		4,426	0	4
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,368		0	0	58
目 的	健全な遊び場の整備を促進することにより、子どもの路上遊びの防止と遊び場環境の改善を図る。				
取組内容・実績	町内会などが管理する公園の整備計画について、16件の補助金を交付した。				
成 果	計画された全ての整備計画が実施され、遊具の撤去、修繕及び新設など、安全に配慮した子どもの遊び場の環境整備に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童が生活する身近な町内で、健全な遊びを通じて社会性や体力増進を図るため、今後も事業を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの屋内遊び場施設利用券事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,883		3,399	0	11,484
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,801		0	0	598
目 的	冬期間など、天候に影響されずに遊ぶことができる屋内遊び場の利用料を補助し、子どもの遊び場環境の充実を図る。				
取組内容・実績	小学2年生までの子どもがいる世帯に対し、一人5回分の利用券を交付した。対象者4,412人に交付し、4,929枚の利用があった。				
成 果	屋内遊び場の利用券を交付することにより、必要な世帯に対して、経済的負担の軽減と天候に影響されない屋内遊び場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられることができるように、今後も子育て世帯の経済的負担の軽減と遊び場環境の充実を図っていく必要がある。				

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,143		14,051	0	1,092
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,026		0	0	6,025
目 的	保育所入所児童等が発病した際に、児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。				
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託し、199人の利用登録があり、延べ429人が利用した。 また、令和3(2021)年10月から病児保育室「びっころ」の運営業務を柏崎総合医療センターに委託し、41人の利用登録があり、延べ67人が利用した。				
成 果	保護者の子育てと就労の両立の支援、児童の健全な発達を促進することができた。				
課題・今後の方向性	病児保育の充実について利用者ニーズを確認しながら、病児保育事業実施主体等と協議・検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

4款 衛生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	944,690	887,429	0	57,261	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	624,736	0	0	262,693	
目 的	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立を図る。				
取組内容・実績	対象となる方に、生活保護費及び中国残留邦人等支援給付費等を支給した。 令和4(2022)年3月現在、生活保護受給世帯487世帯(受給者587人)、中国残留邦人等支援給付費等受給世帯3世帯(受給者4人)				
成 果	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立に向けた支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、生活に困窮する方が増加する可能性がある。柏崎市社会福祉協議会を始めとした関係機関と緊密に連携し、必要な方に適切な支援が行き届くよう、継続して取り組む必要がある。				

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	40,653	40,394	0	259	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	2,100	38,294	
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、地域医療を支える病院の円滑な運営を支援し、住民福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	二次救急医療を担う病院(柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院)に対して、輪番制病院の運営に必要な費用を補助した。				
成 果	地域医療を支える病院の円滑な運営に資するとともに、休日又は夜間における二次救急医療体制の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,540		5,556	34,873	111
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,704		0	96	1,756
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、柏崎・刈羽地域の休日・夜間における医療提供体制の確保と推進を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院）に対して、救急医療に必要な医療設備の整備費を補助した。				
成 果	柏崎地域の休日及び夜間における診療体制の確保・推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制の確保、機能の充実を図るため、継続して実施する必要がある。				

事務事業名	地域医療推進事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,652		12,342	0	310
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	12,342
目 的	地域医療に関する情報提供や啓発活動を実施することにより、受診行動の向上や地域医療の確保を推進するとともに、AEDの適切な管理による地域救急医療の充実を図る。				
取組内容・実績	市内コミセン2施設で医療機関への受診行動の改善などの啓発活動を行った。また、市内小・中学校12校（計13回）に対し、医師の講話を行った。AEDの適正配置による、地域救急医療の充実を図った。				
成 果	地域への啓発活動を行うことで、救急医療の仕組み、急病時の対処法、救急車の適正な利用方法などについて対象者の理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も積極的な地域医療に関する情報提供や啓発活動を行うことにより、受診行動の改善等につなげていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,250		17,549	0	3,701
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	666	16,883
目 的	市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設等に勤務する看護師等を確保し、医療体制の維持・充実を図る。				
取組内容・実績	市内の病院等に就職した看護師67人に対し、就職助成金を交付した。				
成 果	市内の病院等に新たに就職する看護師に就職助成金を交付したことにより、病院等の看護師の確保を図ることができた。さらに、転入者には助成金を加算することで、転入者の促進につながった。				
課題・今後の方向性	今後も継続して事業を行うことにより、病院等の体制確保を支援する必要がある。				

事務事業名	勤務医・看護師子育てサポート事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,825		1,897	0	928
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,897
目 的	病院に勤務する医療従事者の子育て支援を図ることにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進する。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センター内の託児施設の運営費に対し、補助金を交付した。 ・利用職員数11人（医師1人、看護職員8人、事務職員1人、保健師1人）延べ児童数986人				
成 果	出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職促進を図り、医療従事者の確保及び地域医療体制の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、病院に勤務する医療従事者の子育てを支援することにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職促進を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	キャリアアップ支援事業			決算書 掲載ページ	248
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,601		4,625	0	1,976
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,625
目 的	認定看護師資格取得支援の充実を図ることにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を上向きさせ、市内の病院への就業促進と定着を図る。				
取組内容・実績	認定看護師資格の取得を目指す看護師が、教育機関で教育課程を受講する期間に生じる病院の給与費に対し、補助金を交付した。				
成 果	認定看護師資格取得を推進する病院に対し補助金を交付することにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を上向きさせ、市内病院への就職促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、認定看護師資格取得支援の充実を図ることにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を上向きさせ、市内病院への就職促進を図る必要がある。				

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	248
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	87,448		87,448	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	87,448
目 的	二次救急や災害拠点時等の拠点となる中核的な公的病院に対して、運営費を補助することにより、地域において必要な医療提供体制の確保及び充実を図る。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターにおける救急医療、小児医療の運営費に対し、補助金を交付した。 ・救急医療病床利用者数1,721人 ・小児専用病床利用者数18人				
成 果	柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターに対し、運営費を補助し、地域医療の確保及び充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターに対し運営費を補助することで、地域医療の確保及び充実を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費			決算書 掲載ページ	248
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	97,046		97,046	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	66,118		0	0	30,928
目 的	新潟県から新型コロナウイルス感染症患者受入協力医療機関として指定された病院の感染防止設備を整備することにより、院内感染を防止する。				
取組内容・実績	新潟県から新型コロナウイルス感染症患者受入協力医療機関として指定された病院の院内感染を防止するための設備整備費に対し、補助金を交付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院に対し、院内感染防止対策のための設備整備費を補助することで、院内感染のリスクを軽減することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で終了する。				

事務事業名	保健福祉相談支援事業			決算書 掲載ページ	252
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,480		6,636	0	844
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	16	6,620
目 的	メンタルヘルス不調や精神的な疾患・障がいに関心する人が、早期から適切な医療や制度につながるよう支援し、市民の精神保健福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	専門的な相談に対応する精神保健相談員を配置し、保健師とともに、電話、来所面談、訪問等により、メンタルヘルス不調など精神保健福祉に関する相談（延べ1,079人）に対応した。				
成 果	相談者の不安の軽減、受診、就労、福祉サービスの利用など個々に合わせた専門的な助言指導、必要な支援につなぐことにより、こころの健康の保持増進、日常生活の維持、改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	健康問題だけではなく、就労・経済・家庭問題など相談が複雑化、多様化しており、関係機関と連携した支援が必要である。引き続き、相談窓口を周知しながら、関係機関との連携の下、市民の相談に適切に対応し、精神保健福祉の向上を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	自殺予防対策事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	950		693	0	257
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	642		0	0	51
目 的	市民一人一人の気付きと見守りを促し、心の健康づくりを推進する。また、自殺対策行動計画（改訂版）に沿った取組を推進し、自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）の低下を目指す。				
取組内容・実績	市民、高校生、教職員、市職員等を対象に、こころのゲートキーパー養成研修（基礎編10回、延べ495人）を実施した。また、市内中学校2校、小学校3校、特別支援学校1校の児童・生徒（延べ220人）を対象に、SOSの出し方教育を実施した。				
成 果	研修会等では、自殺の現状や相談窓口を周知することで、早期相談の大切さ等を参加者に考えていただく機会となった。また、SOSの出し方教育を通して、学校との連携体制が強化され、早期に相談につながるケースが増加した。				
課題・今後の方向性	高校生や大学生、働き盛り及び高齢者世代へのゲートキーパー養成研修、小・中学生へのSOSの出し方教育を実施し、自殺予防のための普及啓発活動を更に推進する必要がある。引き続き、研修を通じ自殺対策の中心的役割を果たす人材の資質向上を目指す。また、コロナ禍でも実施できるよう、開催手法、周知啓発方法について検討していく。				

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,299		8,937	0	2,362
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	24	8,913
目 的	関係機関と連携しながら、学齢期から成人までの切れ目のない一貫した支援を展開し、当事者及び家族の相談に丁寧に対応しながら、ひきこもり当事者の自立を支援する。				
取組内容・実績	57人（新規6人、継続51人）に継続的に支援を実施し、延べ1,327件の相談（電話、来所、訪問等）に対応した。あわせて、当事者交流会（5回）、居場所支援（22回）、家族の会（7回）を開催するとともに、職場見学同行などの就労支援やひきこもりに関する実態調査を実施した。				
成 果	関係機関や地域住民の協力を得て、ひきこもり相談の窓口として周知に力を入れたことで、相談につながる事例が見られた。また、ひきこもりに関する実態調査の結果から、30歳代から50歳代までの当事者やその家族への支援の必要性が明らかになった。				
課題・今後の方向性	ひきこもりに関する実態調査により、支援につながっていない30歳代から50歳代までのひきこもり当事者が少なからずいることが明らかになった。今後、ひきこもり支援事業の周知を更に進める必要がある。また、関係機関の協力を得ながら就労支援を継続するとともに、様々な理由から就労による自立が困難な当事者に対して、関係機関と連携して生活支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	母子健康診査費			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,685		51,316	0	20,369
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		0	6	21,310
目 的	妊婦、乳児・幼児の健康診査を行うことにより、母と子の健康を保持する。				
取組内容・実績	母子健康手帳の交付時等（転入時対応を含む。）に健康相談を426件実施した。妊婦健康診査（1人14回まで）は、実人数426人、延べ受診者数5,010人であった。乳幼児健康診査は、4か月、6か月、10か月、1歳6か月、3歳で実施し、受診者数2,085人、平均受診率は97.2%だった。1歳6か月、3歳児健診に早期支援を目的として臨床心理士を試行的に配置するとともに、問診票を改訂した。				
成 果	1歳6か月、3歳児健診に臨床心理士を試行的に配置するとともに、健診の問診票の改訂や、問診従事者研修等を実施したことにより、早期療育のスクリーニングの標準化に向けた体制を整備することができた。				
課題・今後の方向性	1歳6か月、3歳児健診に臨床心理士を定例的に配置することにより、早期療育体制を強化する必要がある。また、視覚検査において、屈折異常を早期に発見するために、屈折検査器機を導入する必要がある。				

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,255		1,542	0	3,713
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	968		0	251	323
目 的	低体重や早産などで、身体の発育が未熟なままに生まれたことにより、入院養育が必要な乳児の健康保持のため、医療費の一部を助成する。				
取組内容・実績	出生児体重が2,000g以下又は医師の診断により、養育医療指定医療機関（未熟児等の集中治療室のある病院）において入院療養が必要と認められた受給者7人の入院医療費の一部を助成した。				
成 果	医療費助成をきっかけに、入院中から医療機関と情報共有を行うことにより、退院後も切れ目ない支援を継続することができた。				
課題・今後の方向性	未熟児は、身体状況等の改善や疾病予防のために出生直後から、速やかに適切な医療処置と専門的な養育を行う必要があるため、事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,412		18,242	0	170
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	18,242
目 的	妊産婦の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。また、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	受給者証を417件交付し、17,978,671円分の医療費を助成するとともに、現物給付を行うことによって、利便性の向上を図った。				
成 果	妊産婦の経済的負担を軽減するとともに、受診の促進を図り、疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられるように、医療費を助成することにより、引き続き経済的負担を軽減する必要がある。				

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,300		2,342	0	2,958
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,342
目 的	不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減する。また、不育治療も対象とすることにより、妊娠を希望する夫婦の治療の選択肢を増やし、安心して妊娠を望む環境づくりにつなげる。				
取組内容・実績	医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（県知事が指定した医療機関での体外受精・顕微授精）を必要とする42組に対して、費用の一部を助成（52件）した。				
成 果	不妊治療を行う夫婦の経済的な支援につなげることができた。				
課題・今後の方向性	治療費の一部が保険適用された後も、妊娠を望む夫婦に対する不妊治療費を助成し、引き続き、経済的負担を軽減する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			決算書 掲載ページ	260
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	725,938		711,741	0	14,197
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	707,687		0	4,054	0
目 的	国が示す新型コロナワクチンの無料接種を行うことにより、感染者の重症化リスクを減らし、感染拡大を抑制する。				
取組内容・実績	医療機関、医師会及び薬剤師会の協力を得てワクチン接種体制を構築し、接種を希望する市民に接種を実施した（延べ181,138回）。				
成 果	ワクチン接種の実施により、新型コロナウイルス感染症の拡大及び感染症の重症化を防止することができた。				
課題・今後の方向性	感染拡大防止のため、継続してワクチン接種事業を行っていく。				

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	120,956		105,477	0	15,479
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	296		0	0	105,181
目 的	予防接種法に基づく定期接種の実施により、感染症の発生やまん延の防止、り患した場合の重症化を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康保持を図る。				
取組内容・実績	予防接種法に基づく乳幼児等の定期予防接種（11種類）について、委託医療機関において個別接種を実施した。また、接種率の向上と感染症拡大防止のため、個人通知を行うとともに、未接種者には接種勧奨を行った。				
成 果	日本脳炎ワクチンの供給不足のため、国からの通知により一部対象者は翌年度に延期されたが、他の定期予防接種については、おおむね順調に進めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も、定期予防接種の実施により、感染症の流行を防止していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	151,493		145,993	0	5,500
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,494		0	5,206	136,293
目 的	がん検診やがん検診に係る機器の整備、検診に係る無料クーポンを配布することにより、がんの早期治療につなげ、健康水準の向上を図る。				
取組内容・実績	5月から11月まで（乳がん検診・子宮頸がん検診は1月まで）検診を実施した。肺がん検診は12,062人、胃がん検診は4,054人、大腸がん検診は7,796人、乳がん検診は2,636人、子宮頸がん検診は2,260人、前立腺がんは2,320人が受診した。無料クーポン券での受診者は、乳がん検診が114人、子宮頸がん検診が32人だった。				
成 果	肺がん検診で9人、胃がん検診で11人、大腸がん検診で23人、乳がん検診で13人、前立腺がん検診で8人にがんが見つかり、早期発見・早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	受診率を新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復させるため、検診会場で感染症対策を実施していること及び検診の重要性について、引き続き周知する必要がある。				

事務事業名	健康増進事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,088		1,149	0	939
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	330		0	0	819
目 的	第二次健康増進計画に基づき、健康教育、健康相談を行い、健康づくりの推進を図るとともに、特に青壮年期の市民に対しては、職場を通じた健康づくりを実践する契機とする。また、64歳以下の方のコツコツ貯筋体操への継続参加を促進する。				
取組内容・実績	集団健康教育を98回、延べ1,618人、健康相談を120回、延べ4,386人に実施した。企業向けの出前講座は、4事業所に5回実施し、51人が参加した。また、健康づくり宣言事業には26事業所・団体、649人が参加した。64歳以下の骨筋ポイント事業には12人が申請した。				
成 果	各年代や対象に合わせた健康教育、健康相談を実施することにより、健康づくりのきっかけとなり、生活習慣の改善、継続的な取組につなげることができた。また、事業の実施に当たり、地域や職域等の関係機関と連携を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、健康教育、出前講座の実施回数が減少したため、感染予防対策に配慮し、働きかけを強化する必要がある。また、職場を通じた健康づくりを更に推進するため、関係機関と連携して事業を周知する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,112		6,770	0	1,342
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17		0	269	6,484
目 的	青壮年期、高齢期に対する歯周病予防と、子ども達に対するむし歯予防の推進を図る。				
取組内容・実績	歯科健康相談を8回実施し、市民の歯科に対する相談に対応した。歯周病検診は、個別1,175人、集団294人が受診した。20歳、30歳、40歳、50歳、60歳の方に無料クーポンを配布し、434人が利用した。また、フッ化物洗口について保護者へ情報提供を行った。				
成 果	節目年齢の対象者に無料クーポンを配布することにより、青年期の受診につなげることができた。フッ化物洗口についての情報提供により、保護者の理解の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	歯科保健推進会議における委員の意見を反映し、妊婦の歯周病予防や、青年期の男性の歯科健診の受診者を増やす取組を実施していく必要がある。また、節目年齢への無料クーポンも継続し、定期的な歯科健診の定着を目指す。				

事務事業名	高齢者保健・介護予防一体化事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,644		3,417	0	227
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,811	606
目 的	高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、高齢者の自立した生活の実現と健康寿命の延伸を図る。				
取組内容・実績	コツコツ貯筋体操を実施した163会場での1,807人に対し、フレイル（虚弱）予防の健康教育を実施した。また、令和2（2020）年度の健診・医療未受診で介護保険未申請の80歳以上の方（136人）を対象に健康調査を実施し、必要な方には訪問等による健診受診勧奨等を行った。				
成 果	高齢者に対し、広くフレイル（虚弱）予防を啓発することができた。また、健診・医療未受診で介護保険未申請の健康状態不明者の健康状態を把握し、必要に応じて健診や医療機関受診、通いの場や相談窓口を紹介するなどの支援につなげることができた。				
課題・今後の方向性	フレイル予防のため、実践しやすい具体的な食生活の啓発が必要である。また、健診・医療未受診かつ介護保険未申請の健康状態不明者の健康調査は、昨年度実施していない年齢層の後期高齢者に対して行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	地球温暖化対策推進事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,732		1,454	0	278
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,454	0
目 的	地球温暖化対策実行計画に掲げる温室効果ガス排出量削減目標に向けて、市民の環境行動による削減を目的に、地球温暖化対策の意識啓発及び取組誘導を行う。				
取組内容・実績	小・中学校向けの環境教育プログラムを3校104人、保育園向けのエコ教室を7園441人、クリーンセンター見学時の講話を19団体729人に実施した。ノーマイカーウィーク&エコドライブモニターは、合計で1,299人が参加し、約7.89tの二酸化炭素排出削減効果があった。緑のカーテンには、46件の参加があった。				
成 果	環境学習等の啓発活動により、市民の環境に対する関心を高めることができた。また、市民が地球温暖化に対して問題意識を持ち、自分でできる環境対策を考え、実践することへつなげることができた。				
課題・今後の方向性	温暖化対策は、市民一人一人が自分事として捉え、実践することが大切であり、温暖化による影響や対策の重要性を啓発し、活動を更に広げていく必要がある。				

事務事業名	ECO2プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,314		539	0	775
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	539
目 的	事業者が行う環境活動をポイント制による補助金で支援することにより、地球温暖化対策や環境保全の組織的な活性化を図る。				
取組内容・実績	市内230事業者が参加登録し、緑のカーテン27社、省エネモニター5社などのポイント対象行動が実施された。また、13件の環境対象設備等の導入に対して、483,029ポイント分の補助金を交付した。				
成 果	事業者の環境活動実施のきっかけづくりや環境対象設備等の導入による地球温暖化対策につなげることができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の環境意識の向上を目指すため、登録対象事業者の拡充や周知方法の見直しを行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,678		4,987	0	691
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,000	987
目 的	温室効果ガス排出量削減に有効な設備機器の導入を支援し、普及を図る。				
取組内容・実績	創エネ・省エネ機器の導入について、燃料電池設備13件、太陽光発電設備4件、HEMS・定置用蓄電池2件、木質ペレットストーブ・薪ストーブ4件に対して補助金を交付した。				
成 果	省エネ・創エネ機器を普及することができ、温室効果ガス排出量の削減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	温室効果ガス排出量削減に有効な機器の導入を促進し、令和17(2035)年までのカーボンニュートラルの実現に向けた支援を進めていく。				

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,181		7,006	0	175
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	333	6,673
目 的	柏崎・刈羽地域の休日の歯科救急医療体制を整備することにより、市民の健康増進を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、日曜・祝日など、歯科休日急患診療所を69日開設し、109人(うち健診16人)が受診した。				
成 果	歯科休日急患診療所の開設により、日曜日・祝日などにおける歯科診療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、日曜・祝日などに歯科休日急患診療所を開設する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,751		39,670	0	81
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,063	37,607
目 的	休日・夜間の初期救急医療体制を確保する。				
取組内容・実績	休日・夜間急患センターを延べ651人(314日開設)、院外薬局を延べ461人(314日開設)が利用した。				
成 果	休日・夜間急患センターと休日夜間急患センター院外薬局の運営費を補助し、休日・夜間の初期救急医療体制を確保した。				
課題・今後の方向性	柏崎・刈羽地域の休日・夜間の救急医療体制を維持していくために、休日・夜間急患センター及び休日夜間急患センター院外薬局の運営を補助していく必要がある。				

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,105		39,322	0	2,783
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	39,317
目 的	循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再使用と再利用により、資源の有効活用を総合的に進め、3R(スリーアール)を推進する。				
取組内容・実績	資源物の分別収集を行い、リサイクル処理した。 ごみの総排出量は、26,732tで前年度比45t減少、資源物の収集量は、5,248tで61t減少し、リサイクル率は、前年度比0.2%減の19.6%となった。 有価物の売却額は、26,984千円となり、前年度に比べ14,310千円の増加となった。				
成 果	廃棄物の適切な排出と処理を推進し、ごみの総排出量の減量を行うことができた。また、資源物の収集を行い、再生利用事業者に引き渡し、資源化することができた。				
課題・今後の方向性	資源化率を上昇させるために、資源物として収集する品目の追加を検討する必要がある。また、食品ロスの削減等によるごみの発生抑制に係る取組を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,444		15,652	0	1,792
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,800		0	0	6,852
目 的	海岸を清掃することにより、美化と危険な漂着物の早期発見を図る。				
取組内容・実績	事業者に委託し、人力及びビーチクリーナーによる海岸の清掃を行った。 ・人力による作業：延べ92日間、収集量171,600kg ・ビーチクリーナーによる作業：延べ121日間、収集量10,110kg				
成 果	海洋プラスチックごみの削減を含めた海岸の美化と環境の保全を行うことができた。				
課題・今後の方向性	海岸漂着物対策は、広域的な問題であることから、国、県と連携し、地元町内会や企業等によるボランティア清掃活動と重複しないよう調整を図りながら、引き続き海岸の美化に努める。				

事務事業名	海岸清掃用車両購入費			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,915		13,320	0	595
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,585		0	0	4,735
目 的	海水浴場の環境美化に効率的に取り組むため、老朽化したビーチクリーナーを入れ替える。				
取組内容・実績	牽引式のビーチクリーナー及び牽引用のトラクターを購入した。				
成 果	ビーチクリーナーを更新したことにより、効率的な海岸清掃を行う体制を整備することができた。				
課題・今後の方向性	特殊かつ高価な車両であることから、現有車両を長期間、有効に活用する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	202,126		202,087	0	39
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	58,071	144,016
目 的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理は市の責務とされており、家庭から排出される廃棄物を適正に収集運搬する。				
取組内容・実績	収集業務を委託し、燃やすごみ20,379t、燃やさないごみ765t及び資源物4,922tの収集を行った。				
成 果	家庭から排出された資源物及びごみを適正に収集運搬することにより、地域の環境保全を図ることができた。				
課題・今後の方向性	資源物及びごみの確実かつ迅速な収集により、地域の環境保全を図っていく。				

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	284,427		184,030	98,945	1,452
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6,458	177,572
目 的	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールを実施した。				
成 果	オーバーホールにより、ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の機能を維持することができた。				
課題・今後の方向性	令和11(2029)年度に稼働を計画する新ごみ処理施設の建設に合わせて、適切かつ効率的な定期修繕を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ収集事業			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,452		47,940	0	1,512
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	46,509	1,431
目 的	ごみ・粗大ごみの収集運搬業務の円滑に実施する。				
取組内容・実績	指定ごみ袋及び粗大ごみ処理券を作成した。 ごみの収集計画を立て、作成したごみ収集カレンダーを全世帯に配布した。				
成 果	指定ごみ袋及び粗大ごみ処理券により、収集業務を円滑に実施することができた。また、ごみ収集カレンダーを配布することで、資源物及びごみの収集を滞りなく実施した。				
課題・今後の方向性	収集業務を滞りなく行うため、計画を策定し、適切に管理する必要がある。				

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,588		12,707	0	881
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,874		0	417	8,416
目 的	一般廃棄物の適正処理を行うため、新ごみ処理施設を建設する。				
取組内容・実績	新ごみ処理施設の建設事業を推進するため、施設周辺の生活環境影響調査を実施した。				
成 果	生活環境影響調査における夏、秋、冬の3季分の現況調査を実施したことにより、新ごみ処理場建設に係る影響評価の準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	新ごみ処理施設の建設のため、施設基本条件の決定や要求水準書の作成、事業スキームについて決定する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	65,881		62,587	0	3,294
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	20,042	42,545
目 的	一般廃棄物最終処分場の適正管理を図る。				
取組内容・実績	一般廃棄物2,964tの最終処分を行った。 現在埋立中の2号ピットに加え、1号ピットも埋立てができるように整備した。				
成 果	一般廃棄物最終処分場を適正管理し、中間処理施設から排出された埋設物2,964tを最終処分することができた。 令和4(2022)年度から1号ピットの埋立てが可能となった。				
課題・今後の方向性	埋立量が減少傾向の中、現在埋立中の2号ピットと埋立てを開始する1号ピットの効率的な利用を検討する必要がある。				

事務事業名	し尿処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,000		24,970	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,864	21,106
目 的	し尿処理施設の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	オーバーホールを実施するとともに、計装設備の修繕を行った。				
成 果	オーバーホールの実施及び計装設備の修繕により、施設の機能維持及び延命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和7(2025)年度からし尿等を下水道処理することから、修繕範囲の精査を行いながら施設の機能維持を図る。				

5 款 労働費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	290
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,992		11,959	0	4,033
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,467		0	0	2,492
目 的	柏崎職安管内雇用促進協会への負担金や市内中小企業への採用活動支援補助金を通して、管内の労働力の確保と若者の定着を図る。また、厚生福祉活動などへの補助金を通して、労働者の福祉向上を図る。				
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協会の事業費の一部を負担し、協会のホームページの改修及び管内企業説明会（7月：高校3年生、3月：大学生等）、企業説明会におけるプレゼンテーション力の強化を目的としたセミナー（参加者10人）、大学生等を対象とした企業説明会への参加者を増やすためのSNS広告事業を行った。また、市内中小企業者等に対して、採用活動にかかった経費への補助を行った（交付事業所数：35事業所）。				
成 果	ホームページの改修によって、企業情報が改修前よりも分かりやすくなり、アクセス数も増加した。説明会の開催によって、管内企業と高校生、大学生の面談の機会を設けることができた。また、企業の採用活動を促進することで、地元企業への就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少とともに若者の市外流出が顕著となる中、若年者の地元定着とU・Iターンを促進するため、本事業を継続する。特に、人材確保を目指す事業者に向けた支援を実施する。				

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	290
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,320		9,198	0	122
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,198
目 的	対象者の職業マッチングを支援し、就労促進と雇用の安定化を図る。				
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、まちなかに就労ワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。職業相談員を配置し、求人情報の提供、就労サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の就労支援を行った。 ・職業相談件数：1,063件、セミナー回数：18回、47人参加				
成 果	専門知識を有する相談員の配置や、就職支援セミナーを実施することにより、28人の相談者を就職につなげることができた。				
課題・今後の方向性	相談実施の後、求人への応募活動まで至らない利用者も一定数いることから、セミナーの実施や他機関との連携を図りながら、利用者に合わせた支援を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	290
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		800	0	1,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	800
目 的	女性が働きやすい職場づくりを促進することにより、女性の活躍推進を図る。				
取組内容・実績	中小企業等が実施するハード面での環境整備（更衣室、トイレ）に2件の助成金を交付したほか、企業訪問等により制度の周知を図った。				
成 果	ハード面での環境整備に係る中小企業等への助成により、女性が働きやすい職場環境の整備を促進することができた。				
課題・今後の方向性	女性の能力発揮に資するよう、助成制度の見直しを行い、女性が働きやすい職場環境の整備等に向けた取組を積極的に進める。				

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	290
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,751		3,515	0	236
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,515
目 的	障がい者雇用に積極的な企業の経験やノウハウを活用し、障がい者雇用に取り組みようとする事業者へ支援を行う。				
取組内容・実績	障がい者雇用の啓発・促進を目的としたセミナーの開催や事業所からの障がい者雇用に関する相談に対応する障がい者活躍推進アドバイザーの派遣（3件）を委託し、実施した。また、国の障害者トライアル雇用助成金を利用し、障がい者を雇用した市内事業所に対し、補助金を交付した（交付事業所数：7事業所）。				
成 果	セミナーでは、事業者の障がい者雇用に対する意識を高めることができた。また、助成金の交付により、障がい者雇用を促進することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、事業者に対し、障がい者雇用への取組を働きかける。また、アドバイザー同士の情報交換会を実施するとともに、アドバイザーの利用促進を図る。				

6 款 農林水産業費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	水田農業推進事業			決算書 掲載ページ	296
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,045		7,025	0	20
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,025
目 的	農地に有機100%肥料やたい肥を使った農業の普及を図り、安全で安心な農産物の生産を推進する。				
取組内容・実績	農家・農業法人が施用した有機100%肥料やたい肥の購入費の一部について、65件、699万円の補助金を交付した。				
成 果	循環型農業推進事業補助金の交付により、環境負荷が少ない循環型農業の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	制度創設から15年以上経過しており、「みどりの食料システム戦略」に基づく施策展開も必要となっていることから、事業内容の見直しを検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	296
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,648		11,985	0	5,663
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,001		0	0	2,984
目 的	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動等に取り組む農業者等を支援することにより、環境保全に効果の高い農業の普及を推進する。				
取組内容・実績	環境保全型農業直接支払交付金を活用し、45の農業者等が265haの農地で、環境保全型農業に取り組んだ。				
成 果	環境負荷が少ない農業に取り組むことにより、消費者が求める食の安全につながったことに加え、農業者等の環境保全に対する意識醸成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	持続可能な食料システム構築のための「みどりの食料システム戦略」において、有機農業の推進や化学農薬・化学肥料の削減が掲げられていることから環境保全型農業に積極的に取り組む必要があり、農作物の収量などとの関連性を検証しながら、取組農業者数の増加に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	296
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,093		18,659	0	1,434
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,002		0	1,072	585
目 的	高価格米である柏崎ブランド米「米山プリンセス」の周知及び販路拡大を図ることにより、本市の基幹作物である水稲の持続的発展と農業所得の向上を図る。あわせて、「米山プリンセス」を旗艦米として位置付け、多様で良質な米の産地である本市の魅力を発信する。				
取組内容・実績	27の農業者が、83haの農地で柏崎ブランド米「米山プリンセス」の生産に取り組み、過去最高の8者、13.6tが令和3(2021)年産「米山プリンセス」に認証された。また、食に関心の高い層に向けた喫食プロモーションを行い、ターゲット層を絞った販路拡大に努めた。さらに、全市一斉地場産給食デーに合わせ、市内小・中学校の給食で「米山プリンセス」を提供した。				
成 果	高価格米市場において一定の需要があることが見込まれ、首都圏及び県内外の小売店や飲食店での取り扱いが拡大し、ブランド米として有利販売につなげることができた。また、地場産給食の提供による児童・生徒と生産者との交流により、生産者のモチベーションの向上につながった。				
課題・今後の方向性	その年の気候条件などにより、米の品質が左右されるため、認証量の確保に向けた栽培技術の情報共有が必要である。また、高価格米市場は全国各地のブランド米による販売競争が激化していることから、確固たるブランド力の向上と周知を図る必要がある。				

事務事業名	柏崎市地域農業再生協議会支援事業			決算書 掲載ページ	298
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,841		2,121	0	720
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	2,116
目 的	柏崎市地域農業再生協議会が行う、経営所得安定対策及び担い手・農地総合対策の推進のほか、これを円滑に実施するための農業者団体等の活動費経費を支援し、地域農業の発展を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地域農業再生協議会の事務局用務を担う非常勤職員1名を雇用し、経営所得安定対策に係る事業を円滑に実施した。				
成 果	関係機関と連携し、経営所得安定対策の加入促進や戦略作物の生産振興、担い手の育成支援により、地域農業の振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後予定されている柏崎農業協同組合の広域合併に伴い、柏崎市地域農業再生協議会の業務内容や運営方法等について、早急に構成市町村や関係機関と協議する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	経営所得安定対策推進事業			決算書 掲載ページ	298
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,982		7,982	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,982		0	0	0
目 的	需要に応じた主食用米の生産と、各種交付金を活用した非主食用米等の生産を行うことにより、米価下落に左右されない多様な水田活用と米作りを柏崎市地域農業再生協議会を通じ推進する。				
取組内容・実績	主食用米の米価安定に資する経営所得安定対策等のほか、米政策への申請・相談事務、作付現地確認及び普及活動など、柏崎市地域農業再生協議会の活動経費を支援した。				
成 果	柏崎市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策申請相談事務等に係る経費の一部を支援することにより、生産者の農業経営の安定につながった。				
課題・今後の方向性	今後予定されている柏崎農業協同組合の広域合併に伴い、地域農業再生協議会の業務内容や運営方法等について、早急に構成市町村や関係機関と協議する必要がある。				

事務事業名	中核後継者育成対策事業			決算書 掲載ページ	300
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	170		50	0	120
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	50
目 的	農業の担い手が組織する柏崎市認定農業者連絡協議会の自立を助長し、担い手農業者の育成を図る。				
取組内容・実績	柏崎市認定農業者等連絡協議会が開催する研修等の活動経費を助成した。				
成 果	柏崎市認定農業者等連絡協議会が研修会などの各種事業を実施し、作物栽培技術の向上や補助事業の情報入手など、担い手農家の経営安定化に効果があった。				
課題・今後の方向性	柏崎市認定農業者等連絡協議会の活動に要する経費に対する助成を継続し、担い手農家の技術向上につなげる。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	300
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,099		10,942	0	4,157
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,942		0	0	0
目 的	農林水産業の総合的な振興を図るため、新潟県農林水産業総合振興事業費補助金を活用し、機械整備に対する費用の一部を助成することにより、経営規模拡大、作業効率と品質の向上及び販路拡大を推進する。				
取組内容・実績	新潟県農林水産業総合振興事業費補助金を活用し、4農業経営体によるトラクター、コンバイン等の整備費用の一部を支援した。				
成 果	農業経営体が機械整備を行うことにより、経営規模拡大、作業効率と品質の向上及び販路拡大を図ることができた。				
課題・今後の方向性	物価高騰等や米価下落など、農業を取り巻く情勢を鑑み、経営規模拡大や生産コストの低減等に向けた機械整備に対する支援策を把握し、農業経営体に周知すると共に、引き続き必要な支援をする。				

事務事業名	農業被害鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,049		2,497	0	2,552
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,497
目 的	有害鳥獣による農業被害の防止・軽減を図る。				
取組内容・実績	駆除・啓発・防止活動を行う柏崎市有害鳥獣被害対策協議会の運営費を支援し、イノシシなどの有害鳥獣を78頭捕獲したほか、新たに91.4kmの電気柵を整備した。また、わな猟免許を取得した8人に対して、取得費用の一部を補助した。				
成 果	有害鳥獣の捕獲や電気柵の設置を進めることにより、農業被害を防止・軽減することができた。				
課題・今後の方向性	依然として有害鳥獣による農業被害が多いことから、引き続き総合的な対策に取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	生活環境鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,875		758	0	2,117
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	155		0	0	603
目 的	被害防止対策費用の一部を助成することにより、人身被害を未然に防止する。				
取組内容・実績	野生鳥獣による人身被害等の防止を図るため、新たに猟銃免許等を取得した7人に取得費用の一部を補助した。				
成 果	捕獲者が高齢化している中、新たに有害鳥獣捕獲の担い手を確保することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き狩猟免許取得の支援を行うとともに、ICT機材の導入等による捕獲の効率化を進める必要がある。				

事務事業名	食の地産地消推進事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	977		902	0	75
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2	900
目 的	食の地産地消を推進することにより、食の安全・安心を求める消費者ニーズに応え、また生産者の所得向上を目指し、地域農業の発展につなげる。				
取組内容・実績	食の地産地消推進会議を開催し、食の地産地消推進計画の進捗状況を審議した。				
成 果	食の地産地消推進会議でいただいた意見、評価を適切に施策に反映することにより、食の地産地消の更なる推進を図った。				
課題・今後の方向性	令和4（2022）年度が、柏崎市第三次食の地産地消推進計画の策定年度となっているため、これまでの計画の進捗状況等を検証するとともに、食の地産地消推進会議からの意見を踏まえ、次期計画を策定する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	機構集積協力金交付事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,524		1,224	0	300
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,224		0	0	0
目 的	農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、国の目標である担い手への農地集積を80%にする。				
取組内容・実績	人・農地プランにより位置付けられた地域及び中心経営体の支援を行うため、農地中間管理機構を活用して農地を貸し付けた地域及び個人に対して協力金を交付した。				
成 果	担い手農家への農地集積により、経費節減と農業所得の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	担い手農家の経費節減と農業所得の向上を図るためには、今後も事業継続が必要である。				

事務事業名	地域営農支援事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,342		2,149	0	193
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,149
目 的	農業者や柏崎農業協同組合などを支援し、複合経営とほ場整備を推進することにより、農業者の所得向上を図る。				
取組内容・実績	4 農業経営体による園芸用パイプハウス等の整備費用の一部を支援した。				
成 果	農業経営体が園芸及び六次産業を行うことにより、農業経営の多角化・複合化を図り、農業所得の多様化と向上につなげることができた。				
課題・今後の方向性	米価下落等により、これまで以上に園芸や六次産業など農業経営の多角化・複合化を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,500		7,500	0	3,000
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,500		0	0	0
目 的	独立経営を開始した農業者の経営が安定するまでの期間として、最大5年間支援することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。				
取組内容・実績	今後の地域の中心となる満50歳未満の5人の独立就農者に対して、活動資金を交付した。				
成 果	年間最大150万円の活動資金を交付することにより、就農者の営農活動が活性化した。				
課題・今後の方向性	対象者に活動資金だけでなく、他の補助事業などを周知し、より安定した経営ができるように、関係機関と連携し指導する必要がある。				

事務事業名	新規就農者育成支援事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,444		970	0	1,474
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	970
目 的	農業生産技術や経営のノウハウなど、就農に必要な技術を取得するための研修費を助成することにより、新規就農者の育成支援を図る。				
取組内容・実績	農業法人等が新規就農者を新たに雇用して実施する就農に必要な技術を習得するための研修事業3件に対し、その費用の一部を助成した。				
成 果	市内の農業法人が取り組んだ研修事業への助成により、新規就農者の技術向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	新規就農者に対し、関係機関と連携した指導と支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	園芸生産拡大支援事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,368		10,348	0	20
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,348
目 的	機械を利用して作業を効率化し、園芸作物の生産拡大を図る。				
取組内容・実績	玉ねぎの生産拡大のため、柏崎農業協同組合が導入した玉ねぎ収穫用トラクター、ピッカー等の整備費を支援した。				
成 果	柏崎農業協同組合が玉ねぎ収穫用トラクター、ピッカー等を整備し、生産者へ貸し出すことにより、作業効率の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	本事業は、令和3（2021）年度で終了するが、今後も園芸振興に向けた支援策を検討していく。				

事務事業名	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,000		13,104	0	12,896
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,437		0	0	2,667
目 的	令和3（2021）年の大雪により、農業用ハウス等が被災した中心経営体が行う、農業用施設の再建・修繕に要する経費に対し支援することにより、農業経営の改善を図る。				
取組内容・実績	令和3（2021）年の大雪で被災した8経営体10棟の農業用ハウス等の再建・修繕を支援した。				
成 果	農業用ハウス等の再建・修繕を支援することにより、農業経営の継続を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も災害が起きた場合、農業継続に向けた支援策を検討していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	たん水防除施設改修事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,200		1,958	0	242
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,958
目 的	改修工事を行い、たん水防除施設を適切に稼働させることにより、たん水被害から農業生産基盤を守り、被害を最小限に食い止める。				
取組内容・実績	新道排水機場に水位監視システムを設置した。また、長崎排水路の管理道の舗装を実施した。				
成 果	水位監視システム導入や排水路管理道の舗装実施により、たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させることに寄与した。				
課題・今後の方向性	たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させるために、操作に支障となる設備の改修や改良を継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	農業施設改修事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,697		36,472	0	3,225
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	36,467
目 的	農業用施設の改修・工事及び費用補助を行うことにより、施設の機能を維持し、農業生産基盤及び農業生活環境を確保する。				
取組内容・実績	農家組合等の団体が実施した19件の修繕工事に対し、費用の一部を負担した。				
成 果	修繕工事費用の一部を負担することにより、農家組合等の団体の費用負担を軽減し、農業基盤の確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	集落における世帯数の減少が予測されるため、適正な維持管理を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	一般団体営土地改良事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,019		21,944	0	75
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		1,600	0	20,344
目 的	農業団体が行う土地改良事業の負担軽減と農業経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	農業団体が実施した軽微な用排水路や農道等の修繕35件に補助金を交付した。				
成 果	農業生産基盤の整備、改修及び修繕に要する経費を補助することにより、農業団体の経費負担の軽減と経営の安定化に寄与した。				
課題・今後の方向性	農業用施設の老朽化が進んでいるため、多くの事業要望があり、優先順位をつけて事業を実施する必要がある。				

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,471		14,334	0	137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,334
目 的	ほ場整備を行わない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の確保と地域農業の維持を図る。				
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や附帯施設の改良等の事業6件に補助金を交付した。				
成 果	農用地の小規模な基盤整備等により、生産性の高い農用地が拡大し、作業の効率化や農業経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業の導入に際しては、ほ場整備事業導入の可能性について検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	175,527		141,083	30,000	4,444
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	87,903		24,600	0	28,580
目 的	上条地区の各種農業用施設の整備をすることにより、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	排水路1路線の用地買収を完了し、排水路2路線及び集落道4路線の改良工事を実施した。また、集落防災安全施設の設置工事と地域資源活用棟2棟の設計業務委託を実施した。				
成 果	排水路2路線、集落道4路線、集落防災安全施設1路線の改良が進み、上条地区の農村生活環境の改善・向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	上条地区の農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携し、各種整備事業の進捗を図る必要がある。				

事務事業名	農村整備事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,800		9,738	0	62
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,255		5,400	0	1,083
目 的	農業用施設の改修工事を行うことにより、施設の機能を維持し、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	農免農道西中通線の舗装補修（L＝250.0m）を実施した。				
成 果	舗装改修により、農業生活環境の改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	交通量の増加や経年劣化による道路の損傷が進んでいることから、継続的な補修を計画的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,915		45,759	0	156
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	33,840	11,919
目 的	土地改良施設の機能・能力の確保・維持と耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	長嶺排水機場の老朽化に伴う建屋の改修を実施した。				
成 果	施設の改修により、排水機場の耐用年数を延伸することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の改修・補修により、施設機能を維持するために、計画的に補助事業を導入する必要がある。				

事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,056		17,514	0	1,542
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,150		0	0	3,364
目 的	農業用排水路における水難事故への対策を行うことにより、農業用施設の減災対策の推進を図る。また、豪雨などでため池が決壊した場合に人的被害のおそれがある「防災重点ため池」は、速やかにハザードマップを作成し、地域に応じた防災・減災対策を進める。				
取組内容・実績	新道排水路脇の安全施設(L=156.0m)を改修した。また、防災重点ため池においては、10か所のハザードマップを作成した。				
成 果	防護柵を更新したことにより、農業用排水路の水難防止対策を図ることができた。また、ハザードマップを作成し、周辺住民に周知したことにより、地域における防災・減災についての啓発を進めることができた。				
課題・今後の方向性	農業用排水路において、防護柵の老朽化が進んでいるため、補助制度を活用して計画的に施設の更新を行う必要がある。ハザードマップにおいては、今後も新潟県と合同で適宜調査を行い、防災重点ため池の選定を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	団体営ストックマネジメント事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	171,513		62,104	109,000	409
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	38,250		9,700	0	14,154
目 的	基幹農業水利施設の機能・能力の確保・維持と、耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	宮場排水機場の電線を移設し、2号ポンプの改修を実施した。				
成 果	施設の改修により、排水機場の機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の機能を維持するために、計画的に長寿命化対策の補助事業を導入する必要がある。				

事務事業名	農道保全対策事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,000		10,701	0	299
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,000		1,800	0	3,901
目 的	農道施設（農道橋など）の保全対策を行うことにより、長寿命化を図る。				
取組内容・実績	清水谷大橋の補修設計業務委託を実施した。				
成 果	清水谷大橋の長寿命化に必要な補修設計を実施し、補修工事を行う準備が整った。				
課題・今後の方向性	農道施設（農道橋など）の機能を維持するために、計画的に長寿命化対策の補助事業を導入する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	239,881		219,178	0	20,703
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	162,806		0	6	56,366
目 的	地域の農地・農業用水などの資源の保全管理や農村環境の保全を図り、水路・農道などの農業施設の長寿命化を進める。				
取組内容・実績	地域の農地と農村環境の保全活動を実施した。また、水路・農道などの農業施設の新設、補修工事を実施した。				
成 果	地域の農地と農村環境の保全活動を継続的に行うことができた。また、農業施設の機能向上が図られた。				
課題・今後の方向性	農村環境の保全を図り、水路・農道などの農業施設の長寿命化を進めるため、事業継続が必須である。				

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	124,710		124,248	0	462
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	91,482		0	5	32,761
目 的	農業生産上の不利な条件の補正を目的とした農業者等への交付金の交付により、農用地を維持・継続し、耕作放棄地の発生防止と農業の有する多面的機能を確認する。				
取組内容・実績	荒廃農地の増加により、中山間地域における農業が有する多面的機能が低下することを防止するため、農業生産活動を行う農業者等に対し、交付金を交付した。				
成 果	交付金の交付により、農業生産活動が継続的に行われ、農用地の維持や耕作放棄の発生防止による多面的機能の維持がされている。				
課題・今後の方向性	農業者等の高齢化、減少により、荒廃農地の増加が懸念されるため、農業生産活動を行う農業者等に対して、今後も農業生産条件の不利を補正するための交付金の交付を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林病虫害防除事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,146		6,225	0	921
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,171		0	0	3,054
目 的	潮風公園、松波・荒浜地区の保安林について、松くい虫の防除を実施し、被害の抑制を図る。				
取組内容・実績	無人ヘリコプター薬剤散布、地上薬剤散布業務（実施面積33.5ha）及び松くい虫被害木の伐倒駆除（実施規模40.8㎡）を実施した。				
成 果	保安林の松くい虫防除を実施することにより、被害の抑制を図ることができた。				
課題・今後の方向性	保安林の維持のため、松くい虫防除を継続的に実施する必要がある。				

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,160		1,579	0	581
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,184		0	0	395
目 的	間伐等の森林整備を推進するため、森林経営計画作成等の活動経費を助成し、森林整備を促進する。				
取組内容・実績	吉井・曾地・山澗・西山町二田地内等で森林経営計画作成促進森林面積64.57ha、森林境界の明確森林面積22.03haについて計画書を作成した。				
成 果	森林経営計画が作成され、間伐等の森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	森林整備を推進するため、引き続き森林経営計画作成等の活動経費を助成していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,236		17,063	0	173
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,586		0	0	10,477
目 的	雨等で傷んだ林道の補修工事や橋の損傷点検を行い、林道利用者の通行の安全を確保し、林業振興及び林道の利活用の推進を図る。				
取組内容・実績	県単補助事業を活用し、林道石曾根線（舗装）L＝63.8m、林道黒姫山線（舗装）L＝21.0m、林道程平線（側溝）L＝106.0mの改良工事及び林道黒姫山線の補修工事設計業務委託を実施した。また、令和2（2020）年度からの繰越工事である林道程平線（舗装）L＝20.0mを実施した。				
成 果	林道整備を実施することにより、林業従事者の走行の安全を確保し、木材運搬等の作業効率の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	老朽化や天災による被害もあり、改良・補修工事が必要な路線が多いため、計画的に整備をしていく必要がある。				

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,284		9,284	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,317		0	0	3,967
目 的	市有林の造林事業を行い、市民の財産として森林整備を推進して適切な管理を行う。				
取組内容・実績	市有林において、下刈りを1.48ha、保育間伐を3.56ha、人工林整理伐を6.45haの施策を実施した。				
成 果	森林整備を推進することにより、市民への啓発を行うとともに、森林が持つ多面的機能の質的な向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市有林は、主伐に適した林齢50年以上の人工林が60%以上を占めており、今後計画的に主伐や間伐を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	造林事業補助金			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,511		7,071	0	440
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,071
目 的	民有林の造林事業による森林整備を推進して、適切な管理を行う。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合が行う民有林の造林事業に対して、新潟県の補助に加えて市も補助金を交付して、市内の民有林27.01haの施業と作業道L=4,030mの施工を実施した。				
成 果	民有林の下刈り、間伐等の造林事業への助成により、森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も施業の集約化を図り、森林整備の推進を図る。				

事務事業名	森林経営管理事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,298		16,785	0	1,513
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	16,785
目 的	林業経営に適した人工林の施業を進め、適さない森林は、天然林に樹種変更の整備を進める。また、林業振興のための人材の確保を支援する。				
取組内容・実績	森林整備の担い手の中心である柏崎地域森林組合の新規雇用を促進するため、補助金を交付し、人材の確保を支援する。また、森林整備を行う際に必要な林道(L=10,738m)の維持管理を委託するとともに、林道2路線の舗装補修工事(L=74.0m)を実施した。				
成 果	柏崎地域森林組合において、新たに2人の人材を確保することができた。また、森林環境譲与税を活用して施業予定である高柳町岡野町地区の森林所有者に対して意向調査を行い施業の準備をすることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き森林環境譲与税を活用して、林業に従事する人材の確保や森林整備を進めていく。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	かしわざ“木”の力発信事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,509		3,509	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,509
目 的	若い世代が、柏崎産の木材を使用した製品に触れる機会を設けることにより、柏崎産木材の利用促進と林業を身近に感じてもらうきっかけづくりを行う。				
取組内容・実績	柏崎産木材を使用して、柏崎木材協会で作成した木製ベンチ72台、木製掲示ボード33台を市内の保育園、幼稚園、認定こども園及び元気館に設置した。				
成 果	各施設において、日常生活で活用されており、子どもたちに対し、木に親しむ機会を提供することができた。				
課題・今後の方向性	森林がもたらしてくれる様々な恩恵を周知して、森林保全の重要性や林業についても興味を持っていただけるようPRを行い、森林や木材に触れる機会を創出する。				

事務事業名	水産資源保護培養事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,843		1,781	0	62
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,781
目 的	海面漁業の生産増大と内水面の水産資源の維持を図り、水産資源の保護培養を推進する。				
取組内容・実績	水産資源を増やすため、ひらめの稚魚1万9千匹、あわびの稚貝2千3百個、あゆの稚魚2万9千匹を購入し、放流した。				
成 果	海面漁業における資源管理型漁業やつくり育てる漁業を推進するとともに、内水面の水産資源の維持増大にも寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も活動を継続し、水産資源の管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産ヒゲソリダイ養殖支援事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,864		1,135	0	729
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	500	635
目 的	ヒゲソリダイ養殖の支援やPR活動を行うことにより、認知度の向上を図り、ヒゲソリダイの付加価値を高める。				
取組内容・実績	養殖ヒゲソリダイを多くの市民に知ってもらうため、飲食店での提供や量販店での販売を通じてPR活動を実施した。				
成 果	ヒゲソリダイのPR活動を実施することにより、市民の認知度が向上した。				
課題・今後の方向性	更なる認知度の向上を図りつつ、多くの方から食べていただけるよう、生産尾数の増大を図る必要がある。				

事務事業名	漁業就業者支援事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,200		1,200	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,200
目 的	新規就業者に支援金を支給することにより、就業直後の収入の安定を図るとともに、漁船購入者に対して、支援金を支給することで漁業者の増加と漁業経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	新たに漁船を購入した2人の漁業者に支援金を支給した。				
成 果	支援金を支給することにより、漁業経営の安定化につながった。				
課題・今後の方向性	新規就業者の増加を図るため、漁協と協力して支援事業の更なるPRを行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,100		10,252	0	848
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,125		4,600	0	527
目 的	海岸沿いの住宅を波の被害から守るとともに、海岸保全施設の老朽化対策工事を行い、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	石地漁港海岸の第1護岸の補修工事L=35mを実施した。また、第3護岸の実施設計1式を実施した。				
成 果	計画どおりの工事を実施し、施設の長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	老朽化した施設を長寿命化計画により適宜補完し、海岸保全施設の機能を維持する必要がある。				

事務事業名	漁港整備市費事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,344		32,429	0	915
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		18,800	5	13,624
目 的	漁港施設等の整備により、労働環境の改善など、漁業活動の向上を推進する。				
取組内容・実績	市が管理する荒浜漁港の維持浚渫工事（V=6, 510m ³ ）や高浜漁港海岸の護岸補修工事（L=28m）を行った。				
成 果	漁業者の水揚げ作業の負担を軽減するため、漁港施設等を適正に維持管理し、作業効率が向上した。				
課題・今後の方向性	毎年定期的に維持浚渫することにより、維持管理経費の軽減と漁業者の作業効率を向上させる必要がある。				

7 款 商工費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	中小企業等融資事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	666,100		345,200	0	320,900
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	345,200	0
目 的	市内中小企業者などの資金需要に対応し、資金調達の円滑化と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	<p>中小企業者等の資金繰り需要に対応し、金融機関と協調融資を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規借入実績18件121,496千円 ・令和4(2022)年3月末貸付残高143件716,389千円 				
成 果	中小企業者などの資金調達を円滑にし、産業の振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の資金繰りを最優先に捉え、中小企業の存続、発展のため、現行の制度融資を継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	県信用保証協会負担金			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,700		27,582	0	2,118
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	27,582
目 的	市制度融資や新潟県制度融資の借入れに係る保証料の負担を軽減することにより、中小企業者の資金繰りの安定と利便性を図る。				
取組内容・実績	<p>市制度融資や新潟県制度融資を借り入れる際の信用保証料の一部又は全部を補給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補給実施件数109件 				
成 果	県制度融資の新型コロナウイルス感染症対策特別融資について、全額補給をすることにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰り支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も、新型コロナウイルス感染症関連融資について、継続して補給を行う必要がある。また、設備投資促進資金等、その他の融資についても、中小企業者の資金繰り安定のため、適宜内容を見直しながら継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	制度融資利子補給金補助金			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,217		6,445	0	3,772
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,445
目 的	中小企業者の資金調達に係る利子の負担を軽減することにより、資金繰りの安定と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	<p>意欲ある創業者や積極的な設備投資を図る中小企業又は新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している中小企業に対し、融資に係る利子の一部を補給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県セーフティネット資金（新型コロナウイルス感染症対策特別融資又は新型コロナウイルス対策伴走支援型資金）利子補給116件4,708千円 ・創業資金利子補給35件891千円 ・設備投資促進資金利子補給12件846千円 				
成 果	中小企業者の資金調達に係る負担を軽減し、資金繰りの安定を図ることができた。				
課題・今後の方向性	創業者や新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等に対し、引き続き資金繰りの支援を行っていく必要がある。				

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,049		7,962	0	3,087
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,962
目 的	柏崎商工会議所、市及び業界団体で組織する「柏崎あきんど協議会」等が主催する商業活性化事業等を支援し、もって、柏崎地域の中小事業者の活性化を図り、本市の経済発展を推進する。また、中心市街地商店街等が実施するイベント事業を補助することにより、中心市街地の活性化を図る。				
取組内容・実績	<p>あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を支出し、中心商店街のイベントや新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を活用する創業者等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまるクーポン事業224店参加 ・空き店舗活用創業等支援事業1店 ・あきんど支援事業5団体 ・需要創出支援事業2団体 ・需要創出支援事業（特別枠）5団体 ・WEB情報発信ツール個別相談会9店など 				
成 果	はなまるクーポンなど事業者及び市民にメリットのある企画により、市内商業の活性化を図ることができた。あわせて、創業者支援や事業者のスキルアップにつながった。				
課題・今後の方向性	消費動向調査の結果、市内購買率は更に低下しており、商店街（各店舗）の業態転換が求められている。また、イベント関係の賑わいは一過性の傾向があり、イベント以外にも継続して商店街の回遊性を高める仕掛けづくりが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,799		8,799	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,799
目 的	中小企業・小規模事業者の伴走型経営支援を行う商工団体の事業実施を支援することにより、柏崎市の商工業等の振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び市内3商工会（西山町、高柳町、北条）が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。				
成 果	商工団体の事業実施を支援することにより、本市の商工業等の振興に寄与した。				
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続のために、地域生活に密着している商工団体への支援継続が必要である。				

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,194		3,894	0	2,300
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,894
目 的	創業や経営について学ぶ機会を設けることにより、創業率と事業継続性の向上を図る。また、補助事業により、創業時の負担を減らし、創業しやすい環境を整える。				
取組内容・実績	創業塾（柏崎・社長のたまご塾）や創業経営相談事業などの運営費を補助した。創業塾の前期は9人、後期は20人が入塾した。また、柏崎商工会議所の創業相談の利用者は年間18人だった。他にも、創業者を対象とした広告宣伝費や改装費の補助を9件、事務所の家賃補助を5件行った。				
成 果	創業塾や相談事業、創業者への補助を行うことにより、創業の機運を高めることができた。				
課題・今後の方向性	創業者にアンケートを行うなど、創業後のフォローアップ体制をより拡充し、創業初期の事業継続性を高める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

事務事業名	モーリエ駐車場整備事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,500		10,407	0	6,093
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,407
目 的	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保、利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	精算機の入替工事及び消防用設備の修繕等を実施した。				
成 果	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	利用者の安全確保のため、優先度の高いものから順次改修工事を行っていく必要がある。				

事務事業名	事業承継支援事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,267		331	0	936
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	331
目 的	中小企業の経営資源を守り、地域経済の持続性を高めるため、事業承継に対する経営者の意識を養う。また、事業承継に係る費用を助成することにより、円滑な承継を支援する。				
取組内容・実績	事業承継に関する困りごとに対応するため、事業引継ぎ個別相談会を計画したが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の終了直後の開催であったため、参加者はいなかった。 また、市内の中小企業に対し、士業専門家への委託費用を補助した。 ・件数：4件、交付額：309,000円				
成 果	士業専門家への委託費用を補助することにより、円滑な事業承継の促進につながった。				
課題・今後の方向性	今後、対面式以外の相談方法や、研修機会を確保する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,000
目 的	地場産品及び特産品の開発力強化並びに販路拡大に取り組む中小企業者等に対し、商品の開発から販売までを総合的に支援し、地域ブランドづくりを促進する。				
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネスネットワークが「N I I G A T Aみらいプロジェクト」と連携して実施する地域ブランドづくり支援事業へ補助金を交付した。当事業への応募は5件で、うち2件を採択した。				
成 果	自社製品の営業ツールの見直しや販売戦略を支援し、市内事業者の商品ブランド化に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	当事業への活用を促進し、シティセールスにつなげていくため、事業展開に積極的な事業者に対してPRを着実に実行する必要がある。				

事務事業名	緊急景気対策事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	220,050		156,450	50,000	13,600
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	156,250		0	0	200
目 的	新型コロナウイルス感染症により、マイナス影響を受けている市内事業者を支援するため、消費喚起策及び各種補助を実施する。				
取組内容・実績	緊急景気対策事業として、次の6事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策飲食店認証制度（259件） ・柏崎市飲食店経営継続支援金（71件） ・柏崎市飲食店感染防止対策協力金（116件） ・柏崎市小規模飲食事業者経営継続支援補助金（203件） ・柏崎市飲食関連事業者等事業継続支援金（48件） ・元気発信プロジェクト事業 元気発信プロジェクト事業では、次の消費喚起事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・元気発信スタンプラリー（参加店舗数331店） ・柏崎元気復活!!GOTOイート（参加店舗数213店） ・柏崎元気復活!!GOTO忘新年会（参加店舗数77店） 				
成 果	マイナス影響を受けている市内事業者の経営継続につなげることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症のマイナス影響に、引き続き注視していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-1 商業の魅力を高める		

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,111,508		452,099	451,140	208,269
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	452,099		0	0	0
目 的	県の特別警報又はまん延防止等重点措置に伴い、協力金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。				
取組内容・実績	県内全域の特別警報期間（9月3日～16日）及びまん延防止等重点措置適用期間（令和4（2022）年1月21日～3月6日）において、営業時間の短縮に協力した飲食事業者に対し、協力金を支給した。 ・特別警報期間の交付額138,782千円 ・まん延防止等重点措置適用期間の交付額309,610千円				
成 果	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染状況を引き続き注視していく必要がある。				

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,889		24,543	0	7,346
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	24,543
目 的	基幹産業であるものづくり産業の生産性向上、受注開拓、人材確保を支援し、地域経済の拡大や好循環を図る。				
取組内容・実績	企業振興条例に基づき、25社に総額1億811万8,600円の固定資産税を軽減し、5社に総額1,207万5,000円の奨励金を交付した。また、中小企業等経営強化法（旧「生産性向上特別措置法」）に基づく固定資産税の特例は、25社による先端設備等導入計画を認定するなど、新たな設備投資を支援した。さらに、各地で開催された見本市への出展企業6社に対して、出展費用を助成した。加えて、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会を実施し、延べ9社・185人が参加した。				
成 果	先端設備等の導入促進による生産性向上とともに、固定資産税の軽減措置や各種助成金の交付により、事業者の負担軽減を図ることができた。また、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会は、市内企業に目を向けた進路を考える気付きを学生に与えることができた。				
課題・今後の方向性	既存事業にとどまることなく、新たな技術を取り入れ、生産性を向上し、自ら提案できる企業への変革が求められている。引き続き、先端設備の導入、新たな販路開拓やDXの推進などにより、経営基盤の強化に積極的に取り組む企業を支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	産学連携支援事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,180		383	0	797
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	383
目 的	製造業における産学共同研究や開発マインドの醸成を図るほか、建設業における継続的な能力開発や技術力向上につなげる。				
取組内容・実績	新潟工科大学とともに開催しているものづくり開発塾は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせた。また、建設技術研修会（全10回）には、延べ297人が受講した。なお、建設技術研修会は、日本建築士連合会や全国土木施工管理技士会連合会から継続能力開発研修の認定を受け、延べ182人に対して受講証明を発給した。				
成 果	建設業従事者の技術力向上を図ることができたほか、継続的な能力開発につなげることで技術に対する意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	技術系大学の立地は、新たな製品や技術開発に向けた共同研究のほか、従業員のリカレント教育や職業能力の再開発を推進する上で、存在意義は大きい。引き続き、産学連携を通じた新事業の創出や能力開発を支援する。				

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,100		4,272	0	828
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,272
目 的	若者の地元企業への就職率や定着率を高め、産業界で力を発揮できる若手技能者の育成とものづくり技術の継承を推進する。				
取組内容・実績	機械加工系の技能検定試験が2年ぶりに実施され、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、受検機会を失った過去のものづくりマイスターカレッジ受講者を含む8人が2級以上の技能検定に合格するとともに、次年度の技能検定合格を目指し、第16期ものづくりマイスターカレッジを開講した。柏崎工業高校2年生によるインターンシップは、感染症拡大防止の観点から実施を見合わせた。資格取得費や研修受講料を助成する高度技術者育成推進助成金を延べ21社・90人に対して交付した。				
成 果	人材育成事業の実施により、若手技能者の育成と技術の向上を図ることができた。また、資格取得に向けた助成金の交付により、職業能力やモチベーションを高め、生産性の向上や高付加価値化に取り組む市内事業者の積極的な人材育成を後押しした。				
課題・今後の方向性	ものづくりマイスターカレッジによる技術指導や資格免許の取得を推奨し、優れたものづくり技術の継承を推進する。また、インターンシップや企業見学会を通じて若者や女性の地元企業への理解促進を図り、将来のものづくり産業を担う人材の育成・確保に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	334
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,761		10,761	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,761
目 的	個々の技術に磨きを掛け、更に付加価値の高い製品づくりに向けて、新たな事業展開に積極的に取り組む中小製造事業者を支援する。				
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を8社延べ60件に対して交付したほか、国際規格認証取得支援助成金を1社に対して交付した。また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業では、新製品開発や販路開拓に対する取組を7件支援した。				
成 果	知的財産の保護や権利化による競争力の強化のほか、国際規格の認証取得を通じ、経営基盤の強化や新たな産業分野への参入を目指す中小企業の成長を支援することができた。				
課題・今後の方向性	異なるヒト、モノやコトの融合により新たなアイデアやチャレンジが生まれる。量から質、多様化の時代の今、新たな価値創造の追求が必要である。産学官金との連携を通じ、成長産業への参入や技術の高度化を支援するとともに、知的財産戦略を推進する。				

事務事業名	情報産業育成振興事業			決算書 掲載ページ	334
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,565		6,875	0	5,690
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,000		0	3,645	230
目 的	新商品開発や人材育成などへの支援を行い、情報関連産業売上規模70億円の実現を目指す。				
取組内容・実績	IT商品開発支援補助金を1件交付したほか、知的財産権取得支援助成金を1社・4件に対して交付した。また、新たなサービスやビジネスの創出、異業種交流や起業・創業、多様な働き方を促進するコワーキングスペースを「イノベーション促進施設」と位置付け、その運営に取り組む情報産業事業者に対し、補助金を1件交付した。				
成 果	市場のシェア獲得や拡大を目指す情報産業事業者の競争力強化を支援することができた。コワーキングスペースは、新型コロナウイルス感染症の影響により利用や交流が制限されるなど、施設が持つ有機的な機能を十分に活用することができなかった。				
課題・今後の方向性	IT人材の不足は本市も例外ではなく、持続的な成長にはIT人材の確保・育成が重要である。また、地域産業のDX推進には、IT事業者による導入支援が必要である。これらの課題認識の下、若者や女性の雇用創出、経営相談や商品開発に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	334
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,355		275	0	1,080
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	275
目 的	既設炉の段階的な廃止措置が見込まれる中、廃炉を新たな産業として捉え、市内事業者が参加できる可能性を探る。				
取組内容・実績	将来的な原子力発電所の廃炉を見据え、廃炉産業創出に関する勉強会を2回開催し、廃炉の現状把握と情報共有を行った。うち1回は、実際に廃炉が進む原子力発電所の視察を市内事業者と共に実施した。				
成 果	市内企業5者が勉強会にオブザーバーとして参加し、視察や意見交換を行うことで、廃炉ビジネスの可能性について意識醸成が図られた。また、浜岡原子力発電所の視察により、廃炉までの具体的な工程や必要となる作業等を確認した。				
課題・今後の方向性	廃炉産業の創出は、原発立地地域が抱える固有の政策課題として、他地域に遅れることのないよう、市、地元企業、電力会社がそれぞれの立場で主体的な取組を進める必要がある。				

事務事業名	I o T推進事業			決算書 掲載ページ	334
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,987		4,631	0	6,356
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,631		0	0	0
目 的	産学官金で構成する柏崎市I o T推進ラボにおいて、ものづくり産業へのI o T・A I技術の導入支援やデジタル人材の育成を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市I o T推進ラボ協議会の運営を新潟工科大学地域産学交流センターと連携して行い、地元のI T専門家派遣を4社に対して実施し、そのうち3件は推進ラボの補助事業であるI o Tステップアップ事業を活用し、製造現場におけるI o Tの実装を実現した。また、DX推進ジャンプアップ事業を2社が活用し、I o T・A I等の活用実践とデジタル人材育成を一体的に取り組む事業を支援した。加えて、I T人材の育成のため、I Tパスポート試験対策講座(前期・後期各10回)をオンラインで開催し、84人の参加者のうち4人が国家資格を取得した。				
成 果	個別相談や補助金の活用を通じ、製造現場におけるI o Tの実装を実現することができた。また、I o T・A Iの活用実践に併せてデジタル人材の育成に取り組む事業を展開することにより、市内企業のI T力向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市内企業のI o T促進やDX推進のため、企業内デジタル人材を育成する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	緊急経済対策事業			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,000		10,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,000		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている地域経済の回復に向けた緊急経済対策として、将来を見据えた事業構造改革に取り組む事業者を後押しする。				
取組内容・実績	国が交付する一定の補助金の採択を受け、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために前向きな投資を行った23社に対して、総額1,000万円の補助金を交付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞する中、国の補助金に上乗せ交付することにより、事業者負担の更なる軽減を図ることで思い切った設備投資を可能とし、事業者の前向きな変革を後押しすることができた。				
課題・今後の方向性	時代の変化に適応し、新たな事業展開に前向きに取り組む事業者を支援し、地域経済の好循環につなげるとともに、中小企業のアフターコロナに向けた事業構造の転換・強化を後押しする必要がある。				

事務事業名	事業構造強化促進事業			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,000		24,138	8,000	37,862
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	23,504		0	0	634
目 的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域経済の回復とともに、EVシフトを始めとした産業構造の大変革期にある中、将来を見据えた事業構造改革への取組を後押しする。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも国の雇用調整助成金等を受給し、雇用を維持する製造事業者42社に対して、総額1,379万3,957円の奨励金を交付した。また、国や県が交付する一定の補助金の採択を受け、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために前向きな投資を行った47社に対して、総額1,034万4,000円の補助金を交付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞する中、人件費を始めとした固定費の負担軽減を図ることで雇用維持や事業継続につなげることができた。また、国や県の補助金に上乗せ交付することにより、事業者負担の更なる軽減を図ることで思い切った設備投資を可能とし、事業者の前向きな変革を後押しすることができた。				
課題・今後の方向性	時代の変化に適応し、新たな事業展開に前向きに取り組む事業者を支援し、地域経済の好循環につなげるとともに、中小企業のアフターコロナに向けた事業構造の転換・強化を後押しする必要がある。また、脱炭素社会やカーボンニュートラルへの動きが加速化する中、基幹産業である製造業が経済社会の変化に対応し、更なる成長に向けた新分野展開や事業転換に取り組む企業を支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,881		39,111	0	770
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	39,111
目 的	企業誘致により、雇用機会や税収の確保、地域産業の活性化による本市経済の持続的な発展を目指す。				
取組内容・実績	事業主体である独立行政法人中小企業基盤整備機構、構成員である新潟県及び柏崎商工会議所と連携しながら企業誘致活動を実施し、2社と土地譲渡契約を締結した。また、フロンティアパークにて操業を開始した企業1社へ企業立地促進助成金を交付した。				
成 果	柏崎フロンティアパークは、全ての区画で分譲・賃貸済みとなった。				
課題・今後の方向性	柏崎フロンティアパークの完売により、企業誘致の方針について検討が必要となる。今後、適地調査等の実施により、新たな工業団地造成の可能性を探る。				

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,900		1,900	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,900
目 的	柏崎地域の賑わいに寄与するイベントを支援することにより、本市への誘客・認知度向上や地域活性化に貢献する。				
取組内容・実績	「かしわぎき風の陣」及び「どんGALA!祭り」の両イベントを支援し、開催準備を進めたが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。この結果、イベント準備にかかった経費に対し、それぞれの実行委員会へ1,800千円、100千円の補助金を交付した。				
成 果	「かしわぎき風の陣」及び「どんGALA!祭り」の両イベントは中止となったが、本市を代表する地域活性化イベントの再開・復活に向け、そのPRと実行委員会の体制維持につながった。				
課題・今後の方向性	両イベントともに市内外に認知されており、今後も地域振興・活性化に資する事業と考えるが、中断が続き、実行委員会の経済的環境やメンバーの低下が顕在化してきている。組織体制の強化・充実や自己資金の確保に向け、実行委員会と協議を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場安全対策費			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,979		11,466	0	2,513
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	11,466
目 的	海水浴場にライフセーバーを配置することにより、海水浴場内の事故防止や事故発生時に速やかに初期対応を行うことで、海水浴場の安全を確保する。				
取組内容・実績	市内海水浴場に巡回も含めライフセーバーによる監視を実施した。海水浴客数250,810人（前年より7万人増加）のうち、重症事故件数は0件（前年2件）であった。				
成 果	海水浴中の溺水、軽傷等に迅速に対応する体制を整備することにより、重大な事故を未然に防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	長年に渡ってライフセーバーと築き上げてきた本市の安全な海を守り、継承していくため、人材が不足し始めているライフセーバーの確保・育成が重要となる。ライフセーバーの確保に向け、業務環境整備に加え、市外からの人材募集など営業活動を実施する必要がある。				

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	340
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,575		23,438	0	1,137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	23,438
目 的	安心・安全で快適な海水浴場を利用してもらえるよう、海水浴場の環境整備を図る。				
取組内容・実績	海岸清掃の実施や海水浴場内での仮設トイレ10基の設置、海水浴場駐車場及び管理棟の業務委託など海水浴場の環境整備を図った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ等に消毒液及び石鹸の設置、注意喚起看板を設置し、対策の徹底を呼びかけた。海水浴場の入込客数は、250,810人（前年より7万人増加）となった。				
成 果	海水浴場内の施設改修、清掃、管理を行うことにより、来場者が安心・安全に楽しめる環境を整備することができた。コロナ禍にあって、消毒作業や規制看板による周知の効果もあり、海水浴場における感染症の発生はなかった。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の流行が、海水浴離れに拍車をかける中、入込客数は改善傾向にある。改めて、本市の海の魅力を市内外に伝え、海に興味を持っていただく取組を推進していく必要がある。また、15の海水浴場それぞれの「特色」や「売り」を醸成し、本市の海の魅力を伝えるプロモーションを行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	情報発信・商品開発戦略事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,007		4,542	0	1,465
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,000		0	0	1,542
目 的	観光商品を柱とした集客促進の取組を通じて、関連する観光産業などの活性化を図る。また、観光事業者・団体などの商品開発を促進することにより、一般社団法人柏崎観光協会・旅行者・行政などがPRする観光素材を充実させるとともに、関係事業者の新たな観光商品開発に対する機運を醸成する。				
取組内容・実績	道の駅に設置されるフリーペーパー及びJRと連携した広告を展開し、新潟県内及び近県に対して、海及び三庭園をPRした。また、海とリラクゼーションを組み合わせた観光商品の開発を支援した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症により観光PR活動に制約があった中においても、道の駅や鉄道利用者に対して観光情報の露出を図ることができた。また、新たな観光商品を開発することができた。				
課題・今後の方向性	市内関係団体と連携したツアー誘致及び観光誘客の回復を図る。				

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,300		44,817	0	483
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	44,817
目 的	柏崎市への誘客・宣伝活動を展開し、観光誘客を促進する。				
取組内容・実績	観光関連団体に対し負担金を支出し、連携を図りながら、誘客・宣伝活動を行った。新たに赤坂山紅葉ダイニング事業を展開し、3,298人が来場した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症による影響や制約があったものの、関係団体と連携し、誘客・宣伝活動を行ったことにより、観光産業の維持や活性化に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	観光産業の一層の振興を図るため、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えながら、行政と関係団体の連携の在り方・役割分担を検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する		

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する		

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,165		5,089	0	1,076
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,089
目 的	松雲山荘の安全管理と景観保全を適切に行うことで長寿命化を図り、通年観光の拠点としての価値・魅力を高める。				
取組内容・実績	庭園内の危険木除去及び景観改善を目的とした伐採（22本）を行った。また、紅葉ライトアップ事業の目玉である「もみじ」の色づきが近年悪いことから、原因と適正な手当を行うための樹勢回復調査を実施した。				
成 果	樹木を伐採することで景観が改善され、利用者の安全性が向上した。また、樹勢回復調査の結果から、紅葉の色づきを回復するためには樹木に適した土壌を再構成する必要性があることが明らかになった。				
課題・今後の方向性	引き続き、倒木の恐れがある危険な樹木を処理し、来場者の安全性確保の向上に努めていく必要がある。また、紅葉の色づき不良の原因が土壌の問題であることが分かったため、今後、土壌改良対策を講じていく必要がある。				

事務事業名	インバウンド推進事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,000		1,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,000
目 的	インバウンド推進事業を通して交流人口を拡大させることにより、地域経済を活性化し、住民が誇りや愛着を持てる地域づくりを実現する。				
取組内容・実績	インバウンド推進協議会に負担金を支出し、その事業推進を図った。協議会では、台湾、香港向けの日本旅行向け大手サイトへの柏崎情報記事の掲載や、市民、事業者に向けた外国人向けセミナーの開催、市内観光事業者へ向けたインバウンドアンケートの実施に取り組んだ。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要は見込めなかったものの、ウィズコロナ、アフターコロナにおけるインバウンド需要の増加を想定し、市内事業者の意識向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未だコロナ禍にあるものの、ウィズコロナ、アフターコロナにおける海外からの日本へのインバウンド需要が高まっていく可能性が高いことから、市内事業者の意識の向上や環境整備について検討を進めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	新たな海の柏崎モデル事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,970		15,493	0	477
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,359		0	0	1,134
目 的	海辺でのアウトドアレジャーや海の生き物観察が楽しめる環境を整備し、海水浴を中心とした夏季の観光から通年型・滞在型観光への転換を図る。本市の大切な財産である「海」を、市民が守り育て次の世代に伝えるきっかけを作るとともに、観光地としての魅力を高める。				
取組内容・実績	キャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツや海洋生物観察を楽しむことができる環境を整備した。 また、市民が海を守り育てる機運を高めるため、プロジェクトの名称及びロゴマークを公募により決定した。 ・利用者数：番神自然水族館630人、かしわざきセントラルビーチ2,332人				
成 果	多くの市民及び観光客に海辺でのキャンプ等を楽しんでいただき、これまでになかった体験を提供することができた。また、柏崎の海は美しく、多様な生物が生息していることを知ってもらい機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	大切な海や公園を守りながら活用し続けていくための課題やアウトドアレジャー需要の検証を進めていく。				

事務事業名	じよんのび村管理費			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,729		28,588	550	2,591
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	28,588
目 的	じよんのび村施設の維持管理を行い、来訪者の安全と快適な利用環境を確保する。				
取組内容・実績	指定管理者が、経営改善に向けたイベント企画及び情報発信並びに運営方法の抜本的な改善に取り組んだ。また、萬歳楽の空調設備入替や楽寿の湯のベレットボイラーの修繕等を行った。 ・利用者数：64,218人				
成 果	今後の観光需要回復期に備えて、施設の修繕、運営方法の改善等を進めることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、施設を適切に維持管理するとともに、指定管理者の経営の安定化を目指す。				

8 款 土木費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	356
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,981		3,578	0	2,403
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	454		0	0	3,124
目 的	空き家の所有者に行政指導を行うことにより、市民の良好な生活環境の保全を図る。また、空き家バンク事業を行うことにより、空き家の活用を促し、管理不全な空き家の発生を防止する。				
取組内容・実績	特定空家の適正管理を促す指導・助言34件、催告26件を行い、8件の特定空家を削減できた。また、活用事業として、空き家バンクに34件が新規登録され、14件の成約があった。				
成 果	行政指導により管理不全な空き家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。また、空き家バンクの成約により、空き家を利活用することができた。				
課題・今後の方向性	所有者に行政指導を継続して行い、特定空家の削減を図るとともに、空き家バンクによる利活用を推進する。また、所有者の管理者意識を醸成するために、適切な情報提供や広報活動を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	358
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,600		51,102	0	2,498
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14,550	36,552
目 的	市民が快適に安心して暮らせる居住環境の維持及び向上と、空き家の有効活用による移住定住の促進を図る。あわせて、市内住宅関連産業の活性化を促進する。				
取組内容・実績	住宅のリフォームを実施した305件（そのうち子育て世帯分20件、二世帯分29件）に補助金を交付した。また、空き家のリフォームを実施した5件に補助金を交付した。				
成 果	個人住宅のリフォームを行うことにより、市民の居住環境の向上及び空き家を有効活用した移住定住の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	リフォームによる居住環境の向上を希望する市民が多くいることから、引き続き必要な支援を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	克雪すまいづくり支援事業			決算書 掲載ページ	358
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,100		330	0	770
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	165		0	0	165
目 的	屋根の雪下ろしをしなくてもよい家づくり、安全に雪下ろしできる家づくりを推進し、積雪期における安心で安全なまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	落雪式の屋根へ改修した1件に補助金を交付した。				
成 果	屋根雪の処理をしなくてもよい家づくりを支援することにより、積雪期における安心で安全なまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	積雪期の安全確保及び除排雪時の負担を軽減するため、屋根雪処理の不要な住宅への改修を進める必要がある。また、屋根雪処理が必要な住宅に対しては、雪下ろし時における転落事故を未然に防止するための設備の設置を支援する必要がある。				

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	157,587		150,847	0	6,740
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	522	150,325
目 的	道路を適切に管理し、人や車が安全に通行できる環境を整備する。				
取組内容・実績	市道実延長1,158kmについて業務委託により補修作業を実施した。				
成 果	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全で安心な道路交通確保のために、今後も継続して道路施設を適切に管理していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	313,724		295,800	11,000	6,924
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		200,500	27,000	68,300
目 的	道路施設の補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	道路補修工事を19件、舗装補修工事を22件、側溝補修工事を92件実施した。高柳町漆島地内において、令和2(2020)年度に発生した法面崩落箇所崩土撤去及び法面補修を実施した。				
成 果	道路施設の補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	道路舗装修繕事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	185,000		159,993	21,000	4,007
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		127,000	0	32,993
目 的	幹線市道の舗装補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎9-1号線ほか13路線の舗装補修工事を実施した。				
成 果	幹線市道の舗装補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	茨目駅前駐車場改修事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,000		6,919	0	1,081
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,919
目 的	茨目駅前駐車場の改修工事を行うことにより、沿線住民の利便性・快適性を高める。				
取組内容・実績	砂利の駐車場をアスファルトで舗装する工事を実施した。				
成 果	茨目駅前駐車場をアスファルト舗装することにより、沿線住民の利便性・快適性を高めることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で事業を終了する。				

事務事業名	除雪経費			決算書 掲載ページ	364
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	153,791		153,234	0	557
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	153,234
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	除雪車15台をリース契約により調達し、市道除雪に使用した。また、町内会が実施した道路除排雪について、その経費の75%を145町内会に対し補助した。				
成 果	リースによる除雪車の調達で市道除雪に必要な機材が確保され、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	除雪経費（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	364
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	769,588		768,201	0	1,387
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	122,432		0	0	645,769
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	市道640.7kmの除雪を交付金を活用して事業者へ委託し、冬期間における道路交通を確保した。				
成 果	除雪事業者へ業務を委託し、適切に市道の除雪を実施したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	145,350		142,799	0	2,551
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	81,467		52,200	0	9,132
目 的	消融雪施設の整備工事を行うことにより、冬期間の道路交通を確保する。				
取組内容・実績	消雪パイプ用の井戸の掘り換え工事を3件、消雪パイプの打ち換え工事を2件実施した。				
成 果	消融雪施設の整備工事により、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	除雪車購入国庫補助事業			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,000		32,945	0	55
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,260		4,100	1,101	6,484
目 的	除雪車を計画的に更新することにより、修理費の削減や機械性能の向上を図り、安全な除雪体制を確保する。				
取組内容・実績	国庫補助事業により、除雪ドーザ14t級1台、小形除雪車1.0m級1台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車の更新により、作業効率の向上を図りながら、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	除雪車購入市費事業			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,548		27,500	0	48
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		0	4,400	3,100
目 的	除雪車を計画的に更新することにより、修理費の削減や機械性能の向上を図り、安全な除雪体制を確保する。				
取組内容・実績	除雪ドーザ8t級2台、凍結防止剤散布機1.0m級1台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車の更新により、作業効率の向上を図りながら、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,500		13,339	0	1,161
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	13,339
目 的	大型除雪車が入れない袋小路や狭い道路について、小型除雪機械の購入補助を実施することにより、地域住民による除雪を推進する。				
取組内容・実績	町内会に対し、26件の小型除雪機械の購入費用の一部を補助した。				
成 果	補助金の交付により整備した小型除雪機械で、狭い市道などを地域住民で除雪したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も小型除雪機械の購入費用に対する補助を継続する必要がある。				

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	72,500		69,607	0	2,893
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		37,500	3,000	29,107
目 的	交通安全施設などを新設・更新することにより、道路交通の安全・安心を確保する。				
取組内容・実績	区画線設置工事を7件、照明設置工事を24件、防護柵設置工事を8件、路肩拡幅工事を2件実施した。				
成 果	交通安全施設などを新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通の安全・安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通の安全・安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路防災対策事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,000		38,754	0	6,246
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	19,377		16,000	0	3,377
目 的	災害を未然に防止するため、道路法面の状況などを調査し、防災対策工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎16-1号線の落石防止柵設置工事を実施した。				
成 果	道路防災対策工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	増加する災害に備えて、今後も道路防災施設の整備を継続し、安全な道路網を確保する必要がある。				

事務事業名	橋りょう・トンネル修繕事業（道路メンテナンス事業）			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	266,500		232,858	17,000	16,642
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	125,210		71,300	0	36,348
目 的	橋りょうやトンネルの損傷を調査し、修繕工事などを行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	橋りょうの修繕工事を5件（JR受託含む）、修繕設計委託を4件、点検委託を4件実施した。また、トンネルの修繕工事を1件、点検委託を1件実施した。				
成 果	橋りょうやトンネルの修繕工事を実施し、長寿命化を図ることにより、歩行者や車両の通行の安全が確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、市道橋・トンネルを5年の周期で計画的に点検し、その結果に応じた修繕を行うことにより、施設の機能を維持する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	55,344		38,959	0	16,385
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6	38,953
目 的	道路改良事業を行うための調査・測量設計を行い、生活環境の整備や交通の安全対策を推進する。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎和田2号線ほか19路線の測量設計調査 ・市道柏崎11-114号線ほか6路線の土地調査測量 ・市道柏崎8-54号線ほか1路線の物件調査算定 ・市道柏崎11-87号線ほか2路線の道路工事 				
成 果	改良予定路線の調査・測量を行うことにより、沿線住民の利便性の向上と安全性の確保を推進することができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	509,300		378,644	108,000	22,656
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	136,560		80,600	0	161,484
目 的	地域住民の日常生活に利用する道路の拡幅工事を行い、生活環境と交通の安全性を向上させる。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎18-117号線ほか8路線の道路拡幅工事 ・市道柏崎8-26号線ほか4路線の道路拡幅工事 				
成 果	道路の拡幅工事を実施したことにより、利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	368
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	288,473		265,289	0	23,184
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	189,000		0	7,606	68,683
目 的	国の交付金を活用し、集落と集落を結ぶ道路の拡幅や新設を行い、生活環境と交通の安全性を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎7-105号線ほか2路線の道路拡幅工事及び橋りょう工事 ・市道柏崎11-87号線の道路拡幅工事				
成 果	道路を整備したことにより、幹線道路のネットワークの整備が進み、道路の利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	橋りょう修繕事業			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	04	橋りょう維持費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	77,000		75,437	0	1,563
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,828		30,400	0	8,209
目 的	橋りょうの損傷を調査し、修繕工事などを行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	橋りょうの修繕工事を4件実施した。				
成 果	橋りょうの修繕工事を実施し、長寿命化を図ることにより、歩行者や車両の通行の安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	橋りょう・トンネル修繕事業（道路メンテナンス事業）へ事業移行のため、令和3（2021）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	河川改修市費事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	124,900		110,349	12,863	1,688
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	60,000		0	0	50,349
目 的	河川の幅が狭く水が流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・茨川ほか2河川の河川改修工事 ・赤坂川河川改修工事に関連する用地取得				
成 果	河川改修を行ったことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続していく必要がある。				

事務事業名	河川改修電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,042		42,983	0	5,059
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	35,000		0	0	7,983
目 的	国の交付金を活用して、河川の幅が狭く流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	大日川の河川改修を実施した。 ・工事延長 L=80.0m				
成 果	河川改修を行ったことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	宅地耐震化推進事業			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	01	都市計画総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,500		7,223	0	277
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,611		0	0	3,612
目 的	大規模に盛土をした宅地の状況を調べて公表することにより、市民の地震防災への意識を高める。				
取組内容・実績	大規模に盛土をした宅地の現地調査を行い、地盤調査の必要性を検討した。				
成 果	大規模に盛土をした宅地の状況を調査し、詳細調査の優先順位を決定することができた。				
課題・今後の方向性	今後の調査結果に応じて、宅地耐震化の必要性を検討する必要がある。				

事務事業名	街路事業電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	02	まちづくり事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,000		37,011	0	989
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		0	0	7,011
目 的	都市計画道路宝田北斗町線を整備し、国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスの向上を図る。				
取組内容・実績	都市計画道路宝田北斗町線で軟弱地盤対策の検討と用地測量、物件補償調査を実施した。				
成 果	国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスの向上を図るため、都市計画道路宝田北斗町線の事業進捗を図ることができた。				
課題・今後の方向性	遺跡調査や軟弱地盤対策が必要であり、国道8号柏崎バイパスの開通に間に合うように、事業を計画的に進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	376
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	65,870		61,594	0	4,276
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	146	61,448
目 的	公園施設の維持管理を行うことにより、安全で安心して利用できる憩いの場を確保する。				
取組内容・実績	25か所の都市公園の維持管理を町内会等に委託し、清掃や除草、設備の保守等を行った。				
成 果	公園施設の維持管理を行い、安全かつ安心して利用できる公園を提供できた。				
課題・今後の方向性	引き続き、憩いの場を提供するため、業務委託により公園を維持管理する必要がある。				

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	124,100		84,251	31,200	8,649
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		33,200	0	21,051
目 的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	赤坂山公園の再整備工事、海岸公園ほか9公園の遊具改修工事、御殿山公園ほか1公園の施設改修工事、赤坂山公園の流路浚渫工事を実施した。				
成 果	柏崎市都市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性確保と利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市公園施設は、建設後40年を経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕、改築更新を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	中心市街地活性化推進費			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	07	中心市街地活性化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,406		12,680	0	1,726
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,649		0	0	7,031
目 的	コンパクトなまちづくりを進め、将来にわたって持続可能なまちを目指す。旧市役所庁舎跡地などの大規模公有地を活用し、中心市街地の活性化と魅力づくりを推進する。				
取組内容・実績	持続可能でコンパクトな都市を目指すため、立地適正化計画を策定し、旧市役所庁舎跡地の次の活用方法となる中央地区コミュニティセンターと屋根付き多目的広場の整備について、事業手法の検討を進めた。				
成 果	立地適正化計画を策定し、将来にわたって持続可能なコンパクトなまちづくりを推進した。また、中心市街地の活性化と魅力づくりのため、旧市役所庁舎跡地の利活用方策の検討を進めた。				
課題・今後の方向性	立地適正化計画に基づき、持続可能でコンパクトなまちづくりを推進する必要がある。中心市街地のにぎわいを創出し、魅力を高めるために、旧庁舎跡地の利活用の検討を進める。				

事務事業名	市営半田住宅A号棟改修事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	06	住宅費	担 当	建築住宅課	
目	02	住宅建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	102,348		97,419	0	4,929
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	43,718		0	0	53,701
目 的	市営住宅長寿命化計画に基づく改修により、耐久性、断熱性及び居住性の向上を図るとともに、高齢化対策を実施し、快適な住環境を整備する。				
取組内容・実績	屋上防水と外壁の改修、サッシの複層化、階段防滑シート改修、照明器具のLED化及び給水設備の更新などの改修工事を実施した。				
成 果	建物や設備の改修を実施したことにより、快適な住環境の整備と住宅の長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和3（2021）年度で終了する。				

9 款 消防費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	392
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,551		8,445	0	2,106
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,445
目 的	柏崎市消防団を構成する団本部、ラッパ隊、女性消防隊、学生消防隊、方面隊、分団などが、それぞれの立場で消防団活動を実施することにより、地域の安全・安心に貢献する。				
取組内容・実績	分団運営に係る経費を適切に執行するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により分団活動が制限される中、管内の火災予防巡回などを実施した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により分団活動が制限される中、それぞれの立場で消防団活動を行うことにより、地域の安全・安心に貢献した。				
課題・今後の方向性	今後も、それぞれが独自の消防団活動を実施し、地域の安全・安心に貢献する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防機械器具整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,559		3,343	0	216
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,343
目 的	老朽化した機械器具を更新するとともに、不足している機械器具を整備することにより、災害発生時に迅速な対応ができる体制を強化し、市民の安全・安心を図る。				
取組内容・実績	背負式簡易消火用具20基、ホースブリッジ8組などの資機材を配備した。また、消防用ホース50本を更新した。				
成 果	資機材を配備することにより、消防団が災害に対応できる態勢を整備した。				
課題・今後の方向性	背負式簡易消火用具など全分団に配備が終わっていない資機材を順次配備していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,358		31,247	0	111
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		30,000	0	1,247
目 的	水道管の敷設脆弱な地区を含め、地震時に対応可能な耐震性の貯水槽を計画的に設置することにより住民に安心感を与えるとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	40㎡の耐震防火水槽2基（北園町及び田塚三丁目地内）を新設し、今後新設予定地のボーリング調査を1か所（松波二丁目地内）行った。また、老朽化した防火水槽1か所（野田地内）撤去し、修繕を2か所（西山町西山及び上原地内）実施した。				
成 果	耐震型防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時、水道管の破裂等による消火栓使用不能時に、住民を火災被害から保護することが可能となった。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地域等においても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,198		15,813	0	5,385
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		11,900	0	3,913
目 的	消火栓を計画的に設置して維持管理することにより、強固な火災防御体制を構築し、住民の生命・財産を守る。				
取組内容・実績	消火栓2基（剣野町、東の輪町）を新設した。また、消火栓改良を15か所（西山町長嶺など）、修繕を21か所（学校町など）実施した。				
成 果	「消防力の整備指針」、「消防水利の基準」に基づき、消防水利が不足している場所へ消火栓を設置することにより、住民の生命・財産を守る強固な火災防御体制の整備をすることができた。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地域等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	122,000		103,341	0	18,659
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	102,390		0	437	514
目 的	災害対策拠点施設として、設備を計画的に整備することにより、消防力の充実を図るとともに、災害に対応する体制を強化する。				
取組内容・実績	消防本部に再生可能エネルギーである地中熱を利用した空調設備を導入した。				
成 果	老朽化した空調設備を更新するとともに、再生可能エネルギーである地中熱を利用する設備を導入することにより、より環境に配慮した施設設備をすることができた。				
課題・今後の方向性	既存の施設や装備の老朽化が進み、順次更新が必要となっており、計画的に進めていく必要がある。				

事務事業名	避難所表示看板整備事業			決算書 掲載ページ	396
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,265		7,312	0	953
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,980		0	0	3,332
目 的	避難所表示看板を用いて、指定避難所への適切な誘導を行う。また、原子力災害避難集合同所案内看板の設置により、原子力災害時における迅速な避難を行う。				
取組内容・実績	避難所表示看板を66箇所設置した。4年間で合計203箇所設置し、整備が完了した。また、原子力災害避難集合同所案内看板については、令和2(2020)年度から令和4(2022)年度までの3年計画に基づき、25箇所に設置した。				
成 果	指定避難所及び原子力災害時のバス避難集合同所に看板を設置したことにより、避難場所に関する市民への周知を図ることができた。				
課題・今後の方向性	原子力災害時バス避難集合同所案内看板は、102箇所のうち令和2(2020)年度と令和3(2021)年度に合計75箇所を設置し、令和4(2022)年度に残り27箇所へ設置する予定である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,507		1,663	0	2,844
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,663		0	0	0
目 的	消防団、自主防災組織など地域の防災リーダーに対し、放射線、原子力防災の正しい知識の習得と原子力災害時の防災活動の普及啓発を図る。市職員は、原子力発電所立地自治体職員としての自覚を再認識することで危機管理体制の強化を図る。				
取組内容・実績	消防団を対象とした原子力地域防災リーダー研修（2回開催、36人参加）を開催したほか、採用1・2年目の市職員を対象とした研修を実施した。				
成 果	研修を通じて、消防団員、市職員が放射線や原子力防災に関する知識を習得することにより、原子力防災意識の向上を図り、原子力防災体制の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	消防団を対象とした地域防災リーダー研修においては、新規に学生消防団を加えて実施し、更なる地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の整備が必要である。				

事務事業名	広域避難対策事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,863		532	0	3,331
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	532		0	0	0
目 的	原子力災害時を想定した住民参加による避難訓練を新潟県と合同で行い、広域避難計画の検証と住民の広域避難の意識向上を図る。				
取組内容・実績	前年度より規模を拡大した住民避難訓練や本部運営訓練を含む新潟県原子力防災訓練のほか、個別訓練として冬季訓練を行った。				
成 果	原子力災害時における体制・対応について、関係機関との連携や各自の役割を確認し、対応力の向上を図ることができた。 広域避難の実効性を高めるため、住民避難訓練参加者などにヒアリングを行い、訓練で見えた問題点や今後の課題を明らかにすることができた。				
課題・今後の方向性	様々な想定による訓練を継続的に実施し、広域避難の実効性の向上を図っていく必要がある。 また、訓練で明らかになった課題等については、国、県、関係市町村と共有し、協議検討を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	236,965		139,007	84,532	13,426
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	139,007		0	0	0
目 的	原子力災害時の住民避難の円滑化に取り組み、原子力防災対策の充実・強化を図る。				
取組内容・実績	監視カメラの映像を災害対策室で一元的に視聴できる監視カメラ映像収集サーバーを設置した。また、バス避難における情報集積地に蓄電池を設置するための設計を行った。さらに、避難経路上にLED照明付き監視カメラ（12台）、バス避難集合場所への照明（27箇所）及び誘導案内板（36箇所）を設置した。				
成 果	内閣府のモデル事業を取り組むことにより、原子力災害時の避難を円滑に行うための避難経路上の改善及び交通誘導対策の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度から令和4（2022）年度までの3か年事業であることから、計画的に事業を実施し、最終年度において、事業実施による円滑化がどのように図られたのかという観点で評価を行う必要がある。				

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,038,754		989,843	0	48,911
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	932,375		0	1,156	56,312
目 的	これまでの防災行政無線に代わり、災害時などの情報を市民に伝達するため、コミュニティFM放送を活用した防災情報通信システムを整備する。				
取組内容・実績	受信障害対策中継局（石地、米山、笠島、青海川）を整備することにより、コミュニティFM放送の受信障害地域解消に努めるとともに、無線中継所を整備することで、非常時のバックアップ回線を構築した。				
成 果	緊急告知ラジオを6,900台配布し、3年間の延べ配布数は約36,400台となった。また、中継所の整備により、コミュニティFM放送の電波を市内全域に通じたことにより、放送を聴取することができるようになった。				
課題・今後の方向性	コミュニティFM放送の雑音が入るなど、一定の受信不良地域について、対策を講じる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	防災情報通信システム施設維持管理費			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,920		12,053	0	867
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,000		0	507	1,546
目 的	コミュニティFM放送を活用し、災害時などの情報を市民に伝達する。				
取組内容・実績	防災情報を発信するために必要となる送信設備、屋外拡声子局、緊急告知ラジオなどの保守点検を実施した。				
成 果	コミュニティFM放送を活用した防災情報通信システムを適正に運用することができた。				
課題・今後の方向性	確実な情報伝達を継続していくため、設備の保守管理項目などを見直し、確実かつ効率的な保守内容を検討する。				

事務事業名	避難行動要支援者名簿整備事業（介護高齢課）			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	介護高齢課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,049		3,972	0	77
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,972
目 的	避難行動要支援者名簿や個別計画を作成し、平常時から避難支援等関係者と情報を共有することにより、災害時の迅速な安否確認や避難支援に対応できる体制を整備する。				
取組内容・実績	避難行動要支援者登録制度の対象者に制度の案内を郵送し、同意をいただいた上で、避難行動要支援者名簿及び個別計画を作成した。また、作成した情報は、町内会等の避難支援等関係者に提供した。 ・令和4（2022）年3月末現在登録者数1,459人				
成 果	災害時に避難支援が必要な方の情報を避難支援等関係者と共有し、災害に備えることができた。				
課題・今後の方向性	避難行動要支援者制度の周知に努め、避難支援を要する方へ登録を促すとともに、引き続き避難行動要支援者名簿及び個別計画の整備を進めていく必要がある。				

10款 教育費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	404
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,083		41,989	0	7,094
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	41,989
目 的	成績優秀な学生で経済的理由により就学が困難な者に対して、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。				
取組内容・実績	経済的な理由により、大学・短期大学・専修学校（専門課程）への就学が困難な学生に対して、貸付けを行った。貸付者総数は62人、新規貸付者は18人であった。				
成 果	奨学金を貸し付けることにより、教育の機会均等の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	長期的な視野に立って、他の奨学金制度と比較検討しながら、制度の在り方を検証する必要がある。				

事務事業名	通級指導教室事業			決算書 掲載ページ	410
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	774		700	0	74
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	700
目 的	言葉、聞こえ、発達、コミュニケーション、認知に課題がある児童・生徒が、専門的な指導を受けられるよう通級指導教室を配置し、対象の児童・生徒の就学環境を整備する。				
取組内容・実績	指導に必要な教材や教材研究のための書籍等を購入した。				
成 果	担当者の資質向上や、就学環境の整備につながり、多様な教育的ニーズのある児童・生徒が専門的な指導や支援を受けることができた。				
課題・今後の方向性	通級指導教室を利用する児童・生徒は増加しており、ニーズも多様化している。そのため、指導のための環境整備や通級指導教室担当者の研修を引き続き実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	410
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	89,853		86,936	0	2,917
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		0	221	36,715
目 的	特別支援教育介助員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童に対して、身の介助や学習活動を補助することにより、充実した学校生活を送れるよう支援する。				
取組内容・実績	小学校14校に35人の特別支援学級介助員を配置し、特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた身の介助や学習指導を実施した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れるよう支援することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。介助員の配置は、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討する必要がある。				

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	410
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,831		6,311	0	520
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10	6,301
目 的	特別な教育的ニーズのある児童・生徒及び就学予定者に対して、就学相談を行い、適正な就学に向けた判断を行う。また、通常学級における特別な教育的ニーズのある児童・生徒について、要請のあった学校の授業改善や巡回相談などの校内支援を実施する。				
取組内容・実績	特別支援教育会議を開催し、幼児部会・小中部会合わせて、177件の就学判断を行った。巡回相談では、小学校で42件、中学校で22件の相談依頼があり専門相談員が対応した。幼児部会の運営、対象児の調査等については、特別支援教育嘱託指導主事が行った。				
成 果	専門員の丁寧な調査により、就学先判断の保護者理解を得ることができた。巡回相談では、困難ケースを学校が特別支援教育相談員の助言を生かして支援することができた。特別支援教育推進嘱託指導主事が調査に入ることにより、専門員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	依頼件数の増加、依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。件数の増加に伴い必要な検査実施など、専門員の負担の増加を解消する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	キャリア教育推進事業			決算書 掲載ページ	412
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,751		3,424	0	327
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	700	2,724
目 的	各種キャリア教育の実施により、ふるさと柏崎に誇りと愛着を持ち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く児童・生徒を育てる。				
取組内容・実績	キャリア教育講演会やキャリア教育モデル校事業を実施した。講演会は44の内容で、82人の講師が職業や生き方について講演を行った。				
成 果	モデル校事業では、児童・生徒が社会の仕組みを学び、将来に対して積極的に関わる姿勢を育んだ。 講演会では、働くことのやりがいや講師の生き方に触れ、今後の自分の在り方を考えるきっかけづくりができた。				
課題・今後の方向性	モデル校での学びを他の中学校に共有するための情報交換の機会や教職員研修等を設けるなど、工夫する必要がある。 キャリア教育講演会は、年度始めに立てた計画に基づき確実に実施する必要がある。				

事務事業名	学校教育活動推進事業			決算書 掲載ページ	412
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,931		15,925	0	1,006
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,763	10,162
目 的	小・中学校と家庭・地域が協働して、特色ある教育活動を実施することにより、子どもの健全育成を図る。				
取組内容・実績	学校教育活動推進事業奨励金を交付し、各学校において特色ある教育活動を実施した。総合学力調査の結果を指導方針に反映させるため、調査費用の一部を負担した。学校サポート嘱託指導主事を1名任用し、学校教育活動を支援した。児童・生徒の生活習慣の改善につなげるため、食育アンケートを行った。				
成 果	コロナ禍で制限の多い1年であったが、各学校が体験活動やキャリア教育活動などの小・中学校と地域が連携した特色ある取組を実施し、こどもの健全育成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	各学校が目指す子ども像を明確にし、今まで以上に工夫した取組を実施する。また、今後もコロナ禍による活動制限が予想されるが、感染予防策を講じたり、活動方法を工夫したりしながら、事業を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	412
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,192		27,198	0	5,994
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,372	25,826
目 的	小・中学校の外国語授業で、英語によるコミュニケーション能力を向上させるため、A L T (外国語指導助手) を配置し、交流を通して異文化理解を深める。				
取組内容・実績	常勤5人、非常勤1人のA L Tを配置し、小・中学校の全クラスで月2回以上、外国語活動やチームティーチング授業を行った。				
成 果	A L Tとの様々な活動を通して、児童・生徒のコミュニケーション能力向上や異文化理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	令和2(2020)年度の新学習指導要領全面実施に伴い、小学校で英語が教科化されたが、日本人教師単独の外国語指導とA L Tとのチームティーチングの連携を深める必要がある。				

事務事業名	指導補助事業			決算書 掲載ページ	412
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	117,552		111,827	0	5,725
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,727		0	30,279	79,821
目 的	指導補助員を配置し、通常学級で支援を必要とする児童・生徒に対して、学習指導や生徒指導を行う。また、日本語指導を必要とする児童・生徒の就学体制を整備する。さらに、中学校に部活動指導員を配置し、教職員の負担を軽減する。				
取組内容・実績	小・中学校26校に、指導補助員を43人配置し、学習指導や生徒指導の充実に向けた支援を行った。 また、小学校2校に、日本語指導員を2人配置し、外国にルーツをもつ児童の日本語指導に向けた支援を行った。 さらに、中学校7校に、部活動指導員を8人配置し、部活動の充実に向けた支援を行った。				
成 果	指導補助員の配置により、授業のねらいの達成に結び付き、きめ細やかな支援を行い、児童・生徒一人一人の能力を伸ばす教育を推進するとともに、対人関係の構築が苦手な児童・生徒への個別の指導・支援を充実させることができた。 また、日本語指導員の配置により、対象の児童・生徒が授業に取り組みやすくなった。 さらに、部活動指導員の配置により、教員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	特別な教育的ニーズに対応するために指導補助員を必要とする場面が増加している。今後も、日本語指導員を必要に応じて配置し、部活動指導員は、継続的に関わってくれる人材の確保に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	416
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,254		7,514	0	740
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,600	5,914
目 的	理科担当教員の指導力向上を図るとともに、児童・生徒の適切な科学概念の形成及び地域の科学技術教育振興を図る。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への理科・生活科・総合・環境の専門研修を実施した（25回受講者数221人）。 ・科学に対して親しみ、興味の醸成を図るため、科学のえんま市等の啓発事業を10回実施した（参加者数1,014人）。 ・学校等の要請研修を実施した（61回）。 ・教材機器等の貸出しを行った（125件）。 ・理科教育相談支援を実施した（414件）。 				
成 果	研修内容について、参加者からは「児童生徒への指導上の確認ができた」など満足度において高い評価を得た。				
課題・今後の方向性	参加者のニーズと児童・生徒の実態に即した研修会づくりを行う必要がある。また、博物館・大学等との連携を図った科学教育支援事業を実施する必要がある。				

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	418
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	309,252		299,292	0	9,960
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	25,027		0	0	274,265
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、衛生管理用品の購入や消毒作業員を配置するとともに、分散授業を行うための電子黒板を整備した。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。また、消毒作業員の配置や十分な保健衛生用品の確保のほか、電子黒板を整備することにより、校内における集団感染の予防に努めることができた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行うとともに、感染状況を注視し、保健衛生用品の確保と消毒作業員の配置を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	420
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,066		53,998	0	17,068
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	53,998
目 的	遠距離通学地区の児童に対して通学支援を行うことにより、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	市管理バス、借上げバス、補償バス（路線バスの増便）によるスクールバスを運行し、遠距離通学児童に対して通学支援を行った。また、スクールバスの運行計画を再編し、児童の通学負担を軽減した。				
成 果	スクールバスの運行を行うことにより、児童に安全で円滑な通学支援を行うことができた。また、市管理バスを校外学習の移動手段としても活用することにより、円滑な教育活動を行うことができた。				
課題・今後の方向性	安全な通学支援を行うために車両を良好な状態に管理するとともに、児童の通学状況を把握し、状況に応じた通学支援を検討する必要がある。				

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	420
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	133,307		133,307	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	133,307
目 的	包括アウトソーシングにより、児童の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。また、国の「IT新改革戦略」を受け、学校のICT化を推進する。				
取組内容・実績	ICT支援員の配置や、児童が使用するタブレット端末、学習支援ソフト等の運用管理のほか、電子黒板やプロジェクターなどの教育系機器の保守管理業務及び校務系システムの運用保守業務を実施した。				
成 果	ICT支援員の配置やシステムの調達、運用及び保守を、包括アウトソーシングにより実施し、小学校におけるICT環境を推進することができた。				
課題・今後の方向性	配備したタブレット端末や電子黒板などの機器を計画的に運用・維持管理していく必要がある。また、個別最適な学びを実現するため、引き続き、ICT支援員を活用する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	一般教材整備費（学校教育課）			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,190		9,183	0	7
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,183
目 的	配信型デジタル教科書の活用により、児童・教職員のICT活用能力の向上を図り、「分かる授業づくり」を目指す。また、インターネットを通じた授業や課題提示等により、家庭での学習を充実させ、学力向上につなげる。				
取組内容・実績	小学校に、国語・算数（全学年）、社会・地図（5・6年）、理科（3～6学年）のデジタル教科書を整備した。				
成 果	デジタル教科書の整備を行い、小学校での活用を進めたことにより、視聴覚からの情報を得やすくなったり、みんなで一つの事象に注目できたりするなど、児童の学びが一層深まった。コロナ禍に伴い、遠隔授業を実施する環境が整備され、児童一人一人の学びを保障することができた。				
課題・今後の方向性	研修内容の充実や有効活用するための教員への指導を進めてきたが、デジタル教科書活用に学校差や教師差が見られる。より一層の活用を図り、児童の学びの深まりにつなげる必要がある。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	41,970		37,690	0	4,280
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	25		0	178	37,487
目 的	経済的理由で就学が困難な児童に対し就学援助費を支給することにより、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護15人、準要保護414人、計429人の児童の保護者に対し、就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことにより、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、在籍児童数に占める認定者の割合は、ほぼ変化なく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,061		5,172	0	1,889
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,474		0	0	2,698
目 的	特別支援学級等に在籍する児童の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保と特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する児童135人の保護者に、小学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、児童52人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童や、他校の通級指導教室へ通う児童の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。				

事務事業名	修学旅行のキャンセル料等支援事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	746		745	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	745		0	0	0
目 的	4月から12月までに予定していた修学旅行について、新型コロナウイルス感染症対策の感染拡大防止のために延期、変更及び児童の不参加により生じたキャンセル料等を補助金として交付し、保護者の負担を軽減する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために修学旅行を中止又は延期、変更した小学校4校に対し、キャンセル料等を補助した。				
成 果	キャンセル料等を補助することにより、保護者の経済的な負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	今後、新型コロナウイルス感染症の拡大により、キャンセル料等が発生した場合は、支援の有無を必要に応じて検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・継続費連次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	773,000		297,806	475,194	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	48,548		163,100	0	86,158
目 的	学校施設の長寿命化を図ることにより、安全で快適な教育環境を整備する。				
取組内容・実績	槇原小学校大規模改修・校舎棟増築工事のⅠ期工事で、老朽化したプレハブ校舎棟を解体し、木造2階建て校舎への建替えや体育館棟と南棟でトイレ改修等を行った。				
成 果	老朽化部分の改修工事により、施設の長寿命化及び安全で快適な教育環境を整備できた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、計画的に老朽化した学校施設の改修等を行っていく必要がある。				

事務事業名	小学校グラウンド補修事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	132,000		6,989	125,000	11
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,989
目 的	排水・表面舗装などのグラウンド機能の回復や運動設備の整備を設計・改修することにより、屋外教育環境の改善を図る。				
取組内容・実績	半田小学校の経年劣化したグラウンドの排水機能の向上及びグラウンド周囲の法面保護等の改修を行うための測量設計を行った。				
成 果	改修工事に必要な測量設計を実施し、安全・安心な屋外教育環境の整備のための準備ができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化により早急な改修を必要とする施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	日吉小学校体育館等改築事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,247		31,312	0	935
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	27,000		0	0	4,312
目 的	体育館・食堂棟を改築し、児童の安全確保と教育環境の向上を図る。また、旧施設跡地を駐車場などに整備することにより、施設利用者の利便性向上を図る。				
取組内容・実績	旧体育館・食堂棟跡地に学習広場及び駐車場を整備するとともに、校舎裏の敷地内通路を改修し、駐車場への乗り入れ口を設置した。				
成 果	学習広場を整備することにより、屋外での良好な教育環境を整備することができた。また、駐車場を整備し、敷地内通路の改修と乗り入れ口を設置したことにより、施設利用者の利便性が向上した。				
課題・今後の方向性	平成30（2018）年度からの継続事業が全て完了した。今後は児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境が維持されるように管理を行う。				

事務事業名	荒浜小学校校舎棟等改築事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,582		31,826	0	3,756
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	31,826
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる既存校舎棟を建て替える。				
取組内容・実績	老朽化した校舎を改築するため、設計事業者を公募型プロポーザルで選定し、改築工事の基本設計を実施した。また、敷地の地質調査及び文部科学省の補助金活用を検討するために必要な現校舎の耐力度調査を実施した。				
成 果	老朽化した校舎の改築事業を進め、安全・安心かつ、快適で高質な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるよう、計画的に改築の準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和5（2023）年度からの改築工事に向けて実施設計を進めるとともに、既存校舎解体工事やグラウンド改修工事の設計等を計画的に行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	211,071		200,682	0	10,389
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,110		0	0	193,572
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように中学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、衛生管理用品の購入や消毒作業員を配置するとともに、分散授業を行うための電子黒板を整備した。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。また、消毒作業員の配置や十分な保健衛生用品の確保のほか、電子黒板を整備することにより、校内における集団感染の予防に努めることができた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行うとともに、感染状況を注視し、保健衛生用品の確保と消毒作業員の配置を行う必要がある。				

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	426
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,244		42,206	0	5,038
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	828		0	0	41,378
目 的	遠距離通学地区の生徒に対して通学支援を行うことにより、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	市管理バス、借上げバス、補償バス（路線バスの増便）によるスクールバスを運行し、遠距離通学生徒に対して通学支援を行った。また、スクールバスの運行計画を再編し、生徒の通学負担を軽減した。				
成 果	スクールバスの運行を行うことにより、生徒に安全で円滑な通学支援を行うことができた。また、市管理バスを校外学習の移動手段としても活用することにより、円滑な教育活動を行うことができた。				
課題・今後の方向性	安全な通学支援を行うために車両を良好な状態に管理するとともに、生徒の通学状況を把握し、状況に応じた通学支援を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	73,319		73,319	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	73,319
目 的	包括アウトソーシングにより、生徒の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。また、国の「IT新改革戦略」を受け、学校のICT化を推進する。				
取組内容・実績	ICT支援員の配置や、生徒が使用するタブレット端末、学習支援ソフト等の運用管理のほか、電子黒板やプロジェクターなどの教育系機器の保守管理業務及び校務システムの運用保守業務を実施した。				
成 果	ICT支援員の配置やシステムの調達、運用及び保守を、包括アウトソーシングにより実施し、中学校におけるICT環境を推進することができた。				
課題・今後の方向性	配備したタブレット端末や電子黒板などの機器を計画的に運用・維持管理していく必要がある。また、個別最適な学びを実現するため、引き続き、ICT支援員を活用する必要がある。				

事務事業名	一般教材整備費（学校教育課）			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,434		6,184	0	250
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,184
目 的	配信型デジタル教科書の活用により、生徒・教職員のICT活用能力の向上を図り、「分かる授業づくり」を目指す。また、インターネットを通じた授業や課題提示等により、家庭での学習を充実させ、学力向上につなげる。				
取組内容・実績	中学校に、国語・社会・数学・理科・英語（全学年）のデジタル教科書を整備した。				
成 果	デジタル教科書の整備を行い、中学校での活用を進めたことにより、視聴覚からの情報を得やすくなったり、みんなで一つの事象に注目できたりするなど、生徒の学びが一層深まった。コロナ禍に伴い、遠隔授業を実施する環境が整備され、生徒一人一人の学びを保障することができた。				
課題・今後の方向性	研修内容の充実や有効活用するための教員への指導を進めてきたが、デジタル教科書活用に学校差や教師差が見られる。より一層の活用を図り、生徒の学びの深まりにつなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	44,258	36,138	0	8,120	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	36	0	118	35,984	
目 的	経済的理由で就学が困難な生徒に対し就学援助費を支給することにより、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護8人、準要保護295人、計303人の生徒の保護者に対し、就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことにより、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、在籍生徒数に占める認定者の割合は、ほぼ変化なく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。				

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,646	3,353	0	1,293	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,649	0	0	1,704	
目 的	特別支援学級などに在籍する生徒の就学環境を保障するため、学用品などの費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保と特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する生徒59人の保護者に、中学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、生徒5人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する生徒や、他校の通級指導教室へ通う生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、特別支援学級在籍生徒数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,633		1,349	0	284
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,349
目 的	生徒が悩みや不安を気軽に話し、ストレスを和らげることができるように心の教室相談員を配置し、いじめや不登校など、生徒指導上の様々な問題の未然防止や素早い対応を行う。				
取組内容・実績	中学校6校に3人の心の教室相談員を配置し、生徒との教育相談や関わりを3,818件行った。				
成 果	学校の実態に応じた、よりきめ細かな相談支援業務を行うことができた。心の教室相談員への研修の充実を図ることにより、積極的な関わりが見られ、関わりの件数が昨年度と比べ増加した。				
課題・今後の方向性	今後も多様なケースへの対応が必要であり、相談員の確保と資質の向上を図ることが必要である。				

事務事業名	修学旅行のキャンセル料等支援事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,059		5,056	0	3
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,056		0	0	0
目 的	4月から12月までに予定していた修学旅行について、新型コロナウイルス感染症対策の感染拡大防止のために延期、変更及び生徒の不参加により生じたキャンセル料等を補助金として交付し、保護者の負担を軽減する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために修学旅行を中止又は延期、変更した中学校8校に対し、キャンセル料等を補助した。				
成 果	キャンセル料等を補助することにより、保護者の経済的な負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	今後、新型コロナウイルス感染症の拡大により、キャンセル料等が発生した場合は、支援の有無を必要に応じて検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	50,034		48,400	0	1,634
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		36,300	0	12,100
目 的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	南中学校の経年劣化した屋上防水の改修工事を実施した。				
成 果	老朽化した施設の改修により、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・継続費通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,642,220		694,034	1,946,430	1,756
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	288,490		348,700	0	56,844
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟及び体育館を建て替える。				
取組内容・実績	改築工事のⅠ期工事及び工事監理を実施した。設計では、既存校舎解体工事設計を行った。				
成 果	老朽化した校舎と体育館の改築工事を進め、安全・安心かつ、快適で高質な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるよう計画的に改築事業の準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	校舎と体育館の改築工事を令和4（2022）年度末の竣工に向けて進めるとともに、令和5（2023）年度に行う既存校舎・体育館の解体工事、グラウンド改修設計を計画的に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-2 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,436		1,389	0	47
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	451		0	0	938
目 的	放課後の安全・安心な居場所を提供し、地域の方々とともに、子どもたちの安全と健全育成を図る。				
取組内容・実績	県立こども自然王国を活用し、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ、文化活動等の取組を行った。年間活動日数216日、延べ2,307人の利用があった。				
成 果	地域住民がボランティアで活動を支援したり、地域に働きかけて地域ぐるみで子どもたちを育てようという雰囲気を広げたりすることにより、子どもたちが安心・安全に居心地良く過ごすことができた。				
課題・今後の方向性	地域の子どもの居場所づくりに寄与するため、引き続き事業を実施する必要がある。				

事務事業名	市民大学運営事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,067		779	0	288
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	348	431
目 的	地元大学や地域の人材との連携により、様々な知識を学ぶ機会を市民に提供し、自己実現や豊かな人生の創造を支援する。また、その学習成果が地域づくりに活用され、地域社会の活力につながることを目指す。				
取組内容・実績	地元大学や地域の人材と連携して12講座(延べ32回)を開催し、延べ642人が受講した。				
成 果	身近なSDGsや高齢者福祉等をテーマとしたことにより、持続可能なより良い社会の実現や地域の課題を知ることで、地域づくりへの関心を高めることができた。また、市民自らが講師を務める講座を開催し、学習活動の活性化に資することができた。				
課題・今後の方向性	自宅でも受講できるようオンライン講座を開催したが、受講者が少ない結果となった。オンライン講座については、市民のニーズに沿ったテーマと講座情報の発信方法について検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	地域学校協働活動推進事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,689		2,778	0	2,911
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,844		0	0	934
目 的	地域の人材を積極的に活用し、学校と地域との連携・協働を促進していくことにより、地域の教育力向上を図る。				
取組内容・実績	地域コーディネーター・学校担当者を対象に、地域総ぐるみで子どもの成長を支える確かな仕組みづくりについての講義・演習を実施し、地域コーディネーター12人、協働活動支援員10人、学校担当者24人の計46人が受講した。				
成 果	講義の受講とグループ討議により、学校と地域の課題を整理した上で、共に地域づくりに関わる活動に取り組むことで、地域ぐるみでの子どもの育成につながった。				
課題・今後の方向性	学校や地域の課題を整理、共有することで地域の人材を効果的に結び付けながら、地域ぐるみで継続して教育活動を支援していく必要がある。				

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,008		1,800	0	208
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	394	1,406
目 的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術への関心を高める。				
取組内容・実績	ソフィアセンターを会場に、9日間の会期中で延べ2,700人の市民が、日頃の創作活動の成果を鑑賞した。あわせて、ウェブ上においても入賞作品を掲載した。				
成 果	新型コロナウイルス対策に対応しつつ、直接作品を鑑賞できるよう開催するとともに、入賞作品を過去の入賞作品と併せてウェブ上に掲載し、芸術鑑賞機会の拡充を図った。				
課題・今後の方向性	伝統のある美術展覧会であり、市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術に対する関心を高めながら、今後も継続して開催していくため、若い世代の作品制作を促すアイデアを取り入れる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	文化振興支援事業			決算書 掲載ページ	436
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,203		6,101	0	1,102
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,101
目 的	市民一人一人が文化芸術を身近に感じ、親しむことのできる魅力あるまちづくりに取り組む。				
取組内容・実績	柏崎地域活性化事業実行委員会を組織して柏崎古典フェスティバルを実施し、計2,671人が古典芸能を鑑賞した。また、文化会館アルフォーレ野外劇場広場を活用した音楽イベントを開催した。				
成 果	柏崎古典フェスティバルの核となる綾子舞を舞台化した「綾子舞物語」を始め、良質な古典の鑑賞機会や文化芸術に親しむ機会を提供することができた。				
課題・今後の方向性	古典芸能のみならず、若い世代へ向けた文化活動を推奨し、発表の場を更に広げる必要がある。				

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,743		2,062	0	681
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,062
目 的	柏崎市綾子舞保存振興会の活動を補助することにより、綾子舞を鑑賞する機会を広く市民に提供し、その保存伝承活動を充実させる。				
取組内容・実績	綾子舞の保存振興活動を支援するため、「柏崎市綾子舞保存振興会」に対して補助金を交付した。				
成 果	柏崎市綾子舞保存振興会に補助金を交付することにより、保存伝承活動を円滑に進めることができ、市民の綾子舞への認識を深めることができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、後継者育成を図るため、今後も同会への支援を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	公民館講座運営事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	03	公民館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,661		2,462	0	199
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,431	1,031
目 的	市民の学習意欲の向上、興味関心の目覚めや発展を促す講座を行い、「学ぶ喜び」を享受し、豊かな人生を構築する生涯学習の推進を図る。				
取組内容・実績	社会経験豊富なシニア世代が興味を持って取り組める多種多様なメニューのシニアコース（延べ813人が参加）、全年齢を対象とした幅広いジャンルのエイジレスコース（延べ842人が参加）、小・中学生の夏休みや冬休みに合わせた創作活動や実験を行う子ども向けコース（延べ203人が参加）を設け、講座を開催した。				
成 果	各年代のニーズに合わせ、交流を通じて生きがいや学ぶ楽しさを見出す学習機会を提供することができた。シニアコース1講座（資料で巡る！昔の信越線鉄道旅）と子ども向けコース2講座（楽しく学ぼう！プログラミング体験、レジンで作る！オリジナルアクセサリー）では、申込多数のためそれぞれ追加講座を開催し、多くの市民が受講することができた。				
課題・今後の方向性	より多くの方々に学習機会を提供するため、引き続き講座内容、周知方法等を工夫し、魅力ある講座にしていく必要がある。また、エイジレスコースでは若年層と男性の受講率を増加させるために、SNSを活用して効果的な情報発信や新たな講座内容の企画などを検討していく必要がある。				

事務事業名	図書館資料購入費			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,238		16,827	0	411
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	42	16,785
目 的	図書館の所蔵資料を整備し充実させることにより、図書館利用者の生涯学習や学校教育を支援する。				
取組内容・実績	購入と寄贈を合わせて8,504点の資料を受け入れた。また、判例情報や新聞の内容を検索できるデータベースを導入した。				
成 果	所蔵資料の充実により、図書館利用者の生涯学習や学校教育を支援することができた。				
課題・今後の方向性	生涯学習や学校教育の支援を継続するため、図書館の所蔵資料を充実させていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	56,652		54,952	0	1,700
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	248	54,704
目 的	図書館利用者が快適に資料の貸出しや返却を行えるよう、環境整備を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館もあったが、図書館の利用環境の整備に取り組み、95,753人に305,246点の資料の貸出しを行った。入館者は233,152人だった。また、学校読書支援員5人が市内の小学校20校を巡回し、読書支援を行った。				
成 果	レファレンス対応やテーマに沿った資料展示により、引き続き、図書館利用者の生涯学習を支援することができた。学校読書支援員の小学校巡回により、学校図書館の整備や読書支援を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	より幅広く多くの方からの図書館利用を促進するため、読書環境の充実を継続し、積極的に情報を発信する必要がある。また、学校読書支援では、市内中学校図書室の現状を把握し、環境整備の必要性を検討する必要がある。				

事務事業名	イベント・講座開催費			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,333		1,850	0	483
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,850
目 的	読書に関する講座やイベントを開催することにより、読書活動の普及促進を図る。				
取組内容・実績	「柏崎市立図書館寄贈資料展」に262人、「柏崎の花－Spring Collection」に2,102人の入場があった。そのほか、絵本・こどもフェスタでの人形劇「オズの魔法使い」（101人参加）を始め、様々なイベントや講座を実施した。また、342人にブックスタート絵本684冊をプレゼントし、フォローアップとして「ふれあいブックスタート」を5回開催した（参加者15組31人）。				
成 果	企画展で郷土に関する資料や美術品などを展示し、柏崎の魅力に触れる機会を提供することができた。また、イベントや講座等を開催し、読書活動や生涯学習を支援することができた。そのほか、ブックスタート事業では、読書のきっかけづくりをすることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、関係機関と連携し、読書活動の推進や図書館利用の促進のため、イベントや講座を開催する必要がある。また、ふれあいブックスタート事業により、親子での読み聞かせの大切さや家庭での読書習慣の重要性を発信していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館施設整備事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	287,175		287,175	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	267,942		0	0	19,233
目 的	図書館の空調設備の改修を行うことにより、図書館利用者の快適性を確保する。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度に行った委託設計を基に、空調設備の入替え工事を行った。				
成 果	老朽化していた空調設備を入れ替えたことにより、快適な施設環境を安定して提供することが可能となった。				
課題・今後の方向性	今後も安全に快適に図書館を利用することができるよう、老朽化した施設や設備を計画的に整備していく必要がある。				

事務事業名	プラネタリウム管理運営費			決算書 掲載ページ	450
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,377		5,072	0	305
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	569	4,503
目 的	プラネタリウム投影や星空観察会などを通じ、星空や宇宙を中心とした市民の学習、自然科学への興味・関心を育み、博物館への来館につなげる。				
取組内容・実績	投影を278回（定期投影154回、特別投影・イベント投影（団体利用等を含む。）75回、小・中学校学習投影49回）行い、6,907人が利用した。				
成 果	定期投影や学習投影での利用に加え、イベント投影では子ども向けの「クリスマスイベント」、夏休み企画「クラゲタリウム」、大人のリラクゼーション「熟睡プラ寝たリウム」など、幅広い世代のニーズに対応した投影を行い好評を得た。				
課題・今後の方向性	定期投影を機軸に、多様なイベント投影を行うことで満足度の高い投影を継続する。また、イベント投影利用者のリピーター化のほか、学習投影を通じて小・中学生の天文への興味を高め、家族での再来館の機会を創出する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	WEBミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	452
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,343		6,235	0	108
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,235
目 的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開することにより、住民等による生涯学習や地域学習の活動場面の一助とする。				
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWEBミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWEBミュージアムでは新たに6件11点の文化財等を高精細画像で撮影し、公開した。				
成 果	大人向けWEBミュージアムでは、画像の撮影、公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、子ども向けのWEBミュージアムは、学校教材の社会科副読本改訂に伴って内容を更新し、引き続き地域の文化、風土を学習できるようになった。				
課題・今後の方向性	文化財等の高精細画像撮影費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、計画的に継続する必要がある。また、GIGAスクール事業により児童・生徒のインターネット利用環境が充実したことから、学校でのWEBミュージアムの活用を促進していく必要がある。				

事務事業名	飯塚邸管理運営費			決算書 掲載ページ	454
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	07	飯塚邸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,457		7,293	0	164
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	991	6,302
目 的	柏崎市史跡として文化財に指定されている施設の維持保存を図りながら、市民や観光客が気軽に利用できる文化施設として管理運営を行う。				
取組内容・実績	施設の維持管理を適切に行うとともに、「新緑の秋幸苑とつるし雛かざり」等のイベントも実施した。 ・利用者数2,323人				
成 果	施設の維持保存を適切に行いながら、イベントも開催したことにより、市民や観光客が気軽に利用できる文化施設としての管理運営を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も地元町内会と連携を図りながら、適切な施設管理を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	オリンピック・パラリンピック対策事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,000		5,253	0	1,747
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,253
目 的	東京2020オリンピック・パラリンピックに関する各種プログラムの実施を通じて、大会に出場する本市関係選手の栄誉を称えとともに、大会後においてもその好影響（レガシー）をスポーツ振興につなげる。				
取組内容・実績	実行委員会を組織し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運を醸成する事業（オリンピック報告会（参加者400人）、聖火リレー（観覧者2,350人）、パラリンピック聖火フェスティバルなど）を実施した。				
成 果	新型コロナウイルスの影響により壮行会やパブリックビューイングは実施できなかったが、聖火リレーや報告会などの行事を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げることができた。				
課題・今後の方向性	事業自体は令和3（2021）年度で終了となるが、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを今後のスポーツ振興につなげられるよう検討する必要がある。				

事務事業名	市民スポーツ大会経費			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,799		2,487	0	312
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	6	2,481
目 的	様々なスポーツ大会を企画、開催することにより、市民誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりとスポーツに親しむきっかけづくりの推進を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかの行事は中止となったが、スポーツ推進委員会を中心に（一財）柏崎市スポーツ協会や地区体育協会と連携し、市民ポッチャ大会に72人、市民カローリング大会に39人、市民スキー・スノーボード教室に75人参加するなど、感染症に負けないスポーツ振興の取組を進めた。				
成 果	感染防止対策を講じながらポストコロナを意識したスポーツ振興を進めることができた。また、新潟県が導入した健康アプリ「グッピーヘルスケア」を活用して各種ウォーキングイベントを開催し、運動習慣の定着を目指した新たな取組を始めることができた。				
課題・今後の方向性	感染症対策を講じながら、より多くの市民が参加し楽しむことのできるイベントや気軽にスポーツに親しみ、地域のスポーツ運動習慣の定着のための企画等を検討する必要がある。また、スポーツ推進委員会や地区体育協会など関係者との更なる連携の強化も必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	市町村生涯スポーツ振興事業			決算書 掲載ページ	462
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,103	552	0	551	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	24	0	0	528	
目 的	各中学校の部活動の状況に応じて専門的な知識・技術を持つ指導者を派遣し、運動部活動の競技力向上と教員の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	市内中学校4校の運動部活動に専門指導者(スポーツエキスパート)6人を派遣した。				
成 果	中学生に対して、競技の説明や練習方法の指導などを行い、運動部活動を支援することができた。また、競技経験がなく専門的な指導が困難な教職員の負担軽減にもつなげることができた。				
課題・今後の方向性	中学校部活動の地域移行に伴い専門指導者(スポーツエキスパート)及び部活動指導員派遣事業については、関係者と連携して対応を進めていく必要がある。				

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	462
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	24,125	21,445	0	2,680	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	4,000	17,445	
目 的	(一財) 柏崎市スポーツ協会と連携し競技スポーツの強化に取り組むほか、多くの市民が気軽に参加できる行事(市民登山、各種市民スポーツ大会など)を開催することにより、運動習慣の定着を図り健康づくりと生きがいづくりを進める。また、地区体育協会への補助金交付や柏崎潮風マラソンへの負担金拋出により、スポーツ振興や地域交流、経済波及効果を促進する。				
取組内容・実績	(一財) 柏崎市スポーツ協会、地区体育協会に補助金を交付し、市民スポーツ大会の開催や各種競技大会を適切に運営することにより、市民スポーツの普及や競技スポーツの振興に努めた。				
成 果	長引くコロナ禍で厳しい状況だったが、関係団体と連携し、競技スポーツの振興や地域における生涯スポーツ振興、健康・体力づくりの推進に結びつけることができた。				
課題・今後の方向性	ポストコロナを見据えたスポーツ振興について、関係団体と連携しながら進めていく必要がある。また、中学校部活動の地域移行を円滑に進めていくため、スポーツ協会が指導者の確保・育成を進めており、更に広範な協力体制を構築する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめぐして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめぐして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	462
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,605		8,452	0	153
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,539		0	0	6,913
目 的	補助金を交付し、ジュニア世代の競技力向上と選手強化を図る。				
取組内容・実績	県の強化指定を受ける3競技種目団体（水球・陸上・ハンドボール）に選手強化補助金を交付し、小・中・高のジュニア世代の選手強化を図った。また、小・中体連主催大会への参加費用を補助した。				
成 果	水球競技では、男子高校チームがインターハイ及び全日本ジュニア（U17）水球競技選手権大会でベスト8、E区分（女子）は、夏季ジュニアオリンピックカップ3位入賞、全日本ジュニア（U17）水球競技選手権大会4位と好成績を残した。陸上競技では、インターハイに9人、団体1チームが出場した。ハンドボールでは、高校女子が県総体で準優勝するなどの成績をあげることができた。また、中学生の大会参加費を補助することにより保護者の負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	県の強化指定を受けている3競技の活動支援、選手強化を継続し、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図る必要がある。				

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	水球のまち推進室	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,420		18,854	0	2,566
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,000		0	0	17,854
目 的	各種水球大会の開催や合宿誘致、世界的な水球強豪国であるセルビア共和国、モンテネグロ両国やアジア圏の水球チームとのつながりを更に強め、「水球のまち柏崎」の世界的な知名度の向上を図る。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響で1年遅れの開催となった東京2020オリンピックだったが、セルビア共和国、モンテネグロの事前キャンプを無事に実施することができた。また、水球の可視化を促進する取組として、水球マンホールの増設（2箇所増やし計12箇所）、ワクチン接種会場での水球パネル展示、イオンモール新潟南での水球写真展、新一年生への水球ランドセルカバー配布（4回目）などを実施したほか、海で水球in柏崎イベントを開催し、約100人の来場者が訪れた。				
成 果	リオオリンピックに続き東京2020オリンピックでも4人のオリンピックを輩出することができたのは大きな成果である。コロナ禍で実施できなかった事業もあったが、感染防止対策を講じてオリンピック事前キャンプを成功させた（両チームとも決勝トーナメント進出、セルビア共和国は優勝）ことは、両国との信頼関係を深めるとともに、「水球のまち柏崎」の世界的知名度の向上につながった。また、在大阪セルビア共和国名誉総領事館との連携により、中学生向けのセルビアに関するオンライン授業（北条中、松浜中）を実施し、新たな芽出しを進めることができた。				
課題・今後の方向性	ホストタウン事業により関係を築いてきたセルビア共和国、モンテネグロ両国とのつながりを更に強めるとともに、今後はアジア圏にも重点を置いた取組を強化し、水球を通じた国際交流の裾野を一般市民（特に児童・生徒）に広げ、市民の国際感覚の向上を目指す必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	陸上競技場整備事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	121,050		121,050	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100,000		0	0	21,050
目 的	陸上競技場を適切に維持管理するため、改修等を行う。				
取組内容・実績	日本陸上競技連盟の第2種公認を更新するために必要な改修工事及びスタンド建屋の耐震診断を行った。				
成 果	改修工事を完了し、第2種公認を更新することができた。また、スタンド建屋は診断の結果、耐震性能が不足していることが判明したため、改修を行うこととした。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

事務事業名	白竜公園テニスコート整備事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	61,000		52,066	0	8,934
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	40,000		0	0	12,066
目 的	白竜公園テニスコートを適切に維持管理するため、改修等を行う。				
取組内容・実績	クラブハウスと倉庫棟を改築した。				
成 果	施設利用者の利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	総合体育館整備事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,495		16,830	0	665
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	16,830
目 的	総合体育館を適切に維持管理するため、改修等を行う。				
取組内容・実績	給水ポンプユニットの入替え、2階ランニング走路の奥側トイレ（男子トイレ2箇所、女子トイレ各5箇所、計7箇所）の洋式化を行った。				
成 果	施設利用者の利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	安全・快適な利用環境を維持するため、必要な改修を実施する必要がある。				

事務事業名	給食設備整備事業			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,240		21,780	9,185	275
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,000		0	0	11,780
目 的	衛生事故を未然に防止するため、学校給食衛生管理基準及び大量調理マニュアルに沿った調理場施設の整備を行う。また、施設の長寿命化を図るため、調理場適正配置を踏まえた施設の改修を行う。				
取組内容・実績	西部地区調理場については、食器消毒保管庫を入れ替えるとともに、急速冷却機を導入した。東部地区調理場については、急速冷却機を導入した。				
成 果	設備の更新・導入により、衛生事故を未然に防止し、安心・安全な給食を提供することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化した設備が多くあるため、計画的に更新していく必要がある。				

13款 諸支出金

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-2 健全な財政を堅持する

事務事業名	土地取得費			決算書 掲載ページ	472
款	13	諸支出金	会 計	一般会計	
項	01	普通財産取得費	担 当	財政管理課	
目	01	土地取得費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	400,000	398,915	0	1,085	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	398,915	
目 的	公共用地の適正な管理と民間活用による公共用地の利活用を推進する。				
取組内容・実績	大字鯨波地内の旧鯨波公園用地のうち、令和3（2021）年度分26,787.51㎡の買戻しを実施した。				
成 果	国道8号バイパスに隣接している旧鯨波公園用地を計画的に買戻すことにより、今後の利活用に向けた検討に着手することができた。				
課題・今後の方向性	旧鯨波公園用地について、令和4（2022）年度分の買戻しを実施するとともに、土地利活用に向けた阻害要因の排除に取り組む必要がある。				

【国民健康保険事業特別会計事業勘定】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	501
款	04	保健事業費	会 計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定	
項	01	保健事業費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	73,282	62,544	0	10,738	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	30,960	0	31,584	0	
目 的	柏崎市国民健康保険被保険者を対象に、特定健診と特定保健指導を行うことにより、メタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病予防を図る。また、健診の結果から必要な人に糖負荷試験を行い、糖尿病の早期発見・予防を図る。				
取組内容・実績	国民健康保険加入者の40歳～74歳を対象に、集団健診を55回と医療機関での個別健診を実施し、5,490人が受診した。特定保健指導は、積極的支援対象者94人、動機付け支援対象者328人に初回面接を実施した。健診の結果から糖負荷試験を受けた人は122人であった。				
成 果	受診者の健康管理及び生活習慣の改善、健康増進と医療費抑制に役立てることができた。				
課題・今後の方向性	特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的な普及啓発を図る必要がある。				

【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訪問型サービス事業			決算書 掲載ページ	576
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,486		33,726	0	1,760
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	18,928		0	14,798	0
目 的	要支援認定を受けた方などに対して、訪問型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ2, 175件の利用があり、従前相当サービスの実人数76人、サービスAの実人数198人に対して支援を実施した。加えて、市内2団体によるサービス提供を支援した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	生活支援コーディネーターと連携し、住民主体のサービスの創出を推進していく必要がある。				

事務事業名	通所型サービス事業			決算書 掲載ページ	576
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	87,798		82,910	0	4,888
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	47,190		0	35,720	0
目 的	要支援認定を受けた方などに対して、通所型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ4, 494件の利用があり、従前相当サービスの実人数83人、サービスAの実人数450人に対して支援を実施した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	生活支援コーディネーターと連携し、住民主体のサービスの創出を推進していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	578
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,910		12,628	0	2,282
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,623		0	6,005	0
目 的	要支援・要介護状態になることを防ぐため、体力や筋力を向上させ、活発で自立した生活を送ることを支援する。				
取組内容・実績	パワーリハビリを3会場で計682回実施し、461人（延べ16,652人）の利用があった。また、西山いきいき教室を46回実施し、23人（延べ724人）の利用があった。				
成 果	運動プログラムの実施により、高齢者の加齢に伴う運動機能の低下を防止することができた。				
課題・今後の方向性	コツコツ骨筋体操センターのパワーリハビリ会場において、コツコツ骨筋体操との連携を強化し、更なる介護予防事業の推進を図る。				

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	578
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,195		20,451	0	2,744
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,865		0	8,586	0
目 的	高齢者等が、コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防活動を通じて、活発でいきいきとした生活を送ることを支援し、要介護状態になることや要介護状態が悪化することを予防する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の予防のため、人数制限を行い、コツコツ貯筋体操を中心に実施し、218人（延べ8,689人）の利用があった。				
成 果	コツコツ貯筋センターの利用をきっかけに、新規にコツコツ貯筋体操を開始した人数は58人であり、体操人口の増加につながった。				
課題・今後の方向性	健康講座等の体操以外のメニューも実施し、新規利用者の増加を目指すとともに、コツコツ貯筋体操センターと地域会場との連携を図り、高齢者が容易に体操にアクセスできる環境の整備を進める。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	578
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,930		2,896	0	1,034
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,125		0	1,771	0
目 的	コツコツ貯筋体操等を通じて、体を動かすことの楽しさを実感し、足腰の筋力と体力を向上することにより、転倒しにくい体をつくり、自立した生活を支援する。また、参加者同士が主体的に取り組む体操の場づくりと健康な地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	令和4(2022)年3月末で地域のコツコツ貯筋体操は191会場となり、3,003人(延べ96,279人)が参加した。また、体操普及の担い手である高齢者運動サポーターの活動者数は224人、年間10,087回の活動が実践された。				
成 果	会場訪問等を実施し、市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	参加者数が減少している会場や高齢者運動サポーター数が減少している地区に対して、会場支援を継続するとともに、新規の会場や参加者の模索、高齢者運動サポーターの養成にも取り組む。				

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	580
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	66,397		66,070	0	327
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	38,266		0	27,804	0
目 的	高齢者が住み慣れた地域や家庭で暮らし続けていけるよう、地域住民が主体となり介護予防のための活動を行う。また、住民ボランティアなどを育成し、地域での支え合い体制をつくる。				
取組内容・実績	市内21地区に対して補助金を交付し、779人(延べ20,923人)の利用があった。また、このうち8地区ではボランティアによる助け合い活動などを実施した。				
成 果	交流や体操等を行う通いの場の支援により、閉じこもりや要介護状態の悪化を防ぐことができた。また、ともに支え合う地域づくりへの意識が高まった。				
課題・今後の方向性	令和4(2022)年度新規設立予定の地区について、引き続き設立支援を行っていく。また、未実施地区においても、機会を捉えて事業実施の働きかけを行っていく。さらに、地区の中でくらしのサポートセンターが担う役割と、地区に合った居場所づくりや支え合い活動の形を引き続き検討していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	580
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	包括的支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	139,454		139,140	0	314
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	77,211		0	61,929	0
目 的	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。				
取組内容・実績	市内7か所の地域包括支援センターにおいて、以下の取組を行った。 ・総合相談件数延べ5,048件 ・権利擁護事業延べ917件 ・高齢者虐待への対応延べ293件 ・介護支援専門員への支援延べ966件				
成 果	高齢者やその家族の相談への対応や高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援、ネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上と福祉の増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	高齢者やその家族等の相談内容が多様化、複雑化している。また、問題を家族だけで抱え込み、相談が遅れる状況も見られるため、医療・介護及び地域の関係者と連携し、今後も継続して支援を行う。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,969		1,841	0	2,128
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,063		0	778	0
目 的	認知症等により、判断力が十分でない高齢者が、成年後見制度を利用することについて支援を行い、高齢者の権利を保護する。				
取組内容・実績	成年後見人等へ支払う報酬に対する助成を9件行い、市長申立ての申請を4件行った。また、57人（延べ175件）に成年後見制度の活用を支援した。				
成 果	成年後見制度の活用支援により、判断力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。				
課題・今後の方向性	成年後見制度は、今後も利用者の増加が見込まれる。令和4（2022）年度から権利擁護センターが開設されたため、成年後見制度が必要な方に対して適切な後見人等が選任されるよう支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	03	在宅医療・介護連携推進事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,413		2,387	0	26
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,379		0	1,008	0
目 的	医療と介護が必要となっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、在宅医療と介護を一体的に提供する。				
取組内容・実績	在宅医療推進センターに医療・介護関係者の相談窓口を設置し、61件の相談を受けた。また、ACPプロジェクト市民講演会、ACPアンケート、多職種合同研修会、入退院支援担当者情報交換会及びICT運用支援を行った。				
成 果	市民講演会の開催により、在宅医療やケアについて、自分事として考えるきっかけにつながった。また、医療介護関係者が、情報交換会や研修会を通じて、日頃の疑問を解消し、連携を深めることができた。				
課題・今後の方向性	ACPについて、医療・介護関係者も含めて取り組もうとする意識醸成までには至っていないため、具体的な取組につながる働きかけが必要である。また、ICTなどのツールを活用した円滑な連携体制を充実する必要がある。				

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	04	生活支援体制整備事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,983		12,449	0	534
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,189		0	5,260	0
目 的	協議体（関係者間の連携会議）やくらしのサポートセンターえきまをを設置し、生活圏域を担当する生活支援コーディネーターを配置することにより、生活支援サービスの充実や地域の支え合いの体制づくりを推進する。				
取組内容・実績	くらしのサポートセンターえきまにおいて、延べ4,035人が介護予防や支え合い活動に取り組んだ。また、生活支援コーディネーターは、支え合い体制推進のため1,899回地域で活動した。				
成 果	生活支援サービスの充実及び地域における支え合い活動の推進により、地域の見守り支援体制の強化や担い手となる高齢者の生きがいの創出を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も生活支援サービスの充実や地域で支え合う体制づくりを推進していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,187		3,186	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,840		0	1,346	0
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に対し、関わりの初期段階で集中的な支援を行うための体制を構築する。				
取組内容・実績	令和2（2020）年度からの継続事例1件も含め、年間10件の相談があった。看護師及び作業療法士による初回訪問を6回、継続訪問を55回実施した。				
成 果	相談のあった10件は初期段階で集中的な支援を行い、全ての方が専門医への受診や介護保険サービスの利用につながった。				
課題・今後の方向性	相談しやすい体制づくりのため、関係者に事業の更なる周知を行っていく必要がある。				

事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,620		6,518	0	102
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,764		0	2,754	0
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護の連携及び生活支援サービス等が有機的に連携したネットワークの形成、地域における支援体制の構築及び認知症ケアの向上を図るための取組を推進する。				
取組内容・実績	柏崎厚生病院に委託して認知症地域支援推進員及び認知症サポート医を配置し、以下の取組を行った。 ・相談案件数223件延べ306件 ・認知症スキルアップ研修27人 ・地域密着型事業所研修2か所				
成 果	認知症地域支援推進員が個別相談に対し、関係者との連携を図ることにより、状態に応じた適切なサービスが提供することができた。また、認知症対応力向上のための研修を初任者に対し行い、ケアの質の確保、向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジ）を構築する必要がある。				